Product Documentation

Peregrine

AssetCenter

調達

Part No. DAC-441-JA06

Peregrine SYSTEMS®

(c) Copyright 2005 Peregrine Systems, Inc.
All rights reserved.

本書に記載されている情報は、Peregrine Systems, Incorporatedが所有し、Peregrine Systems, Inc.の書面による許可なく使用または開示することはできません。本書の一部または全部を、Peregrine Systems, Inc.の事前の書面による許可なく無断で複製することを禁じます。本書に記載されている商品名は、該当する各社の商標または登録商標です。

Peregrine Systems ®およびAssetCenter ®は、Peregrine Systems, Inc.の商標です。

本書で説明されているソフトウェアは、Peregrine Systems, Inc.とエンドユーザ間で締結されるライセンス契約に基づいて提供されます。契約の条項に従って、ソフトウェアを使用する必要があります。Peregrine Systems, Inc.は、本書の内容については一切の責任を負いかねます。また、本書の内容が予告なく変更されることもあります。本書の最終バージョンの日付を確認するには、Peregrine Systems, Inc.のカスタマサポートまでお問合せください。

デモ用データベースと本書の例に使用されている団体名および個人名は架空のものであり、本ソフトウェアの使用方法を説明するためのものです。現在、過去を問わず、実在する団体や個人とのいかなる類似もまったくの偶然によるものです。

本製品に関する技術情報の請求、またはライセンスをお持ちの製品に関するマニュアル類の請求については、Peregrine Systemsのカスタマサポート（support@peregrine.com）までお寄せください。

本マニュアルに関するご意見やご要望は、Peregrine Systems, Inc.の出版部（doc_comments@peregrine.com）までお寄せください。

本書の内容は、ライセンス契約に基づくプログラムのバージョン4.4に適用されます。

AssetCenter

Peregrine Systems, Inc.
3611 Valley Centre Drive San Diego, CA 92130
858.481.5000
Fax 858.481.1751
www.peregrine.com

PEREGRINE

目次

はじめに 13

調達モジュールの使用ユーザ 13
調達モジュールの使用目的 14
本マニュアルの使用方法 14
本マニュアルの使用方法 17
実用例に関する一般情報 19
表記法 19

I. 概要 21

1. 一般概念 23

カタログ 23
調達サイクル 25
特定テーブルでの階層属性の影響 29

2. 準備段階 31

3. 適切な参照レコード 35

基本概念 35
実用例1: 適切な参照レコード 36

4. カタログ 45

基本概念 45

手順 48
実用例2: 単純カタログ 49
実用例3: オプション 54

5. 調達サイクル 59

基本概念 59
調達サイクルのトラッキング 60
実用例4 - 完全調達サイクル 61

6. 依頼 67

基本概念 67
手順 68
実用例5 - 依頼テンプレート 75

7. 見積 79

基本概念 79
手順 80

8. 発注 85

基本概念 85
標準発注 86
一括発注 89
実用例6 - 一括発注 92

9. 受領、実行、作成、返却 97

基本概念 97
手順 98
実用例7 - 発注された品目を受領前に作成する 103

10. 請求書 109

基本概念 109
手順 110

11. コスト 113

一括発注 113
実用例15 - コスト 117

II. 特別な例 127

12. 複合製品 129

基本概念 129
実用例8a: 複合製品 130
実用例8b: 複合製品 136

13. 計量単位 143

基本概念 143
実用例9：計量単位 144

14. パッケージング 151

基本概念 151
手順 152
実用例10a: パッケージング 153
実用例10b: パッケージング 159

15. 予約 165

基本概念 165
手順 165
実用例11 - 予約 167

16. 交換 179

基本概念 179
手順 179
実用例12 - 交換 180

17. 作業指示 185

基本概念 185
手順 186
実用例13 - 作業指示 189

18. 在庫の自動再発注 195

19. リース 197

基本概念 197
手順 198

20. 契約 201

基本概念 201
手順 201
実用例14 - 契約 204

III. 付録 211

A. 用語解説 213

資産 213
カタログ 214
分類規格 214
分類コード 214
発注 215
依頼テンプレート 215
発注された品目を受領前に作成する 216
調達サイクル 216
依頼 216
依頼テンプレート 217
見積 217
ポートフォリオ品目 218
実行 218
請求書 219
オプショングループ 219
依頼明細 219
発注明細 220
見積明細 220
請求明細 220
受領明細 221
モデル 221
属性 222
オプション 223
製品 223
返却 224
受領 224
カタログリファレンス 224
予約 225
オーバースペック 225
計量単位 225

B. 参考情報 227

メニューとタブ 227
ツールバーのアイコン 234
インタフェースのオプション 235
テーブル 235
テーブル間の依存関係 238
リストデータ 240
特殊フィールド 241
カウンタ 243
アクションとウィザード 243
AssetCenter Serverモジュール 245
システムデータと業務データ 246

レポートと書式 247
自動プロセス 248
API 250
ビュー 250
その他のマニュアル 250
ワークフローチャート 252

インデックス 255

PEREGRINE

図の一覧表

1.1. カタログ - 作成 24
1.2. 調達サイクル - 段階の概要 25
1.3. 調達サイクル - 段階の詳細説明 26
4.1. オプション - 原則 47
6.1. 調達サイクル - 依頼 68
7.1. 調達サイクル - 見積 80
8.1. 調達サイクル - 発注 86
9.1. 調達サイクル - 受領 98
10.1. 調達サイクル - 請求書 109
13.1. 計量単位 143

PEREGRINE

表の一覧表

1. 調達モジュール - 関連従業員 13
1.1. カタログ - 作成 24
1.2. 調達サイクル - 段階 26
1.3. 階層テーブル - 影響 29
2.1. 調達モジュール - 必要なユーザライセンス 31
4.1. オプション - 原則 47
5.1. 調達サイクル - 段階 59
5.2. 調達サイクル - ［トラッキング］タブ内のアイコン（調達） 61
6.1. 依頼 - 購入依頼の承認ワークフローチャート 73
6.2. 作業指示 - 依頼の受諾ワークフローチャート 75
8.1. 依頼 - 発注の受諾ワークフローチャート 88
11.1. 経費 - 資産 114
11.2. 経費 - 研修 115
11.3. 経費 - 契約 115
11.4. 経費 - 契約外メンテナンスと契約メンテナンスタイプの作業指示 . 116
11.5. 経費 - 内部メンテナンスタイプの作業指示 116
17.1. 作業指示 - 作業指示の自動作成ワークフローチャート 187
17.2. 作業指示 - 作業指示トラッキングワークフローチャート 188
B.1. メニューとタブ - リスト 227
B.2. テーブル - 一覧 235
B.3. テーブル間の依存関係 - 表 239
B.4. リストデータ - 一覧 240
B.5. 特殊フィールド - 一覧 242
B.6. カウンタ - 一覧 243
B.7. アクションとウィザード - 一覧 244

B.8. その他のマニュアル - 一覧 250
B.9. ワークフローチャート - 一覧 253

PEREGRINE

はじめに

調達モジュールの使用ユーザ

調達は、AssetCenterによる商品およびサービスの調達管理を希望する企業向けです。

調達モジュールは、以下のユーザが使用します。

表 1. 調達モジュール - 関連従業員

タスク	従業員
カタログを管理する	▪ 調達部管理者 ▪ 購入者
依頼を管理する	▪ 自分の依頼を作成する従業員 ▪ 他の従業員の依頼を記録する従業員 ▪ 依頼を承認する従業員
見積と発注を管理する	▪ 発注する従業員 ▪ 発注を承認する従業員
受領および返却を管理する	▪ 発注された製品とサービスを受領および返却する従業員
請求書を管理する	▪ 請求書を記録する従業員

調達モジュールの使用目的

調達モジュールでは、以下の製品およびサービスの取得を管理できます。

- ポートフォリオ品目
- 作業指示
- 契約
- 契約の使用
- 研修会
- ケーブル

調達モジュールでは、これらの品目を受領するときに品目をそれぞれのテーブルに作成できます。

本マニュアルの使用方法

概要の部

一般概念の章

この章では、調達モデルの必要条件、モデルの作成、調達サイクルの管理、商品とサービスの受領時に特定テーブルの階層属性に与える影響について概要を示します。

準備段階の章

この章では、調達モジュールを使用するために必要になる条件とデータベースを準備する方法を説明します。

適切な参照レコードの章

この章では、参照レコードを調達モジュールに合うように構成する方法を説明します。

カタログの章

この章では、サプライヤの商品を記述する方法を説明します。

調達サイクルの章

この章では、調達サイクル内の連続的な段階について説明します。

依頼の章

この章では、依頼を管理する方法について説明します。

見積の章

この章では、見積を管理する方法について説明します。

発注の章

この章では、発注を管理する方法について説明します。

受領、実行、作成、返却の章

この章では、商品とサービスを受領する方法と返却する方法について説明します。
また、受領プロセスの前にデータベースにレコードを作成する方法について説明します。

請求書の章

この章では、受領した商品とサービスの請求書を処理する方法について説明します。

コストの章

この章では、取得コストにリンクされた情報を管理する方法について説明します。

特別な例の部

複合製品の章

この章では、製品バンドルを管理する方法について説明します。

計量単位の章

この章では、調達プロセスで計量単位を記載する方法について説明します。

パッケージングの章

この章では、調達プロセスでパッケージングの各種フォームを処理する方法について説明します。

予約の章

この章では、ポートフォリオ品目を予約する方法について説明します。

交換の章

この章では、資産を交換する方法について説明します。

作業指示の章

この章では、作業指示の取得を管理する方法について説明します。

在庫の自動再発注の章

この章では、自動による在庫再発注を管理する方法について説明します。

リースの章

この章では、リース資産の取得を管理する方法について説明します。

契約の章

この章では、発注した資産と契約間の関係を管理する方法について説明します。

付録の部

付録用語解説

用語解説では、調達モジュールで使用される基本用語の定義を示します。

付録参考情報

この付録では、調達モジュールの参照情報を示します。

本マニュアルの使用方法

プロファイルによって異なる本マニュアルの使用方法を以下に示します。

AssetCenter調達モジュールの実装者

実装者の場合、本マニュアルを全部読んでモジュールの全容を把握することをお勧めします。

調達部管理者

1 一般概念 [修献3]の章
2 付録参考情報 [修献27]、レポートと書式 [修献47]の節

購入者

1 一般概念 [修献3]の章
2 カタログ [修献5]の章
3 調達サイクル [修献9]の章
4 依頼 [修献7]の章
5 見積 [修献9]の章
6 コスト [修献13]の章
7 複合製品 [修献29]の章
8 計量単位 [修献43]の章
9 パッケージング [修献51]の章
10 予約 [修献65]の章
11 交換 [修献79]の章
12 作業指示 [修献85]の章
13 在庫の自動再発注 [修献95]の章

依頼を記録するユーザ

1 一般概念 [修献3]の章

2 調達サイクル [修献9]の章
3 依頼 [修献7]の章
4 パッケージング [修献51]の章
5 予約 [修献65]の章
6 交換 [修献79]の章

依頼を承認する従業員

1 一般概念 [修献3]の章
2 依頼 [修献7]の章

発注する従業員

1 一般概念 [修献3]の章
2 準備段階 [修献1]の章
3 適切な参照レコード [修献5]の章
4 カタログ [修献5]の章
5 調達サイクル [修献9]の章
6 依頼 [修献7]の章
7 見積 [修献9]の章
8 発注 [修献5]の章
9 複合製品 [修献29]の章
10 計量単位 [修献43]の章
11 パッケージング [修献51]の章

発注を承認する従業員

1 一般概念 [修献3]の章
2 受領、実行、作成、返却 [修献7]の章

発注を受領するユーザ

1 一般概念 [修献3]の章
2 調達サイクル [修献9]の章

3 受領、実行、作成、返却 [傳献7]の章

請求書を記録する従業員

1 一般概念 [傳献3]の章
2 請求書 [傳献09]の章

実用例に関する一般情報

実用例を実行するためには、各手順を指定の順番で全部行う必要があります。

ヒント:

実用例に指定されたレコードを作成する場合、電子形式（PDFまたはCHM）の本マニュアルから値をコピーしてAssetCenterの必要フィールドに貼り付けることができます。

記載されているのは基本的なフィールドとリンクのみです。その他のフィールドとリンクについては、自分で調べて検討してください。

ヒント:

フィールドのコンテキストヘルプ（［Shift＋F1］キー）に有用な情報が表示されます。

実用例を実行する場合、最初に以下の作業を行う必要があります。

1 AssetCenterデモ用データベースに接続します。
2 少なくともポートフォリオ、調達、ファイナンス、ケーブル、契約モジュールを使用できるようにします（［ファイル／モジュールの起動］メニュー）。

以下の実用例を最初に実行してから、その他の実用例を実行する必要があります。

- 実用例1: 適切な参照レコード [傳献6]
- 実用例2: 単純カタログ [傳献9]

表記法

本マニュアルで使用する表記法の一覧を以下に示します。

表記法	説明
Java Script code	コードまたはコマンドの例
Fixed-width characters	DOSコマンド、関数パラメータ、またはデータ形式
...	省略したコードまたはコマンド部分
注意: 追加情報	役立つ情報
重要項目: 注意してください。	ユーザにとって重要な情報
ヒント: ユーザへのワンポイント	ワンポイント
警告: 警告	ユーザにとって極めて重要な情報
オブジェクト	AssetCenterインタフェースオブジェクトであるメニューエントリ、タブ、またはボタン。

以下の表記法も使用します。

- 決められた順で実行しなければならない手順は、次のように番号付きのリストで表示します。
  1. 手順1
  2. 手順2
  3. 手順3
- すべての図と表は、章と出現する順番に応じて番号が付けられます。例えば、第2章の4番目の表のタイトルは表2-4が先頭に付きます。

パート I

概要

1 一般概念

カタログ

カタログは、サプライヤに発注する対象を記述するために使用します。

カタログは、別々の段階で構成されており、以下の図に簡単な説明を示し、表に詳細を示します。

図 1.1. カタログ - 作成

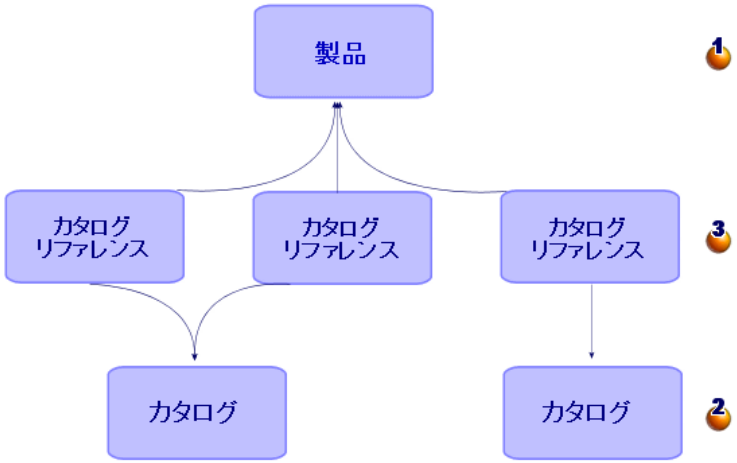


表 1.1. カタログ - 作成

段階	コメント
1 製品	製品を作成することから開始します。 製品とは、サプライヤから購入できるハードウェアまたはサービスです。 例：Compaq E500コンピュータ、Microsoft Word 2003の研修 製品には、表記価格がありますが、サプライヤの取引条件はありません。 カタログの作成には、いくつかの標準化された方法があります。 例：UN/SPSC標準 製品作成時には、これらの標準に準拠することができます。
2 カタログ	続いて、カタログを作成します。 カタログは、任意のサプライヤから製品を取得する時の条件を指定するリファレンスの一式です。 例：Computer Companyから入手可能なHP製品のカタログ

段階	コメント
3 カタログリファレンス	最後に、カタログリファレンスをカタログに追加します。 カタログリファレンスは、指定サプライヤの任意の製品を取得するための取引条件を説明します。 例：Compaq E500コンピュータに対するサプライヤComputer Companyの取引条件 複数のサプライヤで入手可能な場合、1つの製品が複数のカタログリファレンスによって参照されます。

調達サイクル

調達サイクルでは、AssetCenterデータベース（属性、モデル、従業員、場所など）の中心部分も使用します。

▸ 属性 [傳敵22]およびモデル [傳敵21]

調達サイクルには次に示す段階が含まれます。下記の最初の図に簡単に説明し、その後の図と表に詳細に説明します。

図 1.2. 調達サイクル - 段階の概要

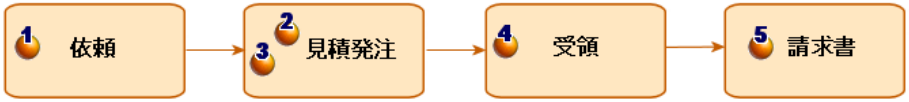


図 1.3. 調達サイクル - 段階の詳細説明

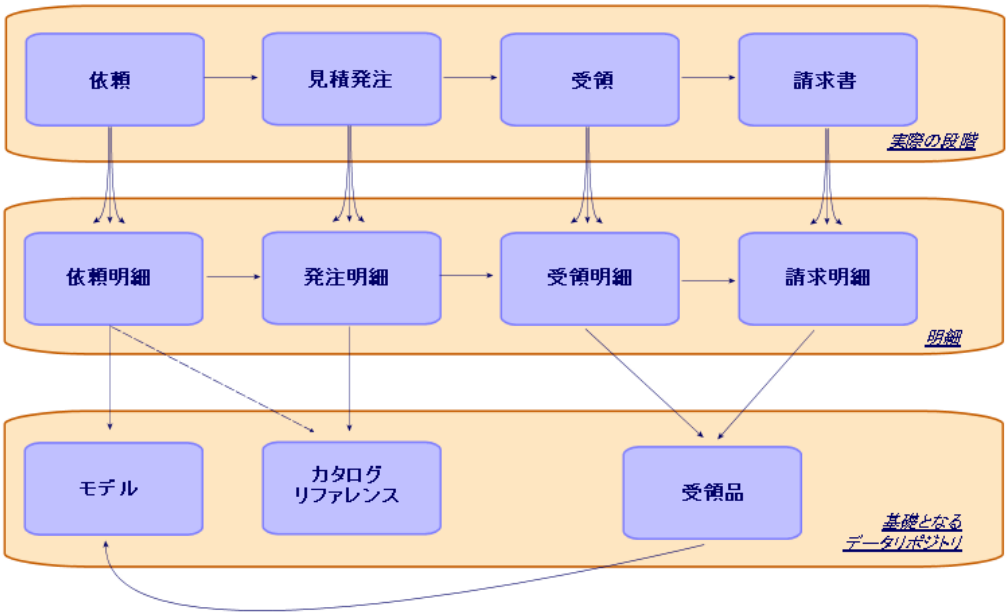


表 1.2. 調達サイクル - 段階

段階	コメント
1 依頼	依頼は要求を記述したものです。 依頼は、依頼明細で構成されます。 各依頼明細では、モデルを指定します。詳細な情報が必要な場合は、オプションのカタログリファレンスを指定することもあります。 見積と発注を作成するための基盤として、依頼が使用されます。 依頼明細レベルで選択されたモデルは、品目またはサービスを受領時に作成するために使用されます。 依頼明細の階層構造は、受領する品目またはサービスのレベルに引き継がれます。例: コンピュータの依頼明細を作成してから、コンピュータ依頼明細にリンクされた画面の依頼明細を作成します。依頼明細から作成された発注を受領する場合、画面はコンピュータにリンクされます。

段階	コメント
2 見積	見積では、任意のサプライヤからの潜在的な購入について記述します。 見積は、見積明細で構成されます。 各見積明細は、カタログリファレンスを参照します。 見積は通常、依頼から作成され、この例の場合、サプライヤごとに別々の見積が作成されます。1つの依頼から無制限に見積が作成されることもあります。 依頼を経由せずに、見積を直接作成することもできます。ただし、モジュール機能への適合性が低下します。 見積は、承認されている場合、発注に変換されます。 **注意:** 見積と発注は、同じテーブルに保存されます。それらの違いは、［ステータス］フィールドです。見積に該当するフィールド値を以下に示します。 ■ 準備中 ■ 見積依頼済 ■ 見積済 ■ 承認待ち ■ 承認済 ■ 却下

段階	コメント
3 発注	発注は、指定のサプライヤから取得する対象について記述します。 発注は、発注明細で構成されます。 **ヒント:** AssetCenterを使用すると、各発注明細が依頼明細に必ず関連付けられます。発注明細を追加するか依頼された数量を増やした場合、発注した時に、不足する依頼明細を作成するようAssetCenterによって指示されます（［発注］ボタン）。 各発注明細は、カタログリファレンスを参照します。 発注は通常見積から作成しますが、依頼から作成することもあります。 また、非常にまれなケースとして発注を直接作成することもあります。 発注は、受領作成の基盤として使用されます。 **注意:** 見積と発注は、同じテーブルに保存されます。それらの違いは、［ステータス］フィールドです。発注に該当するフィールド値を以下に示します。 ■ 発注済 ■ サプライヤ側で受注確認済 ■ 検収済
4 受領と返却	受領は、指定サプライヤによって実施された配達を処理する時に受領する対象を記述します。 受領は、受領明細と返却明細で構成されます。 返却明細の各受領は、発注明細を参照します。 受領は通常、発注依頼から作成されます。 発注の受領は、単一操作または複数操作で実施されます。 また、非常にまれなケースとして受領を直接作成することもあります。 発注は、受領作成の基盤として使用されます。

段階	コメント
5 請求書	請求書は、サプライヤから受領した請求の記録です。 請求書は、請求明細で構成されます。 各請求明細は、カタログリファレンスを参照します。 請求書は通常、発注依頼から作成されます。 また、非常にまれなケースとして請求書を直接作成することもあります。 発注明細または受領と請求明細との間に直接リンクを作成することはしません。

特定テーブルでの階層属性の影響

調達に直接リンクされたテーブルの中で、以下のテーブルが階層構造（レコードが同一テーブル内に親レコードを持つ）であり、細心の注意を払う必要があります。

表 1.3. 階層テーブル - 影響

テーブル	AssetCenterによるレコード間の階層関係の処理
［モデル］（amModel）	モデルの階層構造は、以下の目的を満たします。 ■ レコードを簡単に利用できるように整理する 例：モデルハードウェア/コンピュータ/ラップトップの構造 ■ 発注を依頼から作成すると、AssetCenterによって、各依頼明細に関連付けられたモデルが特定され、モデルとサブモデルに関連付けられたカタログリファレンスが提供されます。 モデル間の階層リンクが受領時に作成されるレコード間の階層リンクに与える影響はありません。 モデルを参照してそのモデルがサブモデルにリンクされる依頼明細を作成すると、発注を依頼から作成する場合にAssetCenterによってサブモデルの発注明細が作成されません。

テーブル	AssetCenterによるレコード間の階層関係の処理
[製品] (amCatProduct)	製品の階層構造は、依頼を見積の作成ウィザードで見積に変換するか、発注の作成ウィザードで発注に変換する時にAssetCenterによって使用されます。 各依頼明細は、ウィザードによってカタログリファレンスに関連付けられます。このカタログリファレンスは製品にリンクされます。AssetCenterにより、本製品および各従属製品に対して発注明細が作成されます。 従属製品の発注明細は主製品の発注明細にリンクされます。
[依頼明細] (amReqLine)	AssetCenterによって、依頼明細間の階層リンクが受領時に作成されるレコードのレベルまで伝達されます。 例: 2つの依頼明細を作成し、片方がもう片方の親であるとします。これらの依頼明細から発注を作成すると、AssetCenterによって依頼明細ごとに1つの発注明細が作成されます。ただし、発注明細間に階層関係はありません。発注を受領すると、AssetCenterによって、発注明細から2つのレコードが作成され、依頼明細の階層関係を使用して受領品目間に階層リンクが作成されます。
[発注明細] (amPOrdLine)	発注明細の階層構造は、参照専用です。デフォルトで、製品間の階層関係が反映されています
[ポートフォリオ品目] (amPortfolio)	発注を受領すると、AssetCenterによって依頼明細間の階層リンクが使用され、ポートフォリオ品目間の階層リンクが作成されます。モデル、製品、または発注明細の階層リンクはAssetCenterによって参照されません。
[契約] (amContract)	発注を受領すると、AssetCenterによって依頼明細間の階層リンクが使用され、契約間の階層リンクが作成されます。モデル、製品、または発注明細の階層リンクはAssetCenterによって参照されません。
[作業指示] (amWorkOrder)	発注を受領すると、AssetCenterによって依頼明細間の階層リンクが使用され、作業指示間の階層リンクが作成されます。モデル、製品、または発注明細の階層リンクはAssetCenterによって参照されません。

2 準備段階

調達モジュールの必要条件

調達モジュールを使用するには、AssetCenterユーザライセンスによって以下のモジュールへのアクセスが付与される必要があります。

表 2.1. 調達モジュール - 必要なユーザライセンス

必要な機能	ライセンス範囲内で得られるモジュール
調達全般	調達
社内依頼の作成（［調達／購入依頼］メニューではなくて［ポートフォリオ／社内依頼］メニューを使用した購入依頼の作成と同等）	ポートフォリオ
ポートフォリオ品目の取得	ポートフォリオ
ケーブルの取得	ケーブル
作業指示の取得	ポートフォリオ
契約使用の取得	契約
取得経費の管理	ファイナンス
一括発注の管理	契約

調達モジュールに伴うプロダクション用データベースの作業

データベースを使用するためには、以下の作業を行う必要があります。

1 AssetCenterをインストールします。
2 AssetCenter Database Administratorを実行します。
3 データベースを作成して、調達モジュール専用の業務データをインポートします（下記手順を参照）。
4 表調達モジュール - 必要なユーザライセンス [倏鹹1]に記載されたモジュールを含むユーザライセンスを挿入します。
5 AssetCenterを実行します。
6 データベースに接続します。
7 ［ファイル／モジュールの起動］メニューで、表調達モジュール - 必要なユーザライセンス [倏鹹1]のモジュールを起動します。

データベース作成時の業務データのインポート

マニュアル『管理』の「AssetCenterデータベースの作成、変更、および削除／AssetCenter Database Administratorを使ってデータベース構造を作成する」の章に記述されている手順に従います。

［インポートするデータ］ページで、［調達 - 業務データ］を選択します。

業務データの既存データベースへのインポート

以下の方法で行います。

1 AssetCenter Database Administratorを実行します。
2 ［ファイル／開く］メニューを選択します。
3 ［データベース記述ファイルを開く（新規データベースの作成）］オプションを選択します。
4 AssetCenterインストール先フォルダのconfigサブフォルダにあるファイルgbbase.xmlを選択します。
5 データベース作成ウィザードを起動します（［アクション／データベースの作成］メニュー）。
6 ウィザードのページを次のように入力します（ウィザードページの移動には［次へ］と［戻る］ボタンを使用します）。

［SQLスクリプトの生成/データベースの作成］ページ:

フィールド	値
データベース	レポートのインポート先にするデータベースへの接続を選択します。
作成	業務データをインポートします。
高度な作成オプションを使用	このオプションは選択しません

［作成パラメータ］ページ：

フィールド	値
パスワード	管理者のパスワードを入力します。 **注意:** AssetCenterデータベース管理者は、［名前］（Name）フィールドがAdminに設定された［従業員と部署］（amEmplDept）テーブル内のレコードです。 データベース接続ログインは、［ユーザ名］（UserLogin）フィールドに保存されます。管理者名はAdminです。 パスワードは、［パスワード］フィールド（LoginPassword）に保存されます。

［インポートするデータ］ページ:

フィールド	値
使用可能データ	オプション［調達 - 業務データ］を選択します。
エラー発生時にインポートを中止	このオプションは、問題が発生したときにインポートを中止する場合に選択します。
ログファイル	エラーや警告などすべてのインポート操作を記録するファイルの完全名。

7 ウィザードによって定義したオプションを実行します（［終了］ボタン）。

AssetCenterインストールの詳細について

zマニュアル『インストール』を参照してください。

3 適切な参照レコード

基本概念

調達モジュールで必要になるリポジトリまたは参照レコードは、基本的に次のレコードで構成されます。

- 属性
- モデル
- メーカ
- 部署と従業員
- サプライヤ
- 在庫
- コストセンタ
- コストカテゴリ

モデルには重要な役割があります。モデルは以下の目的で使用されます。

- 依頼明細を作成します。これにより、依頼された対象を指定できます。
- 発注品目が受領された時に発注品目を作成します（ポートフォリオ品目、作業指示、契約、研修、およびケーブル）。

モデルを調達モジュールで使用できるようにするには、［購入依頼用に承認済］（bRequestable）オプションを選択する必要があります（モデルの詳細画面、［全般］タブ）。

注意:

調達モジュールで使用可能なモデルを作成するために、すべての属性を使用できます。

実用例1: 適切な参照レコード

はじめに

この簡単な実用例では、調達管理のための参照レコードの作成を紹介します。以下の実用例では、この実用例で作成したレコードが使用されます。

必要条件

必要条件はありません。

シナリオ

以下のモデルを取得するのが仕事です。

属性	メーカ	モデル
PC1 - コンピュータ	PC1 - Compaq	PC1 - E500
PC1 - 画面	PC1 - Compaq	PC1 - XGA画面
PC1 - 画面	PC1 - Compaq	PC1 - SXGA画面
PC1 - USBキー	PC1 - Freecom	PC1 - USBキー256
PC1 - USBキー	PC1 - Freecom	PC1 - USBキー512
PC1 - 外付けCDライター	PC1 - Compaq	PC1 - Compaq外付けCDライター
PC1 - コンピュータ設定		PC1 - セールスエンジニア用の設定
PC1 - 作業指示		PC1 - コンピュータのインストール
PC1 - 作業指示		PC1 - コンピュータの接続
PC1 - 契約		PC1 - 保証
PC1 - メンテナンス契約		PC1 - メンテナンス契約
PC1 - 契約		PC1 - 契約
PC1 - 研修		PC1 - コンピュータ基礎研修

属性	メーカ	モデル
PC1 - ケーブル		PC1 - 同軸ケーブル

これらのモデルは、会社「PC1 - MySupplier」から取得します。
読者の会社の従業員に「PC1 - 小林」氏という社員がいます。
読者の会社には「PC1 - 在庫」という在庫があります。
次のコストカテゴリに対して、読者の会社では経費が割り当てられます。

- PC1 - コンピュータ
- PC1 - ケーブル
- PC1 - 作業指示
- PC1 - 契約
- PC1 - 研修

読者の会社は、資産の減価償却に計算式「PC1 - 定額法」を使用します。
経費は、コストセンタ「PC1 - 本社」に割り当てられます。

作成

属性の作成

1. 属性を表示します（［ポートフォリオ／属性］）。
2. 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - コンピュータ
作成（seBasis）	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル（OverflowTbl）	コンピュータ（amComputer）
管理条件（seMgtConstraint）	固有資産タグ

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 画面
作成（seBasis）	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル（OverflowTbl）	(テーブルなし)
管理条件（seMgtConstraint）	固有資産タグ

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - USBキー
作成（seBasis）	ポートフォリオ品目

フィールドまたはリンク	値
オーバーフローテーブル（OverflowTbl）	(テーブルなし)
管理条件（seMgtConstraint）	資産タグ

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 外付けCDライター
作成（seBasis）	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル（OverflowTbl）	(テーブルなし)
管理条件（seMgtConstraint）	固有資産タグ

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - コンピュータ設定
作成（seBasis）	なし

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 作業指示
作成（seBasis）	作業指示

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - メンテナンス契約
作成（seBasis）	契約
契約のタイプ（seCntrType）	メンテナンス

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 契約
作成（seBasis）	契約
契約のタイプ（seCntrType）	その他

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 研修
作成（seBasis）	研修

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - ケーブル
作成（seBasis）	ケーブル

3 すべてのウィンドウを閉じます。

メーカの作成

1 メーカを表示します（［ポートフォリオ／メーカ］）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - Freecom

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - Compaq

3 すべてのウィンドウを閉じます。

コストカテゴリの作成

1 コストカテゴリを表示します（［ファイナンス／コストカテゴリ］）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - コンピュータ

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - ケーブル

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 作業指示

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 契約

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 研修

4 すべてのウィンドウを閉じます。

コストセンタの作成

1 コストセンタを表示します（［ファイナンス／コストセンタ］）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
ラベル（Title）	PC1 - 本社

4 すべてのウィンドウを閉じます。

減価償却の計算式の作成

1 減価償却の計算式を表示します（［ファイナンス／減価償却の計算式］）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 定額法

4 すべてのウィンドウを閉じます。

モデルの作成

1 モデルを表示します（［ポートフォリオ／モデル］）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - E500
メーカ（Brand）	PC1 - Compaq
属性（Nature）	PC1 - コンピュータ
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい
［会計］タブ	
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - コンピュータ
会計コード（AcctCode）	PC1 - CC001
タイプ（DeprScheme）	PC1 - 定額法

フィールドまたはリンク	値
税率（pTaxRate）	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - XGA画面
メーカ（Brand）	PC1 - Compaq
属性（Nature）	PC1 - 画面
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい
税率（pTaxRate）	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - SXGA画面
メーカ（Brand）	PC1 - Compaq
属性（Nature）	PC1 - 画面
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい
税率（pTaxRate）	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - USBキー256
メーカ（Brand）	PC1 - Freecom
属性（Nature）	PC1 - USBキー
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい
税率（pTaxRate）	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - USBキー512
メーカ（Brand）	PC1 - Freecom
属性（Nature）	PC1 - USBキー
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい
税率（pTaxRate）	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 外付けCDライター
メーカ（Brand）	PC1 - Compaq
属性（Nature）	PC1 - 外付けCDライター
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい

フィールドまたはリンク	値
税率（pTaxRate）	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - セールスエンジニア用の設定
属性（Nature）	PC1 - コンピュータ設定
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - コンピュータの接続
属性（Nature）	PC1 - 作業指示
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい
［作業指示］タブ	
タイプ（seWOType）	内部メンテナンス
［会計］タブ	
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - 作業指示
税率（pTaxRate）	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - コンピュータのインストール
属性（Nature）	PC1 - 作業指示
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい
［作業指示］タブ	
タイプ（seWOType）	契約外メンテナンス
［会計］タブ	
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - 作業指示

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - メンテナンス契約
属性（Nature）	PC1 - メンテナンス契約
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい
税率（pTaxRate）	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 保証
属性（Nature）	PC1 - 契約
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい
［会計］タブ	
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - 契約

フィールドまたはリンク	値
税率（pTaxRate）	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - コンピュータ基礎研修
属性（Nature）	PC1 - 研修
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい
［会計］タブ	
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - 研修
税率（pTaxRate）	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 同軸ケーブル
属性（Nature）	PC1 - ケーブル
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい
［会計］タブ	
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - ケーブル
タイプ（DeprScheme）	PC1 - 定額法
税率（pTaxRate）	7.75%

3 すべてのウィンドウを閉じます。

従業員の作成

1 従業員と部署を表示します（［ポートフォリオ／従業員と部署］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 小林

3 すべてのウィンドウを閉じます。

サプライヤの作成

1 サプライヤを表示します（［ポートフォリオ／サプライヤ］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - MySupplier

3 すべてのウィンドウを閉じます。

在庫の作成

1 在庫を表示します（［ポートフォリオ／在庫］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 在庫

4 すべてのウィンドウを閉じます。

4 カタログ

基本概念

カタログ

カタログを使用すると、同一条件の製品を提供する1つ以上のサプライヤの製品を記述することができます。

ヒント:

通常、1つのサプライヤを特定の1つのカタログに関連付ける必要があります（［サプライヤ］タブ）。

ただし、サプライヤが同一ネットワークに属し同一の取引条件で同一製品を供給する場合、カタログに複数のサプライヤを関連付けることができます。

カタログリファレンスはそのサプライヤに直接リンクされていないことに注意してください。カタログリファレンスのサプライヤは、カタログのサプライヤです。

この理由から、カタログリファレンスの取引条件が［サプライヤ］タブに表示されるすべてのサプライヤで同じ必要があります。

サプライヤ参照とモデル間のリンク

サプライヤが製品を記述する方法と、ポートフォリオ内のレコードのリンク先モデルとの間には直接の関係があります。

ただし、それらのうち2つを発注済みカタログリファレンスの受領時にリンクする必要があります。

このリンクは製品を通して行われます。

- サプライヤ側では、製品に関連付けられたカタログリファレンスを発注します。
- ポートフォリオ側では、モデルに関連付けられたレコードを作成します。

製品とモデル間のリンクを使用することで、AssetCenterは発注の受領時にポートフォリオ内にレコードを自動作成します。

このため、AssetCenterはリンク発注明細 -> カタログリファレンス -> 製品 -> モデルに従います

外部カタログのインポート

インポート可能なフォーマットのカタログデータがサプライヤから提示される場合、このインポートおよび更新処理を自動化することができます。

このタスクを実施するためには、Connect-Itを使用します。Connect-Itは数々のファイルフォーマットを操作できます。

また、AssetCenterの整合性モジュールを使用することもできます（▶ マニュアル『整合性』）。

製品に関連付けられたカタログリファレンスがサプライヤによって提示される場合、それらの各製品をAssetCenter参照レコード内のモデルに関連付ける必要があります。

オプション

AssetCenterを使用すると、オプションが使用可能な製品を記述できます。

デフォルトで、調達サイクルにはオプションを処理する機能がありません。

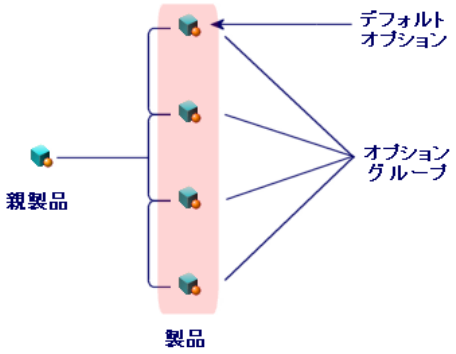
調達サイクルでオプションを管理するためには、ウィザードを作成するか、既存のウィザードを必要に応じて変更します。

オプションに適用する原則を以下に示します。

表 4.1. オプション - 原則

原則	調達サイクルレベルでの結果	例
製品がオプションの従属製品（任意の数）で構成されます。	カタログリファレンスを選択して発注を作成する時に、AssetCenterによって、カタログリファレンスに関連付けられた製品が特定され、主製品の従属製品に発注明細を追加するかどうかが自動的に調べられます。	車にはCDプレイヤー、複数枚のドアなどのオプションが使用可能です。
オプションの従属製品がオプショングループに関連付けられます。	発注時に、各オプショングループからオプション製品を選択する必要があります。	オプショングループドアの数には、次のオプションがあります。 ■ 3-door ■ 5-door
オプショングループがオプションまたは必須です。	オプショングループが必須である場合、オプションをオプショングループから選択する必要があります。 それ以外の場合、選択はオプションです。	■ オプショングループドアの数が必須です。 ■ オプショングループCDプレイヤーがオプションです。
必須のオプショングループがデフォルトオプションに関連付けられます。	発注作成時に、デフォルト値が自動的に使用されます。	オプショングループドアの数は、デフォルトでオプション5-doorに関連付けられます。

図 4.1. オプション - 原則



手順

実行順序

カタログを作成するには、以下の順番で作業するのが最も簡単です。

1 カタログを作成します。
2 製品を作成します。
3 カタログリファレンスを作成します。

カタログを作成するには

1 カタログを表示します（［調達／カタログ］メニュー）。
2 カタログを作成します。
3 レコードの詳細を入力します。

製品を作成するには

1 カタログ製品を表示します（［調達／製品］メニュー）。
2 製品を作成します。
3 レコードの詳細を入力します。

カタログリファレンスを作成するには

- 第1の方法:
  1 カタログを表示します（［調達／カタログ］メニュー）。
  2 リファレンスを追加するカタログを選択します。
  3 ［リファレンス］タブを選択します。
  4 リファレンスを追加します（［+］ボタン）。
  5 レコードの詳細を入力します。
- 第2の方法:
  1 カタログリファレンスを表示します（［調達／リファレンス］メニュー）。
  2 リファレンスを新規作成します（［新規作成］ボタン）。
  3 レコードの詳細を入力します。

オプション

以下に、オプション付きの製品を作成する主要な手順を示します。

1 主製品を作成します。
2 オプショングループを作成します。
3 オプションを作成します。
4 主製品とオプションの従属製品のカタログリファレンスを作成します。

オプショングループを作成するには、次の手順を行います。

1 オプショングループを表示します（［管理／画面一覧］、［オプション］テーブル（amProdOption））。
2 オプショングループを新規作成します。
3 レコードの詳細を入力します。

オプション製品を定義するには、次の手順を行います。

1 製品を表示します（［調達／製品］メニュー）。
2 オプション製品を作成します。
3 レコードの詳細画面に入力します。特に以下のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
親レコード（Parent）	オプションの従属製品の上位の製品を選択します。
オプション（bOption）	このオプションを選択します。
オプショングループ（OptionGroup）	オプションの従属製品がオプショングループに属する場合、このリンクを入力します。
デフォルトのオプション（bDefaultOption）	オプションの従属製品がオプショングループに属してデフォルトで入力の必要がある場合、このリンクに入力します。

実用例2: 単純カタログ

はじめに

この実用例は、単純カタログを作成する方法を示すことを目的としています。

必要条件

実用例実用例1: 適切な参照レコード [傳蘭6]を実行している必要があります。

シナリオ

ラップトップ「PC1 - Compaq E500」は、会社「PC1 - MySupplier」に発注できるモデルの1つです。

これをカタログ内に記述します。

作成

カタログの作成

1 カタログを表示します（［調達／カタログ］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - MySupplier
通貨（Currency）	USD（US Dollar）
［サプライヤ］タブ	会社「PC1 - MySupplier」にリンクを追加します。

3 すべてのウィンドウを閉じます。

製品の作成

1 カタログ製品を表示します（［調達／製品］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	z値
説明（Description）	PC2 - E500
メーカ（Brand）	PC1 - Compaq

フィールドまたはリンク	z値
モデル（Model）	PC1 - E500

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC2 - コンピュータのインストール
モデル（Model）	PC1 - コンピュータのインストール

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC2 - 保証
モデル（Model）	PC1 - 保証

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC2 - 外付けCDライター
メーカ（Brand）	PC1 - Compaq
モデル（Model）	PC1 - 外付けCDライター

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC2 - コンピュータ基礎研修
モデル（Model）	PC1 - コンピュータ基礎研修

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC2 - 同軸ケーブル
モデル（Model）	PC1 - 同軸ケーブル

3 すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

1 カタログリファレンスを表示します（［調達／リファレンス］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC2 - E500 (PC1 - MySupplier)
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC2 - E500
説明（Description）	PC2 - E500
価格（fPrice）	1000

フィールドまたはリンク	値
割引（pDiscount）	10%

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC2 - コンピュータのインストール（PC1 - MySupplier）
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC2 - コンピュータのインストール
説明（Description）	PC2 - コンピュータのインストール
価格（fPrice）	400
z割引（pDiscount）	10%

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC1 - 外付けCDライター (PC1 - MySupplier)
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC2 - 外付けCDライター
説明（Description）	PC2 - 外付けCDライター
価格（fPrice）	150
割引（pDiscount）	0%

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC2 - 保証 (PC1 - MySupplier)
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC2 - 保証
説明（Description）	PC2 - 保証
価格（fPrice）	50
割引（pDiscount）	0%

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC2 - コンピュータ基礎研修
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC2 - コンピュータ基礎研修
説明（Description）	PC2 - コンピュータ基礎研修
価格（fPrice）	200

フィールドまたはリンク	値
割引（pDiscount）	5%

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC2 - 同軸ケーブル (PC1 - MySupplier)
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC2 - 同軸ケーブル
説明（Description）	PC2 - 同軸ケーブル
価格（fPrice）	300
割引（pDiscount）	10%

3 すべてのウィンドウを閉じます。

デフォルトのモデル用カタログリファレンスの定義

1 モデルを表示します（［ポートフォリオ／モデル］）。
2 以下のレコード（表の最初の行を使用して識別可能）を選択してから、下の表に示すようにフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - E500
［カタログ情報］タブ	
zデフォルトのRef.（DefCatRef）	PC2 - E500 (PC1 - MySupplier) - PC2 - E500

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - コンピュータのインストール
［カタログ情報］タブ	
デフォルトのRef.（DefCatRef）	PC2 - コンピュータのインストール（PC1 - MySupplier）- PC2 - コンピュータのインストール

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 保証
［カタログ情報］タブ	
デフォルトのRef.（DefCatRef）	PC2 - 保証 (PC1 - MySupplier) - PC2 - 保証

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - コンピュータ基礎研修
［カタログ情報］タブ	

フィールドまたはリンク	値
デフォルトのRef.（DefCatRef）	PC2 - コンピュータ基礎研修 - PC2 - コンピュータ基礎研修

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC1 - 同軸ケーブル
［カタログ情報］タブ	
デフォルトのRef.（DefCatRef）	PC2 - 同軸ケーブル (PC1 - MySupplier) - PC2 - 同軸ケーブル

3 すべてのウィンドウを閉じます。

実用例3: オプション

はじめに

この実用例は、オプション付きの製品を作成する方法を示すことを目的としています。

必要条件

実用例実用例1: 適切な参照レコード [傳蔵6]を実行している必要があります。

シナリオ

サプライヤ「PC1 - MySupplier」では、2種類の画面（必須オプション）と2種類のUSBキー（オプション）を選択できるコンピュータ「PC1 - E500」を販売します。

作成

オプショングループの作成

1 オプショングループを表示します（［管理／画面一覧］、［オプション］テーブル（amProdOption））。

2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC3 - 画面
選択必須（bMandatory）	はい

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC3 - USBキー
選択必須（bMandatory）	いいえ

3 すべてのウィンドウを閉じます。

製品の作成

1 カタログ製品を表示します（［調達／製品］メニュー）。

2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC3 - オプション付きE500
メーカ（Brand）	PC1 - Compaq
モデル（Model）	PC1 - E500

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC3 - XGA画面
メーカ（Brand）	PC1 - Compaq
モデル（Model）	PC1 - XGA画面
親レコード（Parent）	PC3 - オプション付きE500
オプション（bOption）	はい
オプショングループ（OptionGroup）	PC3 - 画面
デフォルトのオプション（bDefaultOption）	はい

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC3 - SXGA画面
メーカ（Brand）	PC1 - Compaq
モデル（Model）	PC1 - SXGA画面
親レコード（Parent）	PC3 - オプション付きE500
オプション（bOption）	はい
オプショングループ（OptionGroup）	PC3 - 画面

フィールドまたはリンク	値
デフォルトのオプション（bDefaultOption）	いいえ

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC3 - USBキー256
メーカ（Brand）	PC1 - Freecom
モデル（Model）	PC1 - USBキー256
親レコード（Parent）	PC3 - オプション付きE500
オプション（bOption）	はい
オプショングループ（OptionGroup）	PC3 - USBキー
デフォルトのオプション（bDefaultOption）	いいえ

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC3 - USBキー512
メーカ（Brand）	PC1 - Freecom
モデル（Model）	PC1 - USBキー512
親レコード（Parent）	PC3 - オプション付きE500
オプション（bOption）	はい
オプショングループ（OptionGroup）	PC3 - USBキー
デフォルトのオプション（bDefaultOption）	いいえ

3 すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

1 カタログリファレンスを表示します（［調達／リファレンス］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC3 - オプション付きE500 (PC1 - MySupplier)
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC3 - オプション付きE500
説明（Description）	PC3 - オプション付きE500
価格（fPrice）	900
割引（pDiscount）	10%

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC3 - XGA画面 (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC3 - XGA画面
説明（Description）	PC3 - XGA画面
価格（fPrice）	100
割引（pDiscount）	10%

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC3 - SXGA画面（PC1 - MySupplier）
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC3 - SXGA画面
説明（Description）	PC3 - SXGA画面
価格（fPrice）	100
割引（pDiscount）	10%

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC3 - USBキー256 (PC1 - MySupplier)
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC3 - USBキー256
説明（Description）	PC3 - USBキー256
価格（fPrice）	150
割引（pDiscount）	10%

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC3 - USBキー512 (PC1 - MySupplier)
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC3 - USBキー512
説明（Description）	PC3 - USBキー512
価格（fPrice）	300
割引（pDiscount）	10%

3 すべてのウィンドウを閉じます。

5 調達サイクル

基本概念

調達サイクルは連続的な段階で構成されています。

サイクルは、すべての段階が実行される場合に最も適切に使用されます。

特殊なケースで、特定の段階を省略することもできますが、自動的に処理が実行されるという利点がなくなる場合もあります。

例えば、依頼を最初に作成せずに見積を作成すると、見積の［発注］をクリックしたときにAssetCenterによって依頼が自動作成されます。この場合、依頼明細は階層構造なしで作成されます。階層構造は有用な情報です。これを付与し忘れると、発注の受領時に作成される該当のレコードにも階層構造がなくなります。

表 5.1. 調達サイクル - 段階

段階	段階の特性
依頼	依頼を使用すると、必要な場合にモデルへの参照を作成しカタログリファレンスを使用することによって、要求を記述することができます。 発注の受領時に作成されるレコード間の階層リンクは、依頼明細間の階層リンクによって定義されます。

段階	段階の特性
見積	見積を使用すると、実際に行われる発注を記述することができます。 見積は、見積もられた状態でまだ行われていない発注です。 通常、見積は依頼から作成されます。 例外的に、依頼を最初に作成せずに見積を作成する場合があります。この場合、見積の［発注］をクリックすると依頼が自動的に作成されます。
発注	発注を使用すると、サプライヤの発注済みカタログリファレンスを記述することができます。 発注は見積からのみ作成されます。
受領	受領を使用すると、発注明細の受領を記述することができます。 必要な場合（例: 発注明細がカタログリファレンスにリンクされる場合、製品にリンクされる場合、モデルにリンクされる場合、レコードの作成が規定される属性にリンクされる場合）、受領の作成によって、適切なテーブル（例:［ポートフォリオ品目］テーブル）にレコードが作成されます。 受領は、まだ受領されていない発注明細を参照することによって作成されます。
請求の記録	請求書を使用すると、サプライヤが送った請求の記録を作成することができます。 請求書を作成する最も理にかなった方法は、受領の詳細から作成する方法です。

調達サイクルのトラッキング

調達サイクルの管理上の表示は、以下のレコードの詳細画面に［トラッキング］を表示することによって取得可能です。

- 依頼
- 見積／発注
- 受領
- 請求書

［トラッキング］タブに情報をまとめる方法は、表示されるテーブルによって決まります。情報は、表示されるレコードから見て整理されます。

この画面は、ツリー構造で表示されます。

分岐点をクリックすることによって、サイクルの各種パラメータを表示することができます。

例えば、依頼の詳細画面で分岐点［依頼明細］をクリックすると、依頼に応えるために取得しなければならない品目を表示できます。

同様に、［関連する見積］の分岐点をクリックすると、さまざまな依頼品目から作成された見積が表示されます。

任意の見積を選択することによって開始する場合、見積に対応する依頼、発注、および受領が表示されます。

これらの項目のいずれかをダブルクリックすると、その項目の詳細画面にアクセスできます。

トラッキングアイコン

次のアイコンによって、依頼、発注、見積、受領の明細の現在のステータスが一目でわかります。

表 5.2. 調達サイクル - ［トラッキング］タブ内のアイコン（調達）

アイコン	意味
	その明細を含んでいる依頼は承認済です。
?	その明細を含んでいる依頼は承認待ちまたは承認中です。
	その明細を含んでいる依頼は却下されました。
3	その依頼明細の発注数。この例では3です。
3	その依頼明細の受領数。この例では3です。
	その依頼明細の納品待ちの物件の数量。この例では1です。
✓	依頼、見積、または発注明細がすべて受領済です。

実用例4 - 完全調達サイクル

はじめに

この実用例は、完全調達サイクルが段階から段階へどのように移り変わるかを示すことを目的としています。

サイクル内での各段階における機能の完全な範囲を示すことを目的にしているのではありません。これについては後述します。

必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1: 適切な参照レコード [修献6]
- 実用例2: 単純カタログ [修献9]

シナリオ

- 「PC1 - 小林」氏は、ラップトップ「PC1 - E500」が必要です。
- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積が承認されます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- 資産が受領されます。
- 資産の請求が登録されます。

作成

依頼の作成

1. 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2. ［新規作成］をクリックします。
3. 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
モデルを選択して新規依頼を作成する	はい
目的	PC4 - 小林氏用のコンピュータ
［OK］ボタンをクリックします。	
［依頼にモデルを追加する］ページ	
メーカ	PC1 - Compaq
モデル	PC1 - E500
単位と数量の変更	このオプションを選択して、数量1を入力します。
［追加］をクリックします。	
［次へ］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	

フィールドまたはリンク	値
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
目的	PC4 - 小林氏用のコンピュータ
ステータス（seStatus）	準備中
［明細］タブ	
リスト	モデル「PC1 - E500」に対応する依頼明細

5 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号（amRequest）	PC4 - REQ001

6 ［明細］タブを選択します。
7 行「1 PC1 - E500 PC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します（［拡大鏡］ボタン）。
8 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ユーザ（User）	PC1 - 小林

9 依頼明細の変更を確定します（［変更］ボタン）。
10 依頼明細の詳細画面を閉じます(［閉じる］ボタン)。
11 依頼の変更を確定します（［変更］ボタン）。
12 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

1 依頼PC4 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［見積］ボタンをクリックします。
3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［明細を選択する］ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
明細をすべて含める	はい
［次へ］をクリックします。	
［依頼が使用する参照を変更する］ページ	
ページをそのままの状態で使用できるはずです。 下の表に、「PC1 - E500 1 1 PC2 - E500 (PC1 - MySupplier) PC2 - E500 1,000 USD 10%」が表示されます。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ステータス（seStatus）	見積依頼済
最初の依頼明細（Request）	PC4 - REQ001（PC4 - 小林氏用コンピュータ）
［明細］タブ	
	見積の作成ウィザードによって選択されたカタログリファレンス「PC2 - E500（PC1 - MySupplier）」に対応する発注明細

5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	見積済
番号（PONumber）	PC4 - EST001

6 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。
7 見積の詳細画面を表示したままにします。

発注の書式内で見積を発行する

1 見積PC4 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。

4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ステータス（seStatus）	発注済
発効日（dtSent）	現在の日付

6 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

1 発注PC4 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［受領］をクリックします。
3 受領ウィザードに以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［受領］ページ	
リスト	行「PC2 - E500 1 0 1」を選択し、［受領する数量］列を「1」に設定します。
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
このポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	最初の依頼で選択されたモデル（PC1 - E500）が表示されます。
［全般］タブ	
ユーザ（User）	最初の依頼で選択されたユーザ（PC1 - 小林）が表示されます。
単価（mAvgPrice）	見積明細と発注明細から価格（900）が表示されます。

5 すべてのウィンドウを閉じます。

請求書の保存

1 発注を表示します（［調達／発注と見積］メニュー）。
2 発注「PC4 - EST001」を選択します。
3 ［トラッキング］タブを選択します。
4 ［受領］の分岐点をクリックします。
5 明細「XXX PC1 - MySupplier」の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
6 発注から作成された受領の詳細が表示されます。
7 ［請求書］をクリックします。
8 ウィザードによって表示されるページを確認して、デフォルトの値を承認します。
9 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
10 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
11 受領から作成されたサプライヤの請求書の詳細画面が表示されます。
この請求書の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
サプライヤ（Supplier）	PC1 - MySupplier
［明細］タブ	
タブ内のリスト	PC2 - E500 1 1,000.00 10% 7.75% 969.75

他のフィールドは、サプライヤが送信した請求書に表示される情報を使用して入力されます。

6 依頼

基本概念

依頼の作成には、いくつかの方法を利用できます。

依頼が作成された後は、依頼の明細（［明細］タブの明細リスト）を変更するために複数の方法を利用できます。

注意:

［ステータス］（seStatus）フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、依頼には新規の明細のみを追加できます。

- 準備中
- 依頼テンプレート

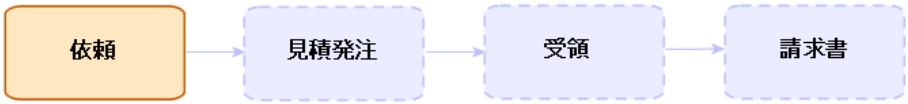
この章では、これらの方法を詳細に説明します。

調達モジュールに関連付けられたシステムデータには、ワークフローチャート「購入依頼の承認」（REQAPPR）があり、これは購入依頼の承認処理をトリガします。

調達に関連付けられた業務データには、ワークフローチャート「依頼の受諾」（REQSATIS）があり、すべての依頼明細が受諾された場合はこれによって［ステータス］（seStatus）フィールドが「検収済」に設定されます。

この章では、これらのワークフローについて詳細に説明します。

図 6.1. 調達サイクル - 依頼



手順

依頼テンプレートから新規依頼を作成する

原則

AssetCenterを使用すると、依頼テンプレートという名前の依頼用テンプレートを作成することができます。

依頼テンプレートは、次の目的で使用できます。

- 頻繁に生じる同一の依頼を作成します。
- 購入を標準化します。

重要項目:

依頼明細（［明細］タブ）のみが依頼テンプレートから依頼に伝達されます。

依頼テンプレートを作成する

1. 依頼テンプレートを表示します（［ポートフォリオ／依頼テンプレート］）。
2. 新規のレコードを作成します（［新規作成］ボタン）。
3. レコードの詳細を入力します。

依頼を依頼テンプレートに変換する

1. 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。

ヒント:

調達モジュールにアクセスできないがポートフォリオモジュールにはアクセスできるユーザは、［ポートフォリオ／社内依頼］メニューを使用できます。

このメニューを使用すると、購入依頼のリストと詳細画面にアクセスできます。［ポートフォリオ／社内依頼］メニューの使用時に適用される唯一の制約は、［見積］ボタンと［発注］ボタンが表示されないことと、新規依頼ウィザードが［新規作成］をクリックした時にトリガされないということです。

2 依頼テンプレートに変換する依頼を選択します。
3 依頼を複製します（［複製］ボタン）。
4 特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
目的（ReqPurpose）	依頼テンプレートを簡単に識別できる値を使用します。
ステータス（seStatus）	依頼テンプレート
［明細］タブ	
リスト	依頼テンプレートの明細が正しいことを確認します。

依頼テンプレートから新規の依頼を作成する

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
依頼テンプレートから新規依頼を作成する	はい
その他のフィールドとリンク	必要に応じてページ上のその他のフィールドとリンクを入力します。
［OK］ボタンをクリックします。	
［依頼テンプレートの選択］ページ	
フィールドとリンク	必要に応じてページ上のフィールドとリンクを入力します。
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。

この依頼は、次の情報を使用して入力されます。

ソース	使用されるフィールドとリンク
依頼テンプレート	依頼明細のみ（［明細］タブ）
新規依頼ウィザード	［新規依頼］ページに入力されるフィールドとリンクのみ

5 依頼と依頼明細のその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、依頼を完了します。

ウィザードでモデルを選択して新規依頼を作成する

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
モデルを選択して新規依頼を作成する	はい
その他のフィールドとリンク	必要に応じてページ上のその他のフィールドとリンクを入力します。
［OK］ボタンをクリックします。	
［依頼にモデルを追加する］ページ	
フィールドとリンク	必要に応じてページ上のフィールドとリンクを入力します。
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
この依頼は、ウィザードに入力済みの情報を使用して入力されます。
5 依頼と依頼明細のその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、依頼を完了します。

ウィザードを使用せずに新規依頼を作成する

ユーザが調達モジュールにアクセスできる場合

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
カスタム依頼を新規作成する	はい
ウィザードの実行を確定します（［OK］ボタン）。	

4 新規依頼の詳細画面が表示されます。
5 依頼のフィールドとリンクを手動で入力することによって、依頼を完了します。
6 依頼明細を作成します。

ユーザが調達モジュールにアクセスできないがポートフォリオモジュールにアクセスできる場合

1 依頼を表示します（［ポートフォリオ／社内依頼］メニュー）。

ヒント:

このメニューを使用すると、購入依頼のリストと詳細画面にアクセスできます。［調達／購入依頼］メニューと比較した場合の唯一の制約は、［見積］ボタンと［発注］ボタンが表示されないことと、新規依頼ウィザードが［新規作成］をクリックした時にトリガされないということです。

2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼の詳細画面が表示されます。
4 依頼のフィールドとリンクを手動で入力することによって、依頼を完了します。
5 依頼明細を作成します。

［追加］ボタンを使用して依頼明細を追加する

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 完了する依頼を選択します。
3 ［追加］をクリックします。
4 ウィザードの依頼にモデルを追加するに入力します。
5 AssetCenterによって依頼に明細が追加されます。
6 必要な場合は、ウィザードによって作成された依頼明細の説明を完成させます。
   1 ［明細］タブを選択します。
   2 変更する依頼明細を選択します。
   3 拡大鏡をクリックします。

依頼テンプレートから作り出された依頼明細を追加する

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。

ヒント:

調達モジュールにアクセスできないがポートフォリオモジュールにはアクセスできるユーザは、［ポートフォリオ／社内依頼］メニューを使用できます。

このメニューを使用すると、購入依頼のリストと詳細画面にアクセスできます。［ポートフォリオ／社内依頼］メニューの使用時に適用される唯一の制約は、［見積］ボタンと［発注］ボタンが表示されないことと、新規依頼ウィザードが［新規作成］をクリックした時にトリガされないということです。

2 完了する依頼を選択します。
3 ［依頼テンプレート］ボタンをクリックします。
4 ウィザードの依頼の追加に入力します。
5 AssetCenterによって依頼に明細が追加されます。
6 必要な場合は、ウィザードによって作成された依頼明細の説明を完成させます。
   1 ［明細］タブを選択します。
   2 変更する依頼明細を選択します。
   3 拡大鏡をクリックします。

[+] ボタンを使用して依頼明細を追加する

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。

ヒント:

調達モジュールにアクセスできないがポートフォリオモジュールにはアクセスできるユーザは、［ポートフォリオ／社内依頼］メニューを使用できます。

このメニューを使用すると、購入依頼のリストと詳細画面にアクセスできます。［ポートフォリオ／社内依頼］メニューの使用時に適用される唯一の制約は、［見積］ボタンと［発注］ボタンが表示されないことと、新規依頼ウィザードが［新規作成］をクリックした時にトリガされないということです。

2 完了する依頼を選択します。
3 ［明細］タブを選択します。
4 ［+］ボタンをクリックします。
5 依頼明細の詳細画面に入力します。

依頼の承認を自動化する

1 AssetCenter Serverを起動します。
2 モジュール実行グループ'BST_PROCUR'にワークフロー規則を適用（WkGroupBST_PROCUR）を設定します（［ツール／モジュールの設定］メニュー）。

   ▶ マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節。

   この方法でAssetCenter Serverは、実行グループ'STD_PROCUR'にワークフロー規則を適用モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、購入依頼の承認（REQAPPR）ワークフローチャートを実行します。

以下は、購入依頼の承認（REQAPPR）ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 6.1. 依頼 - 購入依頼の承認ワークフローチャート

ワークフローをトリガするイベント	［依頼］（amRequest）テーブルにある［ステータス］（seStatus）フィールドを変更する依頼の作成		
トリガ対象のワークフローチャートの条件	テーブルの名前	フィールドの名前	フィールドの値
	依頼（amRequest）	ステータス（seStatus）	承認待ち

ワークフローチャートによってトリガされるアクション1	ワークフローチャートによって以下のワークフロータスクが作成されます。 ■ 依頼内容の承認が呼び出される ■ 依頼の［技術者］（Technician）フィールドに指定されたユーザの部署の責任者に割り当てられます。技術者が指定されていない場合、AssetCenterによってその交替従業員が使用されます。 責任者も交替従業員も見つからない場合、AssetCenterによってユーザが使用されます。ユーザが見つからない場合、AssetCenterによってその交替従業員が選択されます。 ■ 依頼にリンクする ■ 依頼内容の承認者に依頼を承認するか却下するかを促す
ワークフローチャートによってトリガされるアクション2	依頼が機能面で承認されると、ワークフローチャートによって以下のワークフロータスクが作成されます。 ■ 責任者の承認が呼び出される ■ ISグループに割り当てられます。 ■ 依頼にリンクする ■ IS承認者に依頼を承認するか却下するかを促す
ワークフローチャートによってトリガされるアクション3	依頼が技術面で承認されると、ワークフローチャートによって以下のワークフロータスクが作成されます。 ■ 財務の承認が呼び出される ■ ISグループに割り当てられます。 ■ 依頼にリンクする ■ 財務の承認者に依頼を承認するか却下するかを促す
ワークフローチャートによってトリガされるアクション4	依頼が財務面で承認されると、ワークフローチャートによって以下のワークフロータスクが作成されます。 ■ ［ステータス］（seStatus）フィールドを「承認済」に設定することによって更新します。 ■ 依頼のステータスに関するメッセージを［依頼者］（Requester）フィールドによって指定された依頼者に送信します。 ■ 依頼にリンクする ■ 責任者に依頼を承認するか却下するかを促す

依頼ステータスの更新を自動化する

1. AssetCenter Serverを起動します。
2. モジュール実行グループ'STD_PROCUR'にワークフロー規則を適用（WkGroupSTD_PROCUR）を設定します（［ツール／モジュールの設定］メニュー）。

▶ マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節。

この方法でAssetCenter Serverは、実行グループ'STD_PROCUR'にワークフロー規則を適用モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、依頼の受諾（REQSATIS）ワークフローチャートを実行します。

以下は、依頼の受諾（REQSATIS）ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 6.2. 作業指示 - 依頼の受諾ワークフローチャート

ワークフローチャートをトリガするイベント	依頼明細が追加されるか、［依頼明細］（amReqLine）テーブルの［受領数］（fQtyReceived）または［数量］（fQty）が更新される		
トリガ対象のワークフローチャートの条件	テーブルの名前	フィールドの名前	フィールド値
	依頼（amRequest）	ステータス（seStatus）	承認済
各依頼明細のレベルで実行される承認	［受領数］（fQtyReceived）フィールドと［数量］（fQty）フィールドが同じ値であること		
承認が正しい場合に実行されるアクション	AssetCenterによって、依頼の［ステータス］（seStatus）が「検収済」に設定される		

実用例5 - 依頼テンプレート

はじめに

この実用例は、依頼テンプレートを作成して依頼の作成に使用する方法を示すことを目的としています。

調達サイクルの全段階を実行することを目的としているのではありません。

必要条件

実用例実用例1: 適切な参照レコード [傳離6]を実行している必要があります。

シナリオ

- セールスエンジニアに指定する設定を標準化しました。
- 通常は、新人のセールスエンジニア用の設定を指示します。
- セールスエンジニア用の標準設定を依頼テンプレートとして記述するつもりです。
- 「PC1 - 小林」氏は、コンピュータの設定を必要としている新人のセールスエンジニアです。
- この要求は、依頼の書式で記録するつもりです。

作成

依頼テンプレートの作成

1. 依頼テンプレートを表示します（［ポートフォリオ／依頼テンプレート］）。
2. ［新規作成］をクリックします。
3. 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
目的（ReqPurpose）	PC5 - セールスエンジニア用の設定
番号（amRequest）	PC5 - STDREQ001

4. 依頼の作成を確定します（［作成］ボタン）。
5. ［明細］タブを選択します。
6. 以下の表に示すようにフィールドとリンクを入力することによって、以下の依頼明細を追加します（［+］ボタン）。

フィールドまたはリンク	値
数量（fQty）	1
モデル（Model）	PC1 - E500

フィールドまたはリンク	値
数量（fQty）	1
モデル（Model）	PC1 - 外付けCDライター

フィールドまたはリンク	値
親レコード（Parent）	1 PC1 - E500

依頼の作成

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
依頼テンプレートから新規依頼を作成する	はい
目的	PC5 - 小林氏用の設定
［OK］ボタンをクリックします。	
［依頼テンプレートの選択］ページ	
依頼	PC5 - セールスエンジニア用の設定
数量	1
［終了］をクリックします。	

4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
目的	PC5 - 小林氏用の設定
ステータス（seStatus）	準備中
［明細］タブ	
リスト	依頼テンプレート「PC5 - セールスエンジニア用の設定」の依頼明細

6 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号（amRequest）	PC5 - REQ001
［全般］タブ	
ユーザ（User）	PC1 - 小林

7 依頼の変更を確定します（［変更］ボタン）。

8 すべてのウィンドウを閉じます。

7 見積

基本概念

見積の作成には、複数の方法があります。

見積が作成された後は、見積の明細（［明細］タブの見積明細リスト）を変更できます。

警告:

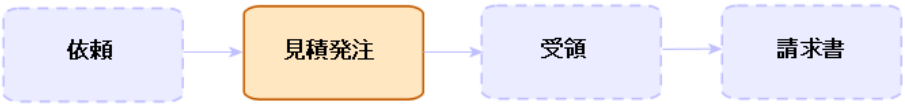
見積と発注は同じテーブルに属します。［ステータス］（seStatus）フィールドの値によって、両者を区別することができます。

［ステータス］（seStatus）フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、見積には新しい明細のみを追加できます。

- 準備中
- 依頼テンプレート

この章では、各方法について詳細を説明します。

図 7.1. 調達サイクル - 見積



手順

依頼から新規の見積を作成する

警告:

［ステータス］（seStatus）フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、依頼から見積のみを作成できます。

- 準備中
- 見積済
- 承認待ち

依頼から新規の見積を作成するには

1. 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2. 見積を作成する依頼を選択します。
3. ［見積］ボタンをクリックします。
4. ウィザードの見積の作成にすべて入力して実行します。
5. ウィザードで作成された見積のリスト（サプライヤごとに1つの見積）が表示されます。
6. ウィザードにより入力されなかったその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、見積を完了します。

新規の見積を直接作成する

1. 見積を表示します（［調達／発注と見積］メニュー）。
2. ［新規作成］をクリックします。
3. 新規見積が表示されます。

4 見積のその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、見積を完了します。
5 見積明細を作成します。

［カタログリファレンス］ボタンを使用して見積明細を追加する

1 見積を表示します（［調達／発注と見積］メニュー）。
2 完了する見積を選択します。
3 ［カタログリファレンス］をクリックします。
4 ウィザードのカタログリファレンスを使って発注を完成にすべて入力します。
5 見積に明細が追加されます。
6 必要な場合は、ウィザードによって作成された見積明細の説明を完成させます。
   1 ［明細］タブを選択します。
   2 変更する見積明細を選択します。
   3 拡大鏡をクリックします。

見積のサプライヤにカタログリファレンスがないモデルの見積明細を追加する

1 見積を表示します（［調達／発注と見積］メニュー）。
2 完了する見積を選択します。
3 ［カタログ外］をクリックします。
4 ウィザードのカタログ外リファレンスを作成するにすべて入力します。
5 AssetCenterが続行する動作は、状況に応じて異なります。

ケース	結果
選択したモデルにカタログリファレンスがない	AssetCenterによって製品とカタログリファレンスが作成され、カタログ外カタログに追加されます。

ケース	結果
別のサプライヤのカタログ内に1つまたは複数のカタログリファレンスがある	AssetCenterによって、これらのカタログリファレンスのいずれかが選択されます。 **警告:** これにより、見積のサプライヤが同一でなくなるため、見積の整合性の問題が生じます。 この方法で作成された見積明細は、削除する必要があります。
サプライヤのカタログのいずれかにカタログリファレンスがあります。	AssetCenterによって、これらのカタログリファレンスのいずれかが選択されます。

6 必要な場合は、ウィザードによって作成された見積明細の説明を完成させます。
   1 ［明細］タブを選択します。
   2 変更する見積明細を選択します。
   3 拡大鏡をクリックします。

発注テンプレートから作り出された見積明細を追加する

1 見積を表示します（［調達／発注と見積］メニュー）。
2 完了する見積を選択します。
3 ［テンプレート］をクリックします。
4 ウィザードのある発注を使って発注に入力するにすべて入力して実行します。
5 見積に明細が追加されます。
6 必要な場合は、ウィザードによって作成された見積明細の説明を完成させます。
   1 ［明細］タブを選択します。
   2 変更する見積明細を選択します。
   3 拡大鏡をクリックします。

［+］ボタンを使用して見積明細を追加する

1 見積を表示します（［調達／発注と見積］メニュー）。
2 完了する見積を選択します。

3 ［明細］タブを選択します。
4 ［+］ボタンをクリックします。
5 見積明細の詳細画面に入力します。

8 発注

基本概念

発注の作成には、いくつかの方法を利用できます。

警告:

見積と発注は同じテーブルに属します。［ステータス］（seStatus）フィールドの値によって、両者を区別することができます。

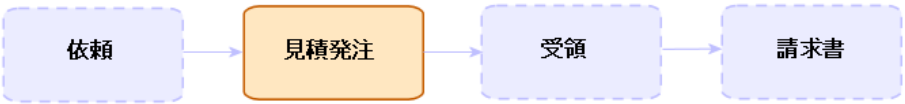
この章では、各方法について詳細を説明します。

発注の明細（［明細］タブの発注明細のリスト）を変更することはできません。

調達に関連付けられた業務データには、ワークフローチャート「発注の受諾」（POSATIS）があり、すべての発注明細が受諾された場合はこれによって［ステータス］（seStatus）フィールドが「検収済」に設定されます。

この章では、このワークフローチャートについて詳細に説明します。

図 8.1. 調達サイクル - 発注



標準発注

手順

見積を発注に変換する

警告:

［ステータス］（seStatus）フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、見積を発注に変換します。

- 準備中
- 見積依頼済
- 見積済
- 承認待ち
- 承認済
- 却下

見積を発注に変換するには

1. 見積を表示します（［調達／発注と見積］メニュー）。
2. ［発注］ボタンをクリックします。
3. ウィザードの発注するにすべて入力して実行します。

   必要な場合は、作成済みの発注明細のページがウィザードに表示されます。
   - 見積レベルで直接（依頼明細からではなく）
   - 依頼明細からだが、依頼された数量より多い数量

   ウィザードを確定する前にこのページに入力する場合は注意します。
4. 必要な場合、依頼および依頼明細の不足や不十分な箇所がAssetCenterによって作成されるか補われます。

注意:

ウィザードには、これらの依頼および依頼明細が表示されません。
これらを［トラッキング］タブで検索することはできません。

ウィザードでは、［ステータス］（seStatus）フィールドが［発注済］に設定されます。

依頼テンプレートから新規の発注を作成する

警告:

［ステータス］（seStatus）フィールドが「承認済」に設定されている場合、依頼から発注のみを作成できます。

依頼から新規の発注を作成するには

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 依頼を選択します。
3 ［発注］ボタンをクリックします。
4 ウィザードの発注の作成にすべて入力して実行します。
5 ウィザードによって作成された発注のリスト（サプライヤごとに1つの発注）が表示されます。

注意:

ウィザードでは、依頼から発注明細が既に作成済みであるかどうかが確認され、まだ発注されていない品目に対する明細の作成のみが行われます。

6 ウィザードによって入力されなかったその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、発注を完了します。
7 発注を1つずつ行います（［発注］ボタン）。

発注の更新を自動化する

1 AssetCenter Serverを起動します。
2 モジュール実行グループ'STD_PROCUR'にワークフロー規則を適用（WkGroupSTD_PROCUR）を設定します（［ツール／モジュールの設定］メニュー）。

   ▶ マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節。

   この方法でAssetCenter Serverは、実行グループ'STD_PROCUR'にワークフロー規則を適用モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、発注の受諾（POSATIS）ワークフローチャートを実行します。

以下は、発注の受諾（POSATIS）ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 8.1. 依頼 - 発注の受諾ワークフローチャート

ワークフローチャートをトリガするイベント	発注明細が追加されるか、［依頼明細］（amReqLine）テーブルの［受領数］（fQtyReceived）または［数量］（fQty）が更新される		
トリガ対象のワークフローチャートの条件	テーブル名	フィールド名	フィールドの値
	発注（amOrder）	ステータス（seStatus）	▪ 発注済 ▪ サプライヤ側で受注確認済 ▪ 検収済
各依頼明細のレベルで実行される承認	［受領数］（fQtyReceived）フィールドと［数量］（fQty）フィールドが同じ値であること		
承認が正しい場合に実行されるアクション	AssetCenterによって、発注の［ステータス］（seStatus）が「検収済」に設定される		

発注の新規バージョンを作成する

警告:

［ステータス］（seStatus）フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、発注の新規バージョンのみを作成できます。

- 発注済
- サプライヤ側で受注確認済
- 検収済

発注の新規バージョンを作成するには

1. 発注を表示します（［調達／発注と見積］メニュー）。
2. ［バージョン］をクリックします。

アクションの新規バーションの発注を作成するでは、次の処理が実行されます。

- 発注と見積のリストから発注の旧バージョンが削除されます。
- 旧バージョンの発注のすべての明細品目がその他のレコード（依頼明細など）から切り離されます。

  それらは無効になり、参照専用として保存されます。
- 旧バージョンの発注の［ステータス］（seStatus）フィールドが「キャンセル」に設定されます。
- 新規の発注が作成されます。

- 新規バージョンの発注の［ステータス］（seStatus）フィールドが「準備中」に設定されます。
- 以前の発注明細がまったく同じように新しいバージョンの発注にコピーされます。
- 以前のバージョンの発注明細が新規バージョンの発注の［改訂］タブに表示されます。

新規バージョンの発注は、都合の良い時に変更することが可能で、準備ができたらもう一度実行することができます。

一括発注

基本概念

一括発注の定義

タイプの契約では、購入者は特定の期間、契約で決められた最低金額以上の商品の発注やサービスの利用が義務付けられています。

一般に、このタイプの契約では購入者が割引を利用できます。

AssetCenterによる一括発注の管理方法

一括発注は、［契約］（amContract）テーブルに記述されます。

それから、一括発注を基準として発注を作成することができます。

開いている発注へのリンクは、次のいずれかの段階で確立されます。

段階	効果
依頼	依頼から作成された発注のデフォルト動作を定義します。

段階	効果
発注	発注がすべて一括発注に含まれていることを明記します。

ヒント:

1つの発注を使用して一括発注を管理することはできません。発注が行われた後には、明細品目を追加することができなくなります。

同様に、1つの依頼を使用して一括発注を管理することもできません。依頼が発注に変換された後には、依頼明細を追加することができなくなります。

けれども、一括発注の属性とは、複数の発注を含むことです。

警告:

発注明細レベルと依頼明細レベルの［一括発注］（BlanketPOCntr）フィールドは、考慮されません。

必要条件

一括発注契約の作成が可能になるには、AssetCenterユーザライセンスによって契約モジュールにアクセスできる必要があります。

手順

一括発注タイプの契約を作成する

一括発注タイプの契約を作成するには、次の手順に従います。

1. 契約を表示します（［契約／契約］メニュー）。
2. 新しい契約を作成します（［新規作成］ボタン）。
   特に、次の表に示す依頼のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
タイプ（seType）	一括発注
［発注］タブ	

フィールドまたはリンク	値
契約額（mPOCommitment）	発注が義務付けられている最低金額

一括発注に含まれる発注が作成されることになる依頼を作成する

依頼から作成された見積と発注を一括発注にリンクするためには、次の表に示すフィールドとリンクを入力する必要があります。

フィールドまたはリンク	値
［ファイナンス］タブ	
一括発注（bUsesBlanketPO）	はい
一括発注契約（BlanketPOCntr）	一括発注契約を選択する

発注を一括発注として考慮する

発注を一括発注として考慮するためには、次の表に示すように発注のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
［ファイナンス］タブ	
一括発注（bUsesBlanketPO）	はい
一括発注契約（BlanketPOCntr）	一括発注契約を選択する

注意:

次に、すべての発注明細を考慮します。

発注額と契約レベルとの整合性を取る

1. 契約を表示します（［契約／契約］メニュー）。
2. 一括発注契約を選択します。
3. ［発注］タブを表示します。

   タブ内のリストには、一括発注によって資金が供給される発注が表示されます。

   リストの下にある計算機をクリックして、発注した合計額を取得します。

   この合計は、［契約額］（mPOCommitment）フィールドとの整合性が取られます。
4. すべてのウィンドウを閉じます。

一括発注の期限が近づいていることを警告する

1 契約を表示します（［契約／契約］メニュー）。
2 一括発注契約を選択します。
3 ［全般］タブを表示します。
4 ［終了日］（dEnd）フィールドが入力されていることを確認します。
5 をクリックします。
6 アラームの詳細画面を入力します。
7 アラームの詳細画面を保存します（［OK］ボタン）。
8 契約に加えられた変更を保存します（［変更］）。
9 すべてのウィンドウを閉じます。
10 アラームをモニタするようにAssetCenter Serverを設定します（▶ マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する／アラームの検証（アラーム）モジュール」の節）。

実用例6 - 一括発注

はじめに

この実用例は、一括発注を管理する方法を示すことを目的としています。

必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1: 適切な参照レコード [修敵6]
- 実用例2: 単純カタログ [修敵9]

シナリオ

「2004年1月1日」から「2004年12月31日」の期間に、「PC1 - MySupplier」から100,000ドルにあたる商品とサービスを購入する義務があります。

作成

発注契約の作成

1 契約を表示します（［契約／一括発注］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
リファレンス（Ref）	PC6 - BPO0001
［全般］タブ	
会社（Company）	PC1 - MySupplier
開始日（dStart）	2004/01/01
終了日（dEnd）	2004/12/31
［発注］タブ	
契約額（mPOCommitment）	100 000

4 契約の作成を確定します（［作成］ボタン）。
5 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
カスタム依頼を新規作成する	はい

4 ウィザードの実行を確定します（［OK］ボタン）。
5 新規依頼の詳細画面が表示されます。
6 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
目的	PC6 - E500
番号（amRequest）	PC6 - REQ001
［ファイナンス］タブ	

フィールドまたはリンク	値
一括発注（bUsesBlanketPO）	PC6 - BPO0001

7 依頼の作成を確定します（［作成］ボタン）。
8 ［明細］タブを選択します。
9 下記の表に示すフィールドとリンクを入力することによって、次の依頼明細を追加します（［+］ボタン）。

フィールドまたはリンク	値
数量（fQty）	1
モデル（Model）	PC1 - E500

10 依頼明細の追加を確認します（［追加］ボタン）。
11 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	承認済

12 依頼の変更を確定します（［変更］ボタン）。
13 依頼の詳細画面を表示したままにします。

依頼から発注を作成する

1 依頼PC6 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 以下の表に示す値を発注の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［明細を選択する］ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
明細をすべて含める	はい
［次へ］をクリックします。	
［依頼が使用する参照を変更する］ページ	
［依頼明細のリスト］リスト	PC1 - E500 1 1 PC2 - E500 (PC1 - MySupplier) PC2 - E500 1 000 USD 10%

フィールドまたはリンク	値
［対応するカタログリファレンスのリスト］リスト	PC2 - E500 (PC1 - MySupplier) PC2 - E500 1 000 USD 10% 0 PC1 - MySupplier **警告:** 実用例4を実行している場合、ウィザードに複数のカタログリファレンスが表示されます。 下のカタログリファレンスを選択します。
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 発注を使用して作成された発注の詳細画面が表示されます。
5 ［ファイナンス］タブを選択し、内容を確認します。
一括発注へのリンクが依頼から伝達されました。
6 すべてのウィンドウを閉じます。

契約と比較された発注ステータスを確認する

1 契約を表示します（［契約／一括発注］メニュー）。
2 契約「PC6 - CO0001」を選択します。
3 ［発注］タブを表示します。
タブ内のリストには、一括発注によって資金が供給される発注が表示されます。
リストの下にある計算機をクリックして、発注した合計額を取得します。
この合計は、［契約額］（mPOCommitment）フィールドとの整合性が取られます。
4 すべてのウィンドウを閉じます。

9 受領、実行、作成、返却

基本概念

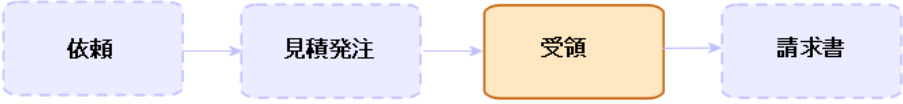
調達サイクルの間または最後にデータベース内のオブジェクトを作成するには、さまざまな方法があります。

取得オブジェクト	作成モード1	作成モード2
内部メンテナンスタイプの作業指示	依頼を実行する **注意:** これは、これらのオブジェクトが外部サプライヤから発注されていないという事実によります。	発注された品目を受領前に作成する
契約をポートフォリオ品目にリンクする	依頼を実行する **注意:** これは、これらのオブジェクトが外部サプライヤから発注されていないという事実によります。	発注された品目を受領前に作成する
ポートフォリオ品目	注文品の受領	発注された品目を受領前に作成する

取得オブジェクト	作成モード1	作成モード2
契約外メンテナンスまたは契約メンテナンスタイプの作業指示	注文品の受領	発注された品目を受領前に作成する
契約	注文品の受領	発注された品目を受領前に作成する
研修	注文品の受領	発注された品目を受領前に作成する
ケーブル	注文品の受領	発注された品目を受領前に作成する

受領された品目もすべて返却されます。

図 9.1. 調達サイクル - 受領



手順

依頼を実行する

この手順は、発注が作成されることにならない依頼から品目を作成するために使用します。

- 内部メンテナンスタイプの作業指示
- 契約をポートフォリオ品目にリンクする

必要条件: 依頼は［ステータス］（seStatus）フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合にのみ実行されます。

- 承認済
- 予約済
- 検収済
- 予約済

依頼を実行するには

1. 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2. 実行する依頼の詳細画面を表示します。
3. ［実行］をクリックします。

4 以下の表に示す値に特に注意を払って、発注を作成しない品目を作成するウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［発注を作成しない品目を作成する］ページ	
［作成する数量］列に作成する品目の数を指定します。	
［終了］をクリックします。	

5 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。

ウィザードの実行後に、データベース内で次の処理が実行されます。

取得オブジェクト	実行される処理
内部メンテナンスタイプの作業指示	作業指示が作成される
契約をポートフォリオ品目にリンクする	契約がポートフォリオ品目にリンクされる

発注された品目を受領前に作成する

発注済みの品目を受領する前でも発注済みの品目に対応するレコードを作成することができます。

発注されたすべての製品属性に当てはまります。

これを行うと、これらの品目が発注されたらすぐにこれらの品目に対してビジネスプロセス（作業指示の計画、研修など）を開始することができます。

必要条件

発注済みの品目を受領前に作成することを可能にするには、購入レベルの［ステータス］（seStatus）フィールドを次のいずれかの値に設定する必要があります。

- 承認済
- 発注済
- サプライヤ側で受注確認済
- 検収済

品目を受領前に作成する

発注済みの品目を受領前に作成するには

1 発注を表示します（［調達／発注と見積］メニュー）。

2 発注の詳細画面を表示します。

3 ［作成］をクリックします。

4 以下の表に示す値に特に注意を払って、納品待ちのポートフォリオ品目を作成するウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［納品待ちのポートフォリオ品目を作成する］ページ	
［作成する数量］列に作成する品目の数を指定します。	
［終了］をクリックします。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

ポートフォリオ品目の作成に関連する注意事項

受領前に作成されたレコードがポートフォリオ品目である場合、［割当］（seAssignment）フィールドが「使用中」に設定されます。

受領品目の作成に関連する注意事項

発注済みの品目の一部のみを作成し、これらの品目が特定の人物に予約されている場合、予約者の従業員ID（IDNo）に従って受領される品目がAssetCenterによって割り当てられます。

注意:

品目は、発注明細に関連付けられている依頼明細の［ユーザ］（User）リンクを使用して予約されます。

動作は、発注済みの品目の一部のみを作成するときと同じであり、異なる品目にリンクされます。

注意:

品目は、発注明細に関連付けられている依頼明細の［親レコード］（Parent）リンクを使用してリンクされます。

発注品目を受領する

必要条件

発注済みの品目の作成を可能にするには、購入レベルの［ステータス］（seStatus）フィールドを次のいずれかの値に設定する必要があります。

- 発注済
- サプライヤ側で受注確認済

発注品目を受領する

解決策1: 発注詳細画面から

発注の品目を受領するには

1. 発注を表示します（［調達／発注と見積］メニュー）。
2. 受領する発注の詳細画面を表示します。
3. ［受領］をクリックします。
4. 以下の表に示す値に特に注意を払って、受領ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［受領］ページ	
リストの明細ごとに、［受領する数量］列に受領する数量を入力します。	
［終了］をクリックします。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

解決策2: 受領リストから

発注の品目を受領するには

1. 受領を表示します（［調達／受領］）。
2. 新規の受領を作成し（［新規作成］ボタン）、特に次のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
サプライヤ（Supplier）	品目を受領する発注のサプライヤを選択します。

3. 受領の作成を確定します（［作成］ボタン）。
4. ［内容］タブを選択します。
5. 受領する各品目に内容の行を追加し（［+］ボタン）、特に次のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
受領数（fQty）	受領する同じモデルの品目の数を入力します。
リファレンス（CatalogRef）	［発注明細］（POrdLine）リンクにフィルタを適用する場合に受領する品目のカタログリファレンスを入力します。

フィールドまたはリンク	値
発注明細（POrdLine）	受領する発注明細を選択します。 完全に受領していない発注明細のみがAssetCenterによって表示されます。

受領品目を返却する

受領された品目を返却するには

1 返却する品目の受領の作用再画面を表示します。
   - 解決策1: 発注の詳細画面から
     1 発注を表示します（［調達／発注と見積］メニュー）。
     2 返却する品目を含む発注の詳細画面を表示します。
     3 ［トラッキング］タブを選択します。
     4 ［受領］の分岐点をクリックします。
     5 返却する品目の受領の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
   - 解決策2: 受領のリストから
     1 受領を表示します（［調達／受領］）。
     2 返却する品目の受領の詳細画面を選択して表示します。
2 ［返却］をクリックします。
3 次の表に示す値を返却ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［返却］ページ	
選択	［返却を作成する］: 返却を記述する返却伝票を作成します。 この伝票は、受領伝票の［返却］タブに表示されます。
	［受領伝票を返却伝票として使用する］: 返却を記述する「負の」受領伝票を作成します。 この伝票は、受領伝票の［返却］タブと［内容］タブに表示されます。
	［既存の返却に関連付ける］: このオプションは、本バージョンのAssetCenterでは使用しないでください。
リスト	返却に関連する明細ごとに、返却する品目の数を［返却する数量］列に指定します。

フィールドまたはリンク	値
返却	このオプションが使用できる場合は、返却伝票を追加する既存の受領伝票を選択します。
［次へ］をクリックします。	
［返却 ...］ページ	
返却する品目を選択します。 ヒント: リスト内の情報が返却する品目を識別するために十分でない場合は、リストに列を追加します（リストを右クリックして、ショートカットメニューから［ユーティリティ／リストの設定］を選択します）。	
［次へ］をクリックします。	
［終了］をクリックします。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

実用例7 - 発注された品目を受領前に作成する

はじめに

この実用例は、依頼され発注された品目を受領前に事前に作成する方法を示すことを目的としています。

必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1: 適切な参照レコード [修献6]
- 実用例2: 単純カタログ [修献9]

シナリオ

「PC1 - 小林」氏のために「PC1 - Compaq」 「PC1 - E500」コンピュータと、コンピュータを接続する内部作業指示を発注します。

このためには、以下の作業が必要です。

- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- コンピュータと作業指示が作成されます。
- コンピュータが受領されます。

作成

依頼の作成

1. 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2. ［新規作成］をクリックします。
3. 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
モデルを選択して新規依頼を作成する	はい
目的	PC7 - コンピュータの購入と接続
［OK］ボタンをクリックします。	
［依頼にモデルを追加する］ページ	
モデル	次のモデルを同時に選択します。 ■ PC1 - E500 ■ PC1 - コンピュータの接続
単位と数量の変更	このオプションを選択して、数量1を入力します。
［追加］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4. ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
5. 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号（amRequest）	PC7 - REQ001

6. ［明細］タブを選択します。
7. 発注明細「1 PC1 - E500 PC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。

8 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割当（bInstantAssign）	はい
［全般］タブ	
ユーザ（User）	PC1 - 小林

9 依頼明細の変更を確定します（［変更］ボタン）。
10 依頼明細の詳細画面を閉じます(［閉じる］ボタン)。
11 発注明細「1 PC1 - コンピュータの接続 PC1 - 技術者」の詳細画面を表示します。
12 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割当（bInstantAssign）	はい
［全般］タブ	
依頼する品目（UsedReqLineAsset）	1 PC1 - E500
ユーザ（User）	PC1 - 小林

13 依頼明細の変更を確定します（［変更］ボタン）。
14 依頼明細の詳細画面を閉じます(［閉じる］ボタン)。
15 依頼の変更を確定します（［変更］ボタン）。
16 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

1 依頼PC7 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［見積］ボタンをクリックします。
3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［明細を選択する］ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
明細をすべて含める	はい
［次へ］をクリックします。	
［依頼が使用する参照を変更する］ページ	
［依頼明細のリスト］リスト	PC1 - E500 1 1 PC2 - E500 (PC1 - MySupplier) PC2 - E500 1 000 USD 10%
［対応するカタログリファレンスのリスト］リスト	PC2 - E500 (PC1 - MySupplier) PC2 - E500 1 000 USD 10% 0 PC1 - MySupplier

フィールドまたはリンク	値
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
5 見積に番号を割り当て、この発注用の依頼済見積を確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	見積済
番号（PONumber）	PC7 - EST001

6 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。
7 見積の詳細画面を表示したままにします。

発注の書式内で見積を発行する

1 見積PC7 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 発注の詳細画面を表示したままにします。

納品待ちのポートフォリオ品目を作成する

1 発注PC7 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［作成］をクリックします。
3 以下の表に示す値を納品待ちのポートフォリオ品目を作成するウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［納品待ちのポートフォリオ品目を作成する］ページ	
処理する発注明細	明細「PC1 - E500 PC1 - E500 1 0 1」を選択し、［作成する数量］列で値を「1」に設定します。
［終了］をクリックします。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 ［トラッキング］タブを表示します。

5 ［資産］の分岐点をクリックします。
6 資産「PC1 - Compaq PC1 - E500 (XXXXX) 注文中」の詳細画面を表示して、次のフィールドとリンクを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［ポートフォリオ］、［コンピュータ］サブタブ	
割当（seAssignment）	納品待ち

7 資産の詳細画面を閉じます。
8 発注の詳細画面を表示したままにします。

内部作業指示の作成

1 依頼PC7 - RFP001の詳細画面を表示します。
2 以下のフィールドとリンクを変更します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	承認済

3 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。
4 ［実行］をクリックします。
5 発注を作成しない品目を作成するウィザードに以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［発注を作成しない品目を作成する］ページ	
処理する依頼明細	明細「PC1 - コンピュータの接続 PC1 - コンピュータの接続 1 1」を選択し、［作成する数量］列の値を「1」に設定します。
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

6 ［トラッキング］タブを表示します。
7 ［作業指示］の分岐点をクリックします。
8 作業指示「PC1 - コンピュータの接続」の詳細画面を表示して、次のフィールドとリンクを確認します。

フィールドまたはリンク	値
報告日（dtNotif）	作業指示の作成の日付と時間

フィールドまたはリンク	値
資産（Asset）	PC1 - Compaq PC1 - E500 (001289)
依頼者（Requester）	PC1 - 小林

9 作業指示の詳細画面を閉じます。
10 依頼の詳細画面を閉じます。

発注の受領

1 発注「PC7 - EST001」の詳細画面を表示します。
2 ［受領］をクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
6 以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
割当（seAssignment）	使用中
ユーザ（User）	PC1 - 小林
使用開始日（dAssignment）	受領日
単価（mAvgPrice）	900
［メンテナンス］タブ	
作業指示のリスト	内部メンテナンス「PC1 - コンピュータの接続 , , () 0h 通知済 0,00」

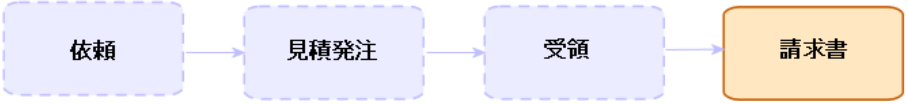
7 すべてのウィンドウを閉じます。

10 請求書

基本概念

請求書の登録には、いくつかの方法を利用できます。
この章では、各方法について詳細を説明します。

図 10.1. 調達サイクル - 請求書



手順

必要条件

受領された品目に対してのみ、請求書を作成することができます。

受領から請求書を作成する

この方法は、請求書を調達サイクルの他の段階と合わせることができる唯一の方法です。

1 受領を表示します（［調達／受領］）。
2 請求された品目に対応する受領を選択します。
3 ［請求書］をクリックします。
4 請求書の作成ウィザードにすべて入力して実行します。
5 ウィザードによって作成された請求書のリストが表示されます。
6 必要な場合は、請求書と請求明細の詳細画面を完成させます。

新規の請求書を直接作成する

この方法を使用する場合、請求書が受領明細に対して整合性が取られることがありません。

1 請求書を表示します（［調達／サプライヤの請求書］）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新しい空白の請求書が表示されます。
4 少なくとも［サプライヤ］（Supplier）フィールドに入力します。
5 レコードの作成を確定します（［作成］ボタン）。
6 ［明細］タブを選択します。
7 請求明細を追加します（［+］ボタン）。

受領へのリンクを維持しながら請求書に明細を追加する

この方法は、請求書を調達サイクルの他の段階と合わせることができる唯一の方法です。

1 受領を表示します（［調達／受領］）。
2 既存の請求書に追加する品目に対応する受領を選択します。
3 ［請求書］をクリックします。
4 請求書の作成ウィザードにすべて入力して実行します。

   特に、［請求書の選択］フィールドと［請求明細の結合］フィールドを入力します。
5 ウィザードによって作成された請求書のリストが表示されます。
6 必要な場合は、請求書と請求明細の詳細画面を完成させます。

11 コスト

一括発注

調達サイクルを使用すると、取得コストにリンクされた情報を管理することができます。

取得経費明細は、次の品目の受領時に作成されます。

- 資産が作成されることになるポートフォリオ品目
- 契約外メンテナンスと契約メンテナンスタイプの作業指示
- 契約
- 研修会

資産に対して経費明細を作成する方法は、資産の取得方法によって決まります。

資産の取得方法	経費明細の作成
購入	資産の受領時に即座に自動で作成される
レンタル、リース、またはローン	AssetCenter Serverによって作成される

次の表は、入力する情報とその情報の処理方法を説明します。

表 11.1. 経費 - 資産

提供情報	取得が購入である場合の結果		取得がレンタル、リース、またはローンである場合の結果
	ポートフォリオ品目または資産レベル	経費明細レベル	ポートフォリオ品目または資産レベル
モデル			
会計コード（AcctCode）	会計コード（AcctCode）		会計コード（AcctCode）
同じ名前のリンクが発注レベルで空の場合は、コストカテゴリ（CostCategory）	コストカテゴリ（CostCategory）	コストカテゴリ（CostCategory）	コストカテゴリ（CostCategory）
タイプ（DeprScheme）	減価償却方法（DeprScheme）		
依頼明細			
ファイナンス契約（AcquContract）			スケジュール（AcquContract）
コストセンタ（CostCenter）	コストセンタ（CostCenter）	コストセンタ（CostCenter）	コストセンタ（CostCenter）
ファイナンス契約			
取得方法（seAcquMethod）			取得方法（seAcquMethod）
発注明細			
単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）	割引（pDiscount） 購入価格（mPrice） 市場価格（mMarketVal） 減価償却基準（mDeprBasis） 単価（mAvgPrice）	借方（mDebit）	割引（pDiscount） 市場価格（mMarketVal）
税額（mTaxValue）	税金（mTax）	借方税額（mTaxDebit）	
コストカテゴリ（CostCategory）	コストカテゴリ（CostCategory）	コストカテゴリ（CostCategory）	コストカテゴリ（CostCategory）

提供情報	取得が購入である場合の結果		取得がレンタル、リース、またはローンである場合の結果
	ポートフォリオ品目または資産レベル	経費明細レベル	ポートフォリオ品目または資産レベル
サプライヤ（Supplier）	サプライヤ（Supplier）		▪ 貸主（Lessor） ▪ サプライヤ（Supplier）

表 11.2. 経費 - 研修

提供情報	処理	
	研修レベル	経費明細レベル
モデル		
コストカテゴリ（CostCategory）	コストカテゴリ（CostCategory）	コストカテゴリ（CostCategory）
依頼明細		
コストセンタ（CostCenter）		
発注		
サプライヤ（Supplier）		
発注明細		
単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）	コスト（mCost）	借方（mDebit）
税額（mTaxValue）	税金（mTax）	借方税額（mTaxDebit）

表 11.3. 経費 - 契約

提供情報	処理	
	契約レベル	経費明細レベル
モデル		
コストカテゴリ（CostCategory）	コストカテゴリ（CostCategory）	コストカテゴリ（CostCategory）
メーカ（Brand）	会社（Company）	
依頼明細		
コストセンタ（CostCenter）		
発注		
発注明細		

提供情報	処理	
	契約レベル	経費明細レベル
単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）	初回金（mIntPay）	借方（mDebit）
税額（mTaxValue）	税金（mTax）	借方税額（mTaxDebit）

表 11.4. 経費 - 契約外メンテナンスと契約メンテナンスタイプの作業指示

提供情報	処理	
	作業指示レベル	経費明細レベル
モデル		
コストカテゴリ（CostCategory）	コストカテゴリ（CostCategory）	コストカテゴリ（CostCategory）
依頼明細		
コストセンタ（CostCenter）		
発注		
サプライヤ（Supplier）	会社（Supplier）	
発注明細		
単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）	見積額（mEstimCost） 初期経費（mCost）	借方（mDebit）
税額（mTaxValue）	税金（mTax）	借方税額（mTaxDebit）

表 11.5. 経費 - 内部メンテナンスタイプの作業指示

提供情報	処理
	作業指示レベル
モデル	
コストカテゴリ（CostCategory）	コストカテゴリ（CostCategory）
依頼明細	
コストセンタ（CostCenter）	
発注明細	
単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）	
税額（mTaxValue）	

実用例15 - コスト

はじめに

この実用例は、取得コストを処理する方法と経費明細を作成する方法を示すことを目的としています。

必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1: 適切な参照レコード [修献6]
- 実用例2: 単純カタログ [修献9]

シナリオ

- 次の品目を取得する必要があります。
  - 資産PC1 - E500
  - 契約外メンテナンスタイプの作業指示「PC1 - コンピュータのインストール」
  - 内部メンテナンスタイプの作業指示「PC1 - コンピュータの接続」
  - 契約「PC1 - 保証」
  - 研修「PC1 - コンピュータ基礎研修」
  - 「PC1 - 同軸ケーブル」ケーブル
- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」に送るために発注に変換されます。
- 発注された品目が受領されます。

作成

依頼の作成

1. 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2. ［新規作成］をクリックします。
3. 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値	使用方法
［新規依頼］ページ		
モデルを選択して新規依頼を作成する	はい	
目的	PC15 - コスト管理	
コストセンタ	PC1 - 本社	コストセンタは、依頼と依頼明細の［コストセンタ］フィールド（CostCenter）に伝達されます。
［OK］ボタンをクリックします。		
［依頼にモデルを追加する］ページ		
モデル	同時に選択します。 ■ PC1 - E500 ■ PC1 - コンピュータのインストール ■ PC1 - コンピュータの接続 ■ PC1 - 保証 ■ PC1 - コンピュータ基礎研修 ■ PC1 - 同軸ケーブル	モデルが依頼明細に伝達されます。
単位と数量の変更	このオプションを選択して、数量1を入力します。	数量が依頼明細に伝達されます。
［追加］をクリックします。		
［次へ］をクリックします。		

4 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
5 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
6 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
7 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	承認済
番号（amRequest）	PC15 - REQ001

8 依頼の変更を確定します（［変更］ボタン）。
9 特に、以下のフィールドとリンクの詳細について調べます。

フィールドまたはリンク	値	使用方法
［配賦］タブ		

フィールドまたはリンク	値	使用方法
コストセンタ（CostCenter）	PC1 - 本社	このリンクは、追加する依頼明細に対してデフォルト値として使用します。 これは発注に伝達されます。

10 ［明細］タブを選択します。

11 依頼明細「1 PC1 - E500 PC1 - コンピュータ」の詳細画面が表示されます（［拡大鏡］ボタン）。

特に、以下のフィールドとリンクの詳細について調べます。

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
［全般］タブ		
モデル（Model）	PC1 - E500	受領時に、モデルの［コストカテゴリ］（CostCategory）フィールド、［タイプ］（DeprScheme）フィールド、［会計コード］（AcctCode）フィールドが受領品目に伝達されます。モデルの［コストカテゴリ］（CostCategory）リンクが経費明細に伝達されます。
［購入］タブ		
単価（mUnitCost）	1000	このフィールドは、モデルに関連付けられているデフォルトのカタログリファレンスから来ています。 このフィールドは、これ以上調達サイクルをたどって伝達されることはありません。
税率（pTaxRate）	7.75%	このフィールドはモデルから取得されます。 このフィールドは、発注明細に伝達されます。
税額（mTaxValue）	77.50	このフィールドは、［単価］（mUnitCost）フィールドと［税額］（pTaxRate）フィールドに基づいて計算されます。 このフィールドは、発注明細に伝達されます。
［配賦］タブ		

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
コストセンタ（CostCenter）	PC1 - 本社	このフィールドは、ウィザードによって入力されます。 受領時に、受領品目に伝達されて経費明細の計算に使用されます。

12 依頼明細の詳細画面を閉じます。
13 依頼の詳細画面を表示したままにします。

依頼から発注を作成する

1 依頼PC15 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 以下の表に示す値を発注の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［明細を選択する］ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
明細をすべて含める	はい **注意:** 通常、モデル「PC1 - コンピュータの接続」に対応する依頼明細は選択されません。これは、内部作業指示であり、発注を作成する必要がありません。
［次へ］をクリックします。	
［依頼が使用する参照を変更する］ページ	
カタログリファレンスがデフォルトでモデルに関連付けられているため、ページをそのままの状態で使用できるはずです。	

4 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
5 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
6 依頼から作成された発注の詳細画面が表示されます。
7 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
番号（amRequest）	PC15 - PO001	
［全般］タブ		
ステータス（seStatus）	承認済	
［ファイナンス］タブ		

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
取得方法（seAcquMethod）	購入	購入の取得方法は、受領品目に伝達されます。

8 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。
9 ［明細］タブを選択します。
10 発注明細「1 PC2 - E500」の詳細画面を表示します（［拡大鏡］ボタン）。
特に、以下のフィールドとリンクの詳細について調べます。

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
［購入］タブ		
単価（mUnitCost）	1000	このフィールドはカタログリファレンスから入力されました。 受領時に、受領品目に伝達されて経費明細の計算に使用されます。
割引（pDiscount）	10%	このフィールドはカタログリファレンスから入力されました。 受領時に、受領品目に伝達されて経費明細の計算に使用されます。
税率（pTaxRate）	7.75%	このフィールドは依頼明細から入力されました。
税額（mTaxValue）	69.75	このフィールドは依頼明細から入力されました。 受領時に、受領品目に伝達されて経費明細の計算に使用されます。
［配賦］タブ		
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - コンピュータ	このフィールドは依頼明細から入力されました。 受領時に、これは使用されません。
コストセンタ（CostCenter）	PC1 - 本社	このフィールドは依頼明細から入力されました。 受領時に、これは使用されません。

11 発注明細の詳細画面を閉じます。
12 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注する

1 発注PC15 - PO001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。

4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

1 発注PC15 - PO001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［受領］をクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
このポートフォリオ品目の詳細画面を調べます。特に以下のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値	発生元
［全般］タブ		
単価（mAvgPrice）	900	発注明細: 単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - コンピュータ	モデル: コストカテゴリ（CostCategory）
［取得］タブ		
購入価格（mPrice）	900	発注明細: 単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）
税金（mTax）	69.75	発注明細: 税額（mTaxValue）
割引（pDiscount）	10%	発注明細: 単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）
［固定資産］タブ		
減価償却方法（DeprScheme）	PC1 - 定額法	モデル: タイプ（DeprScheme）
減価償却基準（mDeprBasis）	900	発注明細: 単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）
［取得］タブ、［調達］サブタブ		
取得方法（seAcquMethod）	購入	発注: 取得方法（seAcquMethod）
会計コード（AcctCode）	PC1 - CC001	モデル: 会計コード（AcctCode）
サプライヤ（Supplier）	PC1 - MySupplier	発注: サプライヤ（Supplier）
市場価格（mMarketVal）	900	発注明細: 単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）

6 ［コスト］タブに移動します。
7 経費明細の詳細画面を表示します（［拡大鏡］ボタン）。
8 特に、以下の表のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
［全般］タブ		
借方（mDebit）	900	発注明細: 単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）
借方税額（mTaxDebit）	69.75	発注明細: 税額（mTaxValue）
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - コンピュータ	モデル: コストカテゴリ（CostCategory）

9 経費明細の詳細画面を閉じます。
10 ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます。
11 発注の詳細画面を閉じます。
12 依頼PC15 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
13 ［トラッキング］タブを選択します。
14 ［ケーブル］の分岐点をクリックします。
15 ケーブル「PC1 - 同軸ケーブル」の詳細画面を表示します。
取得経費にリンクされた情報が使用できないことに気が付きます。
16 ケーブルの詳細画面を閉じます。
17 ［作業指示］の分岐点をクリックします。
18 作業指示「PC1 - コンピュータのインストール」の詳細画面を表示します。
19 このレコードの詳細を調べます。特に、以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
［取得］タブ		
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - 作業指示	モデル: コストカテゴリ（CostCategory）
見積額（mEstimCost） 初期経費（mCost）	360	発注明細: 単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）
税金（mTax）	27.90	発注明細: 税額（mTaxValue）

20 ［コスト］タブを選択します。
21 経費明細の詳細画面を表示します（［拡大鏡］ボタン）。
22 特に、以下の表のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
［全般］タブ		
借方（mDebit）	360	発注明細: 単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）
借方税額（mTaxDebit）	27.90	発注明細: 税額（mTaxValue）

フィールドまたはリンク	値	発生元
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - 作業指示	モデル: コストカテゴリ（CostCategory）

23 経費明細の詳細画面を閉じます。
24 作業指示の詳細画面を閉じます。
25 ［研修］タブをクリックします。
26 「PC1 - コンピュータ基礎研修」の詳細画面を表示します。
27 このレコードの詳細を調べます。特に、以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
［全般］タブ		
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - 研修	モデル: コストカテゴリ（CostCategory）
コスト（mCost）	200	発注明細: 単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）
税金（mTax）	15.50	発注明細: 税額（mTaxValue）

28 研修の詳細画面を閉じます。
29 ［契約］の分岐点をクリックします。
30 契約「PC1 - 保証」の詳細画面を表示します。
31 このレコードの詳細を調べます。特に、以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
［全般］タブ		
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - 契約	モデル: コストカテゴリ（CostCategory）
初回金（mIntPay）	50	発注明細: 単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）
税金（mTax）	3.88	発注明細: 税額（mTaxValue）

32 ［コスト］タブに移動します。
33 経費明細の詳細画面を表示します（［拡大鏡］ボタン）。
34 特に、以下の表のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
［全般］タブ		

フィールドまたはリンク	値	発生元
借方（mDebit）	50	発注明細: 単価（mUnitCost）と割引（pDiscount）
借方税額（mTaxDebit）	3.88	発注明細: 税額（mTaxValue）
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - 契約	モデル: コストカテゴリ（CostCategory）

35 経費明細の詳細画面を閉じます。
36 契約の詳細画面を閉じます。
37 依頼の詳細画面を表示したままにします。

内部作業指示の作成

1 依頼PC15 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［実行］をクリックします。
3 発注を作成しない品目を作成するウィザードに以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［発注を作成しない品目を作成する］ページ	
処理する依頼明細	明細「PC1 - コンピュータのインストール PC1 - コンピュータのインストール 11」を選択し、［作成する数量］列を「0」に設定します。
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 ［トラッキング］タブを表示します。
5 ［作業指示］の分岐点をクリックします。
6 作業指示「PC1 - コンピュータの接続」の詳細画面を表示します。
7 このレコードの詳細を調べます。特に、以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
［取得］タブ		
コストカテゴリ（CostCategory）	PC1 - 作業指示	モデル: コストカテゴリ（CostCategory）

フィールドまたはリンク	値	発生元
［取得］タブ		
見積額（mEstimCost）	未入力	
初期経費（mCost）		
税金（mTax）		

8 ［コスト］タブに移動します。
9 経費明細が作成されませんでした。
10 すべてのウィンドウを閉じます。

パート II

特別な例

12 複合製品

基本概念

複合製品とは

複合製品とは、1つのサプライヤで入手可能なグループ化された製品です。

複合製品のタイプ

複合製品には2つのタイプがあります。

- 受領時に主製品がレコードを作成することになる複合製品。

  この主製品とは、主製品を構成している製品群の親製品です。

  例: 外付けCDライターがリンクされている「Compaq E500」という名前の複合製品。

  このタイプの複合製品を取得するには、主製品をモデルにリンクします。モデル自体は、［作成］（seBasis）フィールドが「なし」以外の値に設定された属性にリンクされています。
- 受領時に主製品がレコードを作成することにならない複合製品。

  この主製品は、主製品を構成している製品群の入れ物として機能します。

例: ラップトップとプリンタで構成されている「セールスエンジニア用の設定」という名前の複合製品。

このタイプの複合製品を取得するには、主製品をモデルにリンクします。モデル自体は、［作成］（seBasis）フィールドが「なし」に設定された属性にリンクされています。

実用例8a: 複合製品

はじめに

この実用例は、受領時に主製品がレコードを作成することになる複合製品を作成する方法を示すことを目的としています。

必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1: 適切な参照レコード [修訂6]
- 実用例2: 単純カタログ [修訂9]

シナリオ

外付けCDライター「PC1 - Compaq外付けCDライター」がリンクされているコンピュータ「PC1 - Compaq E500」を発注します。

サプライヤ「PC1 - MySupplier」は、この製品について特別な条件を提示しています。

作成

製品の作成

1. カタログ製品を表示します（［調達／製品］メニュー）。
2. 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC8 - E500と外付けCDライター
メーカ（Brand）	PC1 - Compaq
モデル（Model）	PC1 - E500

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC8 - E500に関連付けられた外付けCDライター
メーカ（Brand）	PC1 - Compaq
モデル（Model）	PC1 - 外付けCDライター
親レコード（Parent）	PC8 - E500と外付けCDライター
オプション（bOption）	いいえ

3 すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

1 カタログリファレンスを表示します（［調達／リファレンス］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC8 - E500と外付けCDライター (PC1 - MySupplier)
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC8 - E500と外付けCDライター
説明（Description）	PC8 - E500と外付けCDライター
価格（fPrice）	1000
割引（pDiscount）	10%

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC8 - E500に関連付けられた外付けCDライター (PC1 - MySupplier)
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC8 - E500に関連付けられた外付けCDライター (PC1 - MySupplier)
説明（Description）	PC8 - E500に関連付けられた外付けCDライター
価格（fPrice）	100

フィールドまたはリンク	値
割引（pDiscount）	30%

3 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼を作成する

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
上部の枠	モデルを選択して新規依頼を作成する
目的	PC8 - コンピュータと外付けCDライター
［OK］ボタンをクリックします。	
［依頼にモデルを追加する］ページ	
メーカ	PC1 - Compaq
モデル	PC1 - E500を選択します。
単位と数量の変更	このオプションを選択して、数量1を入力します。
［追加］をクリックします。	
［終了］をクリックします。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 ウィザードで作成された依頼の詳細画面が表示されます。
5 ［明細］タブを選択します。
6 このタブの内容を調べます。
7 依頼を変更するには、次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号（amRequest）	PC8 - REQ001

8 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

1 依頼PC8 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［見積］ボタンをクリックします。
3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［明細を選択する］ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
明細をすべて含める	はい
［次へ］をクリックします。	
［カタログまたはサプライヤから選択する］ページ	
依頼明細のリスト	PC1 - E500 1 1 PC2 - E500 (PC1 - MySupplier) PC2 - E500 1 000 USD 10%
対応するカタログリファレンスのリスト	PC8 - E500と外付けCDライター (PC1 - MySupplier) PC8 - E500と外付けCDライター 1 000 USD 10% 0 PC1 - MySupplier
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ステータス（seStatus）	見積依頼済
最初の依頼明細（Request）	PC8 - RFP001 (PC8 - コンピュータと外付けCDライター)
［明細］タブ	
リスト	2つの発注明細がウィザード見積の作成によって作成されます。1つは主製品（「PC8 - E500と外付けCDライター」）用で、もう1つがその従属製品（「PC8 - E500に関連付けられた外付けCDライター」）用です。

5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	見積済
番号（PONumber）	PC8 - EST001

6 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。
7 見積の詳細画面を表示したままにします。

発注の書式内の見積を発行する

1 見積PC8 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 発注するウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［発注で欠けている依頼明細を作成する］ページ	
依頼を作成し既存の依頼に関連付ける	はい
依頼	依頼「PC8 - REQ001」を選択します。
［終了］をクリックします。	

4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。
この発注の詳細画面を調べます。特に、以下のフィールドとリンクが更新されていることを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	発注済
［全般］タブ	
発効日（dtSent）	現在の日付

6 ［トラッキング］タブを選択します。
7 ［関連する購入依頼］の分岐点をクリックします。
8 明細「PC8 - REQ001（PC8 - コンピュータと外付けCDライター」）の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
9 最初の依頼の詳細画面が表示されます。
10 ［明細］タブを選択します。
11 明細「PC8 - REQ001（PC8 - コンピュータと外付けCDライター」）の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
12 次の表に示すフィールドとリンクを入力することによって、依頼明細をその他の依頼明細にリンクします。

フィールドまたはリンク	値
親レコード（Parent）	1 PC1 - E500

13 依頼明細の変更を確定します（［変更］ボタン）。
14 依頼明細の詳細画面を閉じます(［閉じる］ボタン)。
15 依頼の詳細画面を閉じます（［閉じる］ボタン）。

16 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

1 見積PC8 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［受領］をクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 発注から作成されたポートフォリオ品目のリストが表示されます。
これらのポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	最初の依頼で選択されたモデル（PC1 - E500）が表示されます。
［全般］タブ	
単価（mAvgPrice）	見積明細と発注明細の価格が表示されます（900 USD）。
［コスト］タブ	
リスト	ポートフォリオ品目の取得に対応する経費明細が表示されます。

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	最初の依頼で選択されたモデルが表示されます（「1 - 外付けCDライター）。
［全般］タブ	
単価（mAvgPrice）	見積明細と発注明細の価格が表示されます（70 USD）。
親レコード（Parent）	1 Compaq PC1 - E500
［コスト］タブ	
リスト	ポートフォリオ品目の取得に対応する経費明細が表示されます。

6 すべてのウィンドウを閉じます。

実用例8b: 複合製品

はじめに

この実用例の目的は、主製品がそれを構成している製品群の入れ物として使用される複合製品を作成し使用する方法を示すことです。

必要条件

実用例実用例1: 適切な参照レコード [傳蘭6]を実行している必要があります。

シナリオ

シナリオは実用例4aと同じです。

ただし、製品の構成は異なります。

作成

製品の作成

1. カタログ製品を表示します（［調達／製品］メニュー）。
2. 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC8 - セールスエンジニア用の設定
モデル（Model）	PC1 - セールスエンジニア用の設定

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC8 - 設定用E500
メーカ（Brand）	PC1 - Compaq
モデル（Model）	PC1 - E500
親レコード（Parent）	PC8 - セールスエンジニア用の設定

フィールドまたはリンク	値
オプション（bOption）	いいえ

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC8 - 設定用外付けCDライター
メーカ（Brand）	PC1 - Compaq
モデル（Model）	PC1 - 外付けCDライター
親レコード（Parent）	PC8 - セールスエンジニア用の設定
オプション（bOption）	いいえ

3 すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

1 カタログリファレンスを表示します（［調達／リファレンス］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC8 - セールスエンジニア用設定 (PC1 - MySupplier)
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC8 - セールスエンジニア用の設定
説明（Description）	PC8 - セールスエンジニア用の設定
価格（fPrice）	1100
割引（pDiscount）	10%

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC8 - 設定用E500 (PC1 - MySupplier)
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC8 - 設定用E500
説明（Description）	PC8 - 設定用E500
価格（fPrice）	1000
割引（pDiscount）	10%

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC8 - 設定用外付けCDライター (PC1 - Compaq)

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC8 - 設定用外付けCDライター
説明（Description）	PC8 - 設定用外付けCDライター
価格（fPrice）	100
割引（pDiscount）	10%

3 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼を作成する

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
上部の枠	モデルを選択して新規依頼を作成する
目的	PC8 - セールスエンジニア用の設定
［OK］ボタンをクリックします。	
［依頼にモデルを追加する］ページ	
モデル	「PC1 - セールスエンジニア用の設定」を選択します。
［追加］をクリックします。	
［終了］をクリックします。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 ウィザードで作成された依頼の詳細画面が表示されます。
5 ［明細］タブを選択します。
6 ウィザードによって作成された明細の詳細画面を確認します。
7 依頼を変更するには、次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号（amRequest）	PC8 - REQ002

8 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

1 依頼PC8 - REQ002の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［見積］ボタンをクリックします。

3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［明細を選択する］ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
明細をすべて含める	はい
［次へ］をクリックします。	
［依頼が使用する参照を変更する］ページ	
依頼明細のリスト	「PC1 - セールスエンジニア用の設定 1 1 PC8 - セールスエンジニア用の設定（PC1 - MySupplier PC8 - セールスエンジニア用の設定 1,100 USD 10%」を選択します。
対応するカタログリファレンスのリスト	「PC8 - セールスエンジニア用の設定（PC1 - MySupplier PC8 - セールスエンジニア用の設定 1,100 USD 10% 0 PC1 - MySupplier」を選択します。
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。

この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	見積依頼済
［全般］タブ	
最初の依頼明細（Request）	PC8 - REQ002（PC8 - セールスエンジニア用の設定）
［明細］タブ	
リスト	3つの見積明細がウィザード見積の作成によって作成されます。1つは主製品（「PC8 - セールスエンジニア用の設定」）用で、残り2つがその従属製品（「PC8 - 設定用E500」）用と「PC8 - 設定用外付けCDライター」）用です。

5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	見積済

フィールドまたはリンク	値
番号（PONumber）	PC8 - EST002

6 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。
7 見積の詳細画面を表示したままにします。

発注の書式内の見積を発行する

1 見積PC8 - EST002の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 発注するウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［発注で欠けている依頼明細を作成する］ページ	
依頼を作成し既存の依頼に関連付ける	はい
依頼	依頼「PC8 - REQ002」を選択します。
［終了］をクリックします。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 発注の詳細画面が表示されます。
この発注の詳細画面を調べます。特に、以下のフィールドとリンクが更新されていることを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	発注済
［全般］タブ	
発効日（dtSent）	現在の日付

5 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

1 発注PC8 - EST002の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［受領］をクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 発注から作成されたポートフォリオ品目のリストが表示されます。
これらのポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	最初の依頼で選択されたモデル（PC1 - E500）が表示されます。
［全般］タブ	
単価（mAvgPrice）	見積明細と発注明細の価格が表示されます（900 USD）。
［コスト］タブ	
リスト	見積明細と発注明細の価格が表示されます（900 USD）。

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	最初の依頼で選択されたモデルが表示されます（「1 - 外付けCDライター）。
［全般］タブ	
単価（mAvgPrice）	見積明細と発注明細の価格が表示されます（90 USD）。
［コスト］タブ	
リスト	見積明細と発注明細の価格が表示されます（90 USD）。

注意:

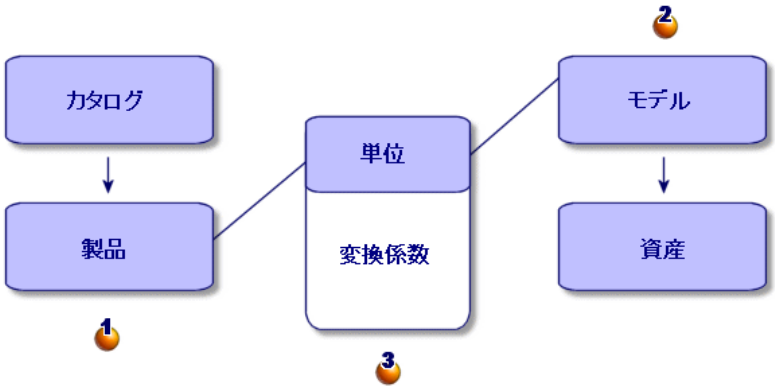
リファレンス「PC8REF003 - PC8 - セールスエンジニア用の設定」に対して、ポートフォリオ品目が作成されません。これは意図的であり、このリファレンスにリンクされている製品が、レコードが作成されることがない属性を持つモデルにリンクされていることが理由です。

6 すべてのウィンドウを閉じます。

13 計量単位

基本概念

図 13.1. 計量単位



計量単位は、製品レベル（1）とモデルレベル（2）で定義されます。
これらの計量単位は、製品レベルとモデルレベルで別にすることができます。

受領品目の作成時に、製品の計量単位とモデルの計量単位の関係がAssetCenterによって確認する必要があります（3）。
この割合は、計量単位間の変換率を使用して定義されます。

実用例9：計量単位

はじめに

この実用例は、製品とそれらの関連モデルの間で異なる計量単位を適切に使用する方法を示すことを目的としています。

必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1: 適切な参照レコード [修訂6]
- 実用例2: 単純カタログ [修訂9]

シナリオ

100リットルの液体を発注します。液体は、製品レベルではヘクトリットルで計量され、モデルレベルではリットルで計量されます。

作成

単位の作成

1. 単位を表示します（［管理／単位］）。
2. 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC9 - リットル
次元（Dimension）	PC9 - 体積
記号（Symbol）	PC9 - l

フィールドまたはリンク	値
変換係数（fConv）	1

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC9 - ヘクトリットル
次元（Dimension）	PC9 - 体積
記号（Symbol）	PC9 - hl
変換係数（fConv）	100

3 すべてのウィンドウを閉じます。

属性の作成

1 属性を表示します（［ポートフォリオ／属性］）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC9 - 液体
作成（seBasis）	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル（OverflowTbl）	(テーブルなし)
管理条件（seMgtConstraint）	個別管理しない

3 すべてのウィンドウを閉じます。

モデルの作成

1 モデルを表示します（［ポートフォリオ／モデル］）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC9 - ガソリン
［全般］タブ	
属性（Nature）	PC9 - 液体
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい
使用単位（UseUnit）	PC9 - リットル
不分割数量（fUseQty）	1

3 すべてのウィンドウを閉じます。

製品の作成

1 カタログ製品を表示します（［調達／製品］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC9 - ガソリン
モデル（Model）	PC9 - ガソリン
［取得］タブ	
購入単位（PurchUnit）	PC9 - ヘクトリットル
変換係数（fUnitConv）	100

3 すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

1 カタログリファレンスを表示します（［調達／リファレンス］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC9 - ガソリン (PC1 - MySupplier)
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC9 - ガソリン
説明（Description）	PC9 - ガソリン
価格（fPrice）	1
割引（pDiscount）	5%
最低発注量（fMinQty）	1

3 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	

フィールドまたはリンク	値
モデルを選択して新規依頼を作成する	はい
目的	PC9 - ガソリン
［OK］ボタンをクリックします。	
［依頼にモデルを追加する］ページ	
メーカ	
モデル	PC9 - ガソリン
単位と数量の変更	このオプションを選択し、数量100を入力します。
［追加］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。

この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
目的	PC9 - ガソリン
ステータス（seStatus）	準備中
［明細］タブ	
リスト	モデル「PC9 - ガソリン」に対応する依頼明細。 この依頼明細の詳細画面を確認すると、発注量が単位「PC9 - l」の「100」であることがわかります。

5 これが開いている場合、依頼明細の詳細画面を閉じますが、依頼の詳細画面は表示したままにします。

6 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号（amRequest）	PC9 - REQ001

7 依頼の変更を確定します（［変更］ボタン）。

8 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

1 依頼PC9 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。

2 ［見積］ボタンをクリックします。
3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［明細を選択する］ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
明細をすべて含める	はい
［次へ］をクリックします。	
［依頼が使用する参照を変更する］ページ	
ページをそのままの状態で使用できるはずです。 以下の表は、「PC9 - ガソリン 100 1 PC9 - ガソリン（PC1 - MySupplier）PC9 - ガソリン 1 USD 5%」を示します。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ステータス（seStatus）	見積依頼済
最初の依頼明細（Request）	PC9 - REQ001（PC9 - ガソリン）
［明細］タブ	
リスト	ウィザード見積の作成を使用してカタログリファレンス「PC9 - REF001」に関連付けられた依頼明細「PC9 - REQ001」に対応する発注明細

5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	見積済
番号（PONumber）	PC9 - EST001

6 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。
7 見積の詳細画面を表示したままにします。

見積から発注する

1. 見積PC9 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2. ［発注］ボタンをクリックします。
3. ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4. ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5. 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。

   この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ステータス（seStatus）	発注済
発効日（dtSent）	現在の日付
［明細］タブ	
リスト	モデル「PC9 - ガソリン」に対応する発注明細 この依頼明細の詳細画面を確認すると、発注量が単位「PC9 - hl」の「1」であることがわかります。 カタログリファレンスに関連付けられた製品に対応して、単位の変換が適切に行われています。

6. 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

1. 発注PC9 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2. ［受領］をクリックします。
3. ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4. ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5. 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。

   このポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	最初の依頼で選択されたモデルが表示されます（PC9 - ガソリン）。
［全般］タブ	

フィールドまたはリンク	値
数量（fQty）	100
	PC9 - l 変換がもう一度行われ、受領したポートフォリオ品目に関連付けられたモデルの単位で数量が表されます。
単価（mAvgPrice）	見積明細と発注明細の価格が表示されます（0.95 USD）。

6 すべてのウィンドウを閉じます。

14 パッケージング

基本概念

AssetCenterでは、製品のパッケージングを記述して、これを調達サイクルで考慮することができます。

パッケージングは、製品の数量を表示するかどうかによって別々に処理されます。

- 品目数で（単位なし）

  例: 製品「インクカートリッジ」は、1ロット6カートリッジ入りのロットで入手可能です。

  12カートリッジを発注する場合を考えます。

段階	手順
依頼	12カートリッジを依頼します。
見積と発注	1ロット6カートリッジ入りのカートリッジを2ロット発注します。

段階	手順
受領	配達が完了すると、6カートリッジ入りのロットを2ロット受領することになります。 AssetCenterによって作成されるものを以下に示します。 ■ 属性の詳細画面で［管理条件］（seMgtConstraint）フィールドが「資産タグ」に設定されている場合: 6単位の2ポートフォリオ品目 ■ 属性の詳細画面で［管理条件］（seMgtConstraint）フィールドが「固定資産タグ」に設定されている場合: 12個の個別のポートフォリオ品目

■ 単位で

例: 製品「ガソリン」は、1ロットに5リットル入り缶が20缶含まれるロット単位で入手可能です。

モデル「ガソリン」と製品「ガソリン」が「リットル」で表示されるとします。

200リットルを発注する場合を考えます。

段階	手順
依頼	200リットルを依頼します。
見積と発注	1缶5リットル入りの缶を40缶発注します。
受領	配達が完了すると、5リットル入りの缶を40缶受領することになります。 AssetCenterによって、200リットルのポートフォリオ品目1つが作成されます。

手順

製品のパッケージング条件を定義するには

1 製品を作成します（［調達／製品］メニュー）。
2 レコードの詳細画面に入力します。特に以下のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	コメント
［取得］タブ	
パッケージ（bIsPackaged）	
数量（lSetQty）	
内容量（fPkgQty）	このフィールドは、［発注］（PurchUnit）フィールドが入力されている場合に表示されます。

実用例10a: パッケージング

はじめに

この実用例は、計量単位が製品に関連付けられていない場合に製品パッケージングを管理する方法を示すことを目的としています。

必要条件

実用例実用例1: 適切な参照レコード [傳離6]を実行している必要があります。

シナリオ

12カートリッジを依頼し、6カートリッジ入りのロットを2ロット発注します。

作成

属性の作成

1. 属性を表示します（［ポートフォリオ／属性］）。
2. 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC10 - 消耗品
作成（seBasis）	ポートフォリオ品目

フィールドまたはリンク	値
オーバーフローテーブル（OverflowTbl）	(テーブルなし)
管理条件（seMgtConstraint）	個別管理しない

3 すべてのウィンドウを閉じます。

モデルの作成

1 モデルを表示します（［ポートフォリオ／モデル］）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC10 - インクカートリッジ
属性（Nature）	PC10 - 消耗品
購入依頼用に承認済（bRequestable）	はい

3 すべてのウィンドウを閉じます。

製品の作成

1 カタログ製品を表示します（［調達／製品］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC10 - インクカートリッジ
モデル（Model）	PC10 - インクカートリッジ
［取得］タブ	
パッケージ（bIsPackaged）	はい
数量（lSetQty）	6

3 すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

1 カタログリファレンスを表示します（［調達／リファレンス］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC10 - インクカートリッジ (PC1 - MySupplier)
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC10 - インクカートリッジ
説明（Description）	PC10 - インクカートリッジ
価格（fPrice）	100
割引（pDiscount）	5%

3 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
モデルを選択して新規依頼を作成する	はい
目的	PC10 - インクカートリッジ
［OK］ボタンをクリックします。	
［依頼にモデルを追加する］ページ	
メーカ	
モデル	PC10 - インクカートリッジ
単位と数量の変更	このオプションを選択して数量12を入力します。
［追加］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
目的	PC10 - インクカートリッジ
ステータス（seStatus）	準備中
［明細］タブ	

フィールドまたはリンク	値
リスト	モデル「PC10 - インクカートリッジ」に対応する依頼明細 この依頼明細の詳細画面を確認すると、依頼した量が「12」であることがわかります。

5 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号（amRequest）	PC10 - REQ001

6 依頼の変更を確定します（［変更］ボタン）。
7 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

1 依頼PC10 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［見積］ボタンをクリックします。
3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［明細を選択する］ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
明細をすべて含める	はい
［次へ］をクリックします。	
［依頼が使用する参照を変更する］ページ	
ページをそのままの状態で使用できるはずです。 以下の表は、「PC10 - インクカートリッジ 12 2 PC10 - インクカートリッジ（PC1 - MySupplier）PC10 - インクカートリッジ 100 USD 5%」を示します。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ステータス（seStatus）	見積依頼済
最初の依頼明細（Request）	PC10 - REQ001 (PC10 - インクカートリッジ)

フィールドまたはリンク	値
［明細］タブ	
リスト	ウィザード見積の作成を使用してカタログリファレンス「PC10 - インクカートリッジ（PC1 - MySupplier）」に関連付けられた依頼明細「PC10 - REQ001」に対応する見積明細

5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	見積済
番号（PONumber）	PC10 - EST001

6 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。
7 見積の詳細画面を表示したままにします。

見積から発注する

1 見積PC10 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。
この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ステータス（seStatus）	発注済
発効日（dtSent）	現在の日付
［明細］タブ	

フィールドまたはリンク	値
リスト	モデルに対応する発注明細 PC10 - インクカートリッジ この発注明細の詳細画面を確認すると、発注量が6カートリッジの「2」ロットになっていることがわかります。 依頼された品目数と依頼されたロット数との間で変換が適切に行われました。

6 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

1 発注PC10 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［受領］をクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
このポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	最初の依頼で選択されたモデルが表示されます（PC10 - インクカートリッジ）。
［全般］タブ	
数量（fQty）	12
	変換がもう一度行われ、受領したポートフォリオ品目の属性に従って数量が表されます。
単価（mAvgPrice）	見積明細と発注明細の価格が表示されます（95 USD）。

6 すべてのウィンドウを閉じます。

実用例10b: パッケージング

はじめに

この実用例は、計量単位が製品に関連付けられるときに製品パッケージングを管理する方法を示すことを目的としています。

必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1: 適切な参照レコード [修献6]
- 実用例9：計量単位 [修献44]

シナリオ

ガソリン400リットルを依頼し、5リットル缶入りガソリンが20缶で1ロットのものを4ロット発注します。

作成

製品の作成

1. カタログ製品を表示します（［調達／製品］メニュー）。
2. 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明（Description）	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
モデル（Model）	PC9 - ガソリン
［取得］タブ	
購入単位（PurchUnit）	PC9 - リットル
変換係数（fConv）	1
パッケージ（bIsPackaged）	はい
数量（lSetQty）	20

フィールドまたはリンク	値
内容量（fPkgQty）	5

3 すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

1 カタログリファレンスを表示します（［調達／リファレンス］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ（Catalog）	PC1 - MySupplier
リファレンス（Ref）	PC10 - 5リットル缶入りガソリン（PC1 - MySupplier）
［全般］タブ	
製品（CatProduct）	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
説明（Description）	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
価格（fPrice）	1 ヒント: 製品の計量単位ごとの価格を指定する必要があります（［購入単位］（PurchUnit）フィールド）。ロットごとの価格ではありません。
割引（pDiscount）	5%

3 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
モデルを選択して新規依頼を作成する	はい
目的	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
［OK］ボタンをクリックします。	
［依頼にモデルを追加する］ページ	
メーカ	

フィールドまたはリンク	値
モデル	PC9 - ガソリン
単位と数量の変更	このオプションを選択して数量400を入力します。
［追加］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。

この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
目的	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
ステータス（seStatus）	準備中
［明細］タブ	
リスト	モデル「PC9 - ガソリン」に対応する依頼明細。 この依頼明細の詳細画面を確認すると、依頼した数量が「PC9 - l」の「400」であることがわかります。

5 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号（amRequest）	PC10 - REQ002

6 依頼の変更を確定します（［変更］ボタン）。

7 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

1 依頼PC10 - REQ002の詳細画面が表示されることを確認します。

2 ［見積］ボタンをクリックします。

3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［明細を選択する］ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
明細をすべて含める	はい

フィールドまたはリンク	値
［次へ］をクリックします。	
［依頼が使用する参照を変更する］ページ	
依頼明細のリスト	「PC9 - ガソリン 400 4 PC9 - ガソリン（PC1 - MySupplier）PC9 - ガソリン 1 USD 5%」を選択します。
対応するカタログリファレンスのリスト	「PC10 - 5リットル缶入りガソリン（PC1 - MySupplier）PC10 - 5リットル缶入りガソリン 1 USD 5% 0 PC9 - リットル PC1 - MySupplier」を選択します。
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。

この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ステータス（seStatus）	見積依頼済
最初の依頼明細（Request）	PC10 - REQ002（PC10 - 5リットル入り缶のガソリン）
［明細］タブ	
リスト	ウィザード見積の作成を使用してカタログリファレンス「PC10 - 5リットル缶入りガソリン（PC1 - MySupplier）」に関連付けられた依頼明細「PC10 - REQ002」に対応する見積明細 この発注明細の詳細画面を確認すると、発注量が5リットル缶入り20缶で1ロットの「4」ロットになっていることがわかります。 依頼された品目数と依頼されたロット数との間で変換が適切に行われました。

5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	見積済

フィールドまたはリンク	値
番号（PONumber）	PC10 - EST002

6 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。
7 見積の詳細画面を表示したままにします。

見積から発注する

1 見積PC10 - EST002の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。
この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ステータス（seStatus）	発注済
発効日（dtSent）	現在の日付
［明細］タブ	
リスト	モデル「PC9 - ガソリン」に対応する発注明細

6 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

1 発注PC10 - EST002の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［受領］をクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
このポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	最初の依頼で選択されたモデルが表示されます（PC9 - ガソリン）。
［全般］タブ	

フィールドまたはリンク	値
数量（fQty）	400 PC9 - l **注意:** 変換がもう一度行われ、受領したポートフォリオ品目の属性と単位に従って数量が表されます。
単価（mAvgPrice）	見積明細と発注明細の価格が表示されます（0.95 USD）。

警告:

数量で表示された製品を受領したときに、AssetCenterによって、同一モデルに関連付けられ同一の場所、ユーザ、または在庫に関連付けられたポートフォリオ品目が見つからない場合は新しいポートフォリオ品目のみが作成されます。

AssetCenterによってそのようなポートフォリオ品目が見つかった場合は、受領した数量がポートフォリオ品目の既存の数量にそのまま追加されます。

6 すべてのウィンドウを閉じます。

15 予約

基本概念

AssetCenterでは、以下を予約できます。

- 既に在庫にあるポートフォリオ品目
- 発注する予定のポートフォリオ品目

ポートフォリオ品目は、受領時に依頼明細レベルで予約されます。

在庫内で予約されたポートフォリオ品目は、発注するポートフォリオ品目の数から差し引かれます。

例:3つのUSBキーを依頼するときに1つを在庫内で予約する場合、発注するのは2つだけです。

手順

在庫内のポートフォリオ品目を予約する

在庫内のポートフォリオ品目を予約するには

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。

2 依頼の詳細画面を表示します。
3 ［明細］タブを表示します。
4 依頼明細の詳細画面を表示します。
5 ［予約］タブを表示します。
6 予約を追加して、特に以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ポートフォリオ品目（Assignment）	予約する在庫内のポートフォリオ品目
数量（fQty）	単位がポートフォリオ品目のモデルに関連付けられている場合に予約する数量（［使用単位］（UseUnit）フィールド）

警告:

依頼明細に基づいて見積または発注が作成された後に、この依頼明細に予約を追加することはできません。

見積作成後に予約を追加しなくてはならない場合、見積を発注に変換することができません（依頼、予約、見積の数量に不整合が生じるため）。

発注作成後に予約を追加しなくてはならない場合は、発注を受領することによって、在庫内の予約済みポートフォリオ品目を考慮に入れることなく、新しいポートフォリオ品目が作成されます。

注意:

予約情報がポートフォリオ品目の詳細画面の［ポートフォリオ］タブページ／［予約］サブタブページに表示されます。

発注するポートフォリオ品目を予約する

注文時にモデルを予約するには

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 依頼の詳細画面を表示します。
3 ［明細］タブを表示します。
4 予約するモデルの依頼明細の詳細画面を表示します。
5 以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ユーザ（User）	ポートフォリオ品目を予約する部署または従業員
即時割当（bInstantAssign）	▪ このオプションを選択する場合、受領品目が次のように入力されます。

フィールドまたはリンク	値
割当（seAssignment）	使用中
ユーザ（User）	依頼明細に指定されたユーザ

▪ このオプションを選択しない場合、受領品目が次のように入力されます。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
割当（seAssignment）	在庫中
在庫（Stock）	依頼明細で選択された在庫
［予約］タブ	
依頼明細で指定したユーザのために予約が作成されます。	

警告:

［ユーザ］フィールドは、依頼と依頼明細にのみ表示されます。発注と発注明細には表示されません。

実用例11 - 予約

はじめに

この実用例は、ポートフォリオ品目の依頼時にポートフォリオ品目を予約する方法と、調達サイクルに与える影響を示すことを目的としています。

特に、この処理で管理条件を扱うとともにモデルに関連付けられた属性のレベルで定義された単位を扱うことが明らかになります。

必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1: 適切な参照レコード [傳献6]
- 実用例2: 単純カタログ [傳献9]
- 実用例9：計量単位 [傳献44]
- 実用例10a: パッケージング [傳献53]

シナリオ

さまざまなポートフォリオ品目を依頼します。

これらのモデルの中に、「PC1 - 小林」氏のために予約されるものがあります。

残りのモデルの中には、受領時に「PC1 - 小林」氏に直接割り当てられるがあり、その他はユーザなしのポートフォリオに入れられるか在庫に割り当てられます。

依頼モデル	「PC1 - 小林」氏用に在庫「PC1 - 在庫」内で予約するには	「PC1 - 小林」氏用に発注して受領時に直接割り当てるには	「PC1 - 小林」氏用に発注して受領時に在庫に入庫して予約するには	予約作成なしで発注して在庫「PC1 -在庫」内に置くには
5CP1 - Compaq E500コンピュータ	1			4
20 PC10 - インクカートリッジ	1	6		12
700リットルのPC9 - ガソリン	100		100	500

このためには、以下の作業が必要です。

- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- ポートフォリオ品目が受領されます。
- 受領品目が在庫から取り出されます。

作成

在庫内のポートフォリオ品目の作成

1 ポートフォリオ品目を表示します（［ポートフォリオ／ポートフォリオ品目］メニュー）。
2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	PC1 - E500
割当（seAssignment）	在庫中
在庫（Stock）	PC1 - 在庫

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	PC10 - インクカートリッジ
数量（fQty）	2
割当（seAssignment）	在庫中
在庫（Stock）	PC1 - 在庫

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	PC9 - ガソリン
数量（fQty）	200
割当（seAssignment）	在庫中
在庫（Stock）	PC1 - 在庫

3 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
モデルを選択して新規依頼を作成する	はい
目的	PC11 - 予約付きの依頼
［OK］ボタンをクリックします。	
［依頼にモデルを追加する］ページ	

フィールドまたはリンク	値
モデル	PC1 - E500
単位と数量の変更	このオプションを選択して数量5を入力します。 **注意:** 発注4 + 在庫中1
［追加］をクリックします。	
モデル	PC10 - インクカートリッジ
単位と数量の変更	このオプションを選択して数量12を入力します。
［追加］をクリックします。	
モデル	PC10 - インクカートリッジ
単位と数量の変更	このオプションを選択して数量7を入力します。
［追加］をクリックします。	
モデル	PC9 - ガソリンPC9
単位と数量の変更	このオプションを選択して、数量500を入力します。
［追加］をクリックします。	
モデル	PC9 - ガソリンPC9
単位と数量の変更	このオプションを選択して、数量200を入力します。
［追加］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

注意:

モデル「PC10 - インクカートリッジ」と「PC9 - ガソリン PC9」を2回発注して、モデルごとに2つの依頼明細を作成しなくてはなりません。

「PC1 - 小林」氏用に予約された依頼明細と予約されていない依頼明細とを識別するために、モデルごとに2つの依頼明細を作成する必要があります（依頼明細の一部を予約することはできません）。

4 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。

この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
目的	PC11 - 予約付きの依頼

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	準備中
［明細］タブ	
リスト	モデル「PC1 - E500」、「PC10 - インクカートリッジ」、および「PC9 - ガソリン PC9」に対応する依頼明細

5 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号（amRequest）	PC11 - REQ001

6 ［明細］タブを選択します。
7 発注明細「5 PC1 - E500 PC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。
8 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割当（bInstantAssign）	いいえ
ユーザ（User）	このリンクは空白にします。
［購入］タブ	
配達先在庫（Stock）	PC1 - 在庫

9 ［予約］タブを選択します。
10 予約を追加し、以下の表に指定したフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ポートフォリオ品目（Assignment）	1 PC1 - Compaq PC1 - E500
予約者（Reserver）	PC1 - 小林

11 依頼明細の変更を確定します（［変更］ボタン）。
12 依頼明細の詳細画面を閉じます(［閉じる］ボタン)。
13 依頼明細「7 PC10 - インクカートリッジ PC10 - 消耗品」の詳細画面を表示します。
14 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
ユーザ（User）	PC1 - 小林

15 ［予約］タブを選択します。

16 予約を追加し、以下の表に指定したフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ポートフォリオ品目（Assignment）	2 PC10 - インクカートリッジ
数量（fQty）	1
予約者（Reserver）	PC1 - 小林

17 依頼明細の変更を確定します（［変更］ボタン）。
18 依頼明細の詳細画面を閉じます(［閉じる］ボタン)。
19 依頼明細「12 PC10 - インクカートリッジ PC10 - 消耗品」の詳細画面を表示します。
20 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割当（bInstantAssign）	いいえ
ユーザ（User）	このリンクは空白にします。
［購入］タブ	
配達先在庫（Stock）	PC1 - 在庫

21 依頼明細の変更を確定します（［変更］ボタン）。
22 依頼明細の詳細画面を閉じます(［閉じる］ボタン)。
23 発注明細「200 PC9 - ガソリン PC9 - 液体」の詳細画面を表示します。
24 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割当（bInstantAssign）	いいえ
ユーザ（User）	PC1 - 小林
［購入］タブ	
配達先在庫（Stock）	PC1 - 在庫

25 ［予約］タブを選択します。
26 予約を追加し、以下の表に指定したフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ポートフォリオ品目（Assignment）	200PC9 -	PC9 - ガソリン
数量（fQty）	100
予約者（Reserver）	PC1 - 小林

27 依頼明細の変更を確定します（［変更］ボタン）。

28 依頼明細の詳細画面を閉じます(［閉じる］ボタン)。
29 発注明細「500 PC9 - ガソリン PC9 - 液体」の詳細画面を表示します。
30 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割当（bInstantAssign）	いいえ
ユーザ（User）	このリンクは空白にします。
［購入］タブ	
配達先在庫（Stock）	PC1 - 在庫

31 依頼明細の変更を確定します（［変更］ボタン）。
32 依頼明細の詳細画面を閉じます(［閉じる］ボタン)。
33 依頼の変更を確定します（［変更］ボタン）。
34 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

1 依頼PC11 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［見積］ボタンをクリックします。
3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［明細を選択する］ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
明細をすべて含める	はい
［次へ］をクリックします。	
［依頼が使用する参照を変更する］ページ	
［依頼明細のリスト］リスト	PC1 - E500 4 4 PC2 - E500（PC1 - MySupplier）PC - E500 1,000 USD 10%
［対応するカタログリファレンスのリスト］リスト	PC2 - E500 (PC1 - MySupplier) PC2 - E500 1 000 USD 10% 0 PC1 - MySupplier
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
［依頼明細のリスト］リスト	PC10 - インクカートリッジ 12 2 PC10 - インクカートリッジ（PC1 - MySupplier）PC10 - インクカートリッジ 100 USD 5%
［対応するカタログリファレンスのリスト］リスト	PC10 - インクカートリッジ（PC1 - MySupplier）PC10 - インクカートリッジ 100 USD 5% 0 PC1 - MySupplier
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	

フィールドまたはリンク	値
［依頼明細のリスト］リスト	PC10 - インクカートリッジ 6 1 PC10 - インクカートリッジ（PC1 - MySupplier）PC10 - インクカートリッジ 100 USD 5%
［対応するカタログリファレンスのリスト］リスト	PC10 - インクカートリッジ（PC1 - MySupplier）PC10 - インクカートリッジ 100 USD 5% 0 PC1 - MySupplier
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
［依頼明細のリスト］リスト	PC9 - ガソリン 500 5 PC9 - ガソリン (PC1 - My supplier) PC9 - ガソリン 1 USD 5%
［対応するカタログリファレンスのリスト］リスト	PC9 - ガソリン (PC1 - My supplier) PC9 - ガソリン 1 USD 5% 0 PC9 - ヘクトリットル PC1 - MySupplier
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
［依頼明細のリスト］リスト	PC9 - ガソリン 100 1 PC9 - ガソリン (PC1 - My supplier) PC9 - ガソリン 1 USD 5%
［対応するカタログリファレンスのリスト］リスト	PC9 - ガソリン (PC1 - My supplier) PC9 - ガソリン 1 USD 5% 0 PC9 - ヘクトリットル PC1 - MySupplier
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。

この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ステータス（seStatus）	見積依頼済
最初の依頼明細（Request）	PC11 - REQ001（PC11 - 予約付きの依頼）
［明細］タブ	
リスト	見積の作成ウィザードを使用して選択されたカタログリファレンスに対応する発注明細

5 見積に番号を割り当て、この見積用の依頼済見積を確認するには、以下の表に示すようにフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	見積済

フィールドまたはリンク	値
番号（PONumber）	PC11 - EST001

6 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。
7 見積の詳細画面を表示したままにします。

発注の書式内で見積を発行する

1 見積PC11 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。
この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ステータス（seStatus）	発注済
発効日（dtSent）	現在の日付

6 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

1 発注PC11 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［受領］をクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 発注から作成されたポートフォリオ品目のリストが表示されます。
これらのポートフォリオ品目の詳細画面を調べます。
依頼された5品目から在庫中に予約される1品目を引いた数に相当する4つの「PC1 - E500」：

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	PC1 - E500
［全般］タブ	
割当（seAssignment）	在庫中
在庫（Stock）	PC1 - 在庫
［予約］タブ	

フィールドまたはリンク	値
リスト	リストは空白です。

「600 PC9 - リットル」の「PC9 - ガソリン」:

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	PC9 - ガソリン
［全般］タブ	
数量（fQty）	600、以下の合計: ▪ 発注され在庫「PC1 - 在庫」内で受領される500リットル ▪ 発注され在庫「PC1 - 在庫」内で受領される100リットル
割当（seAssignment）	在庫中
在庫（Stock）	PC1 - 在庫
［予約］タブ	
リスト	

14 「PC10 - インクカートリッジ」

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	PC10 - インクカートリッジ
［全般］タブ	
数量（fQty）	14、以下の合計: ▪ 発注前に既に在庫「PC1 - 在庫」にある2カートリッジ ▪ 発注され在庫「PC1 - 在庫」内で受領される12カートリッジ
割当（seAssignment）	在庫中
在庫（Stock）	PC1 - 在庫
［予約］タブ	
リスト	依頼明細のレベルで実行される「PC1 - 小林」氏用の1カートリッジの1つの予約

6 「PC10 - インクカートリッジ」:

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	PC10 - インクカートリッジ
［全般］タブ	
数量（fQty）	6

フィールドまたはリンク	値
ユーザ（User）	PC1 - 小林

6 すべてのウィンドウを閉じます。

在庫内の品目の発注

1 発注を表示します（［調達／発注と見積］メニュー）。
2 発注「PC11 - EST001」の詳細画面を表示します。
3 ［トラッキング］タブを選択します。
4 ［予約］の分岐点をクリックします。
5 「XXXXXX (1 PC1 - E500)」の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
6 予約済ポートフォリオ品目の詳細画面を表示します（［ポートフォリオ品目］リンク（Assignment）の右側にある拡大鏡）。
7 以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
割当（seAssignment）	使用中
ユーザ（User）	PC1 - 小林
使用開始日（dAssignment）	現在の日付

8 ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます（［閉じる］ボタン）。
9 予約の詳細画面を閉じます（［閉じる］ボタン）。
10 「XXXXXX (100 PC9 - ガソリン)」の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
11 予約済ポートフォリオ品目の詳細画面を表示します（［ポートフォリオ品目］リンク（Assignment）の右側にある拡大鏡）。
12 ロットを分割します（［分割］ボタン）。
13 ロットの分割ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［ロットの分割］ページ	
抽出数	100
割当	使用中
ユーザ	PC1 - 小林
使用開始日	現在の日付
ウィザードの実行を確定します（［OK］ボタン）。	

14 ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます（［閉じる］ボタン）。

15 予約の詳細画面を閉じます（［閉じる］ボタン）。
16 「XXXXXX (100 PC9 - ガソリン)」の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
17 予約済ポートフォリオ品目の詳細画面を表示します（［ポートフォリオ品目］リンク（Assignment）の右側にある拡大鏡）。
18 ロットを分割します（［分割］ボタン）。
19 ロットの分割ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［ロットの分割］ページ	
抽出数	100
割当	使用中
ユーザ	PC1 - 小林
ウィザードの実行を確定します（［OK］ボタン）。	

20 ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます（［閉じる］ボタン）。
21 予約の詳細画面を閉じます（［閉じる］ボタン）。
22 「XXXXXX (1 PC10 - インクカートリッジ)」の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
23 予約済ポートフォリオ品目の詳細画面を表示します（［ポートフォリオ品目］リンク（Assignment）の右側にある拡大鏡）。
24 以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
割当（seAssignment）	使用中
ユーザ（User）	PC1 - 小林
使用開始日（dAssignment）	現在の日付

25 すべてのウィンドウを閉じます。

16 交換

基本概念

購入依頼の詳細画面では、交換する資産を指定することができます。

交換する資産のリストは、参照専用です。AssetCenterでは、受領時に交換にリンクされた処理は実行されません。

手順

資産を発注によって交換することを指定するには

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 依頼の詳細画面を表示します。
3 ［交換］タブを表示します。
4 交換する資産を追加します（［+］ボタン）。

実用例12 - 交換

はじめに

この実用例は、資産交換依頼を処理する方法を示すことを目的としています。

必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1: 適切な参照レコード [傳献6]
- 実用例2: 単純カタログ [傳献9]

シナリオ

「PC1 - 小林」氏の所有するコンピュータ「PC1 - Compaq E500」が動作しなくなりました。

このコンピュータは、同じモデルの他のコンピュータに交換する必要があります。

このためには、以下の作業が必要です。

- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- 新しいコンピュータは、受領され「PC1 - 小林」氏に割り当てられます。
- 古いコンピュータは除却されます。

作成

古いコンピュータの作成

1. コンピュータを表示します（［ポートフォリオ／コンピュータ］メニュー）。
2. 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
資産タグ（AssetTag）	PC12 - CPU001
［全般］タブ	
モデル（Model）	PC1 - E500
割当（seAssignment）	使用中
ユーザ（User）	PC1 - 小林

3 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
モデルを選択して新規依頼を作成する	はい
目的	PC12 - 小林氏用コンピュータの交換
［OK］ボタンをクリックします。	
［依頼にモデルを追加する］ページ	
モデル	PC1 - E500
単位と数量の変更	このオプションを選択して、数量1を入力します。
モデルを追加します（［追加］ボタン）。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
5 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号（amRequest）	PC12 - REQ001

6 ［明細］タブを選択します。
7 発注明細「1 PC1 - E500 PC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。
8 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割当（bInstantAssign）	はい

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
ユーザ（User）	PC1 - 小林

9 依頼明細の変更を確定します（［変更］ボタン）。
10 依頼明細の詳細画面を閉じます(［閉じる］ボタン)。
11 ［交換］タブを選択します。
12 資産PC12 - CPU001にリンクを追加します。
13 依頼の変更を確定します（［変更］ボタン）。
14 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

1 依頼PC12 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［見積］ボタンをクリックします。
3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［明細を選択する］ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
明細をすべて含める	はい
［次へ］をクリックします。	
［依頼が使用する参照を変更する］ページ	
［依頼明細のリスト］リスト	PC1 - E500 1 1 PC2 - E500 (PC1 - MySupplier) PC2 - E500 1 000 USD 10%
［対応するカタログリファレンスのリスト］リスト	PC2 - E500 (PC1 - MySupplier) PC2 - E500 1 000 USD 10% 0 PC1 - MySupplier
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	見積済
番号（PONumber）	PC12 - EST001

6 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。

7 見積の詳細画面を表示したままにします。

発注の書式内で見積を発行する

1 見積PC12 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 依頼から作成された発注の詳細画面が表示されます。
6 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

1 発注PC12 - EST001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［受領］をクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 発注から作成されたポートフォリオ品目のリストが表示されます。
モデル「PC1 - E500」のコンピュータの詳細画面を確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	最初の依頼で選択されたモデル（PC1 - E500）が表示されます。
［全般］タブ	
ユーザ（User）	PC1 - 小林

6 すべてのウィンドウを閉じます。

「PC1 - 小林」の古いコンピュータを除却する

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 依頼PC12 - RFP001の詳細画面を表示します。
3 ［交換］タブを選択します。
4 PC1 - Compaq PC1 - E500 (PC12 - CPU001) PC12 - CPU001の詳細画面を表示します（明細をダブルクリック）。
5 以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［ポートフォリオ］タブ	

フィールドまたはリンク	値
割当（seAssignment）	除却済(または消費済)

6 変更を確定します（［変更］ボタン）。
7 すべてのウィンドウを閉じます。

17 作業指示

基本概念

作業指示は、調達サイクル内で管理可能なサービスです。

作業指示を受領する方法は、そのタイプ（［タイプ］（seType）フィールド）によって決まります。

- 内部メンテナンス
- 契約メンテナンスまたは契約外メンテナンス

調達モジュールに関連付けられた業務データには、次のワークフローチャートがあります。

- 作業指示の自動作成（BST_PROCUR_CREATEWO）: 内部作業指示の作成を自動化します。
- 作業指示のトラッキング（BST_PROCUR_UPDATEWO）: 作業指示を担当する技術者のワークフロータスクを作成します。依頼時に、このワークフロータスクによって、作業指示詳細画面内の特定フィールドの入力に使用されるウィザードがトリガされます。

手順

内部メンテナンスタイプの作業指示を取得する

1 依頼を作成します（［調達／購入依頼］メニュー）。
属性が以下の任意管理項目であるモデルを参照する依頼明細を追加します。

フィールドまたはリンク	値
作成（seBasis）	作業指示

モデル自体には、次の任意管理項目が必要です。

フィールドまたはリンク	値
［作業指示］タブ	
タイプ（seWOType）	内部メンテナンス

2 依頼から見積を作成します（［見積］ボタン）。

契約メンテナンスまたは契約外メンテナンスタイプの作業指示を取得する

1 依頼を作成します（［調達／購入依頼］メニュー）。
属性が以下の任意管理項目であるモデルを参照する依頼明細を追加します。

フィールドまたはリンク	値
作成（seBasis）	作業指示

モデル自体には、次の任意管理項目が必要です。

フィールドまたはリンク	値
［作業指示］タブ	

フィールドまたはリンク	値
タイプ（seWOType）	契約メンテナンスまたは契約外メンテナンス

2 依頼から見積を作成します（［見積］ボタン）。

内部メンテナンスタイプの作業指示の作成を自動化する

1 まだ実行されていない場合は、調達にリンクされた業務データをAssetCenterデータベースにインポートします。

▶ 準備段階 [修正1].

この方法で、作業指示の自動作成（BST_PROCUR_CREATEWO）ワークフローチャートがデータベースにインポートされます。

2 AssetCenter Serverを起動します。

3 モジュール実行グループ'BST_PROCUR'にワークフロー規則を適用（WkGroupBST_PROCUR）を設定します（［ツール／モジュールの設定］メニュー）。

▶ マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節。

この方法でAssetCenter Serverは、実行グループ'STD_PROCUR'にワークフロー規則を適用モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、作業指示の自動作成（BST_PROCUR_CREATEWO）ワークフローチャートを実行します。

以下は、作業指示の自動作成（BST_PROCUR_CREATEWO）ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 17.1. 作業指示 - 作業指示の自動作成ワークフローチャート

	テーブル名	フィールド名	フィールドの値
トリガ対象のワークフローチャートの条件	依頼（amRequest）	ステータス（seStatus）	検収済またはクローズド以外
	属性（amNature）	作成（seBasis）	作業指示
	モデル（amModel）	タイプ（seWOType）	内部メンテナンス
	依頼明細（amReqLine）	((fQty - fQtyReserved) - fQtyReceived)	> 0

ワークフローチャートによってトリガされるアクション	作業指示の自動作成（BST_PROCUR_CREATEWO）ワークフローチャートによって、依頼明細に表示される内部メンテナンスタイプの作業指示が作成されます。

内部メンテナンスタイプの作業指示の更新を自動化する

1. まだ実行されていない場合は、調達にリンクされた業務データをAssetCenterデータベースにインポートします。

   ▶ 準備段階 [修敵1].

   この方法で、作業指示のトラッキング（BST_PROCUR_UPDATEWO）ワークフローチャートと関連ウィザード作業指示の更新（UpdateWO）がデータベースにインポートされます。
2. AssetCenter Serverを起動します。
3. モジュール実行グループ'BST_PROCUR'にワークフロー規則を適用（WkGroupBST_PROCUR）を設定します（［ツール／モジュールの設定］メニュー）。

   ▶ マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節。

   この方法でAssetCenter Serverは、実行グループ'STD_PROCUR'にワークフロー規則を適用モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、作業指示のトラッキング（BST_PROCUR_UPDATEWO）ワークフローチャートを実行します。

以下は、作業指示のトラッキング（BST_PROCUR_UPDATEWO）ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 17.2. 作業指示 - 作業指示トラッキングワークフローチャート

ワークフローをトリガするイベント	作業指示の作成または［作業指示］（amWorkOrder）テーブルの［技術者］（Technician）フィールドの変更		
トリガ対象のワークフローチャートの条件	テーブル名	フィールド名	フィールドの値
	作業指示（amWorkOrder）	タイプ（seType）	内部メンテナンス
	作業指示（amWorkOrder）	技術者（Technician）	空白ではありません
	作業指示（amWorkOrder）	ステータス（seStatus）	クローズド以外

ワークフローチャートによってトリガされるアクション	ワークフローチャートでは、ワークフロータスクが作成されます。 ■ 作業指示の更新が呼び出される ■ ［技術者］（Technician）フィールドに指定された技術者に割り当てられる ■ 作業指示にリンクする ■ それにより、作業指示の更新（UpdateWO）ウィザードの開始が要求される

作業指示の更新（UpdateWO）ウィザードは、作業指示の詳細画面内の特定キーフィールドを簡単に入力するために使用されます。

実用例13 - 作業指示

はじめに

この実用例は、作業指示の調達サイクル内のさまざまな段階を示すとともに、作業指示タイプによって異なる各段階を説明することを目的としています。

必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1: 適切な参照レコード [修訂6]
- 実用例2: 単純カタログ [修訂9]

シナリオ

「PC1 - 小林」氏は、コンピュータ「PC1 - Compaq E500」、コンピュータをインストールする契約外作業指示、コンピュータをネットワークに接続する内部作業指示を依頼します。

このためには、以下の作業が必要です。

- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- コンピュータと内部の作業指示が作成されます。
- コンピュータと外部の作業指示が受領されます。

作成

依頼の作成

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
モデルを選択して新規依頼を作成する	はい
目的	PC13 - コンピュータの購入と接続
［OK］ボタンをクリックします。	
［依頼にモデルを追加する］ページ	
モデル	次のモデルを同時に選択します。 ■ PC1 - E500 ■ PC1 - コンピュータのインストール ■ PC1 - コンピュータの接続
単位と数量の変更	このオプションを選択して、数量1を入力します。
［追加］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
5 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号（amRequest）	PC13 - REQ001

6 ［明細］タブを選択します。
7 発注明細「1 PC1 - E500 PC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。
8 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割当（bInstantAssign）	はい
［全般］タブ	

フィールドまたはリンク	値
ユーザ（User）	PC1 - 小林

9 依頼明細の変更を確定します（［変更］ボタン）。
10 依頼明細の詳細画面を閉じます(［閉じる］ボタン)。
11 発注明細「1 PC1 - コンピュータの接続 PC1 - 技術者」の詳細画面を表示します。
12 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割当（bInstantAssign）	はい
［全般］タブ	
ユーザ（User）	PC1 - 小林
依頼する品目（UsedReqLineAsset）	1 PC1 - E500

13 依頼明細の変更を確定します（［変更］ボタン）。
14 依頼明細の詳細画面を閉じます(［閉じる］ボタン)。
15 発注明細「1 PC1 - コンピュータのインストール PC1 - 技術者」の詳細画面が表示されます。
16 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割当（bInstantAssign）	はい
［全般］タブ	
ユーザ（User）	PC1 - 小林
依頼する品目（UsedReqLineAsset）	1 PC1 - E500

17 依頼明細の変更を確定します（［変更］ボタン）。
18 依頼明細の詳細画面を閉じます(［閉じる］ボタン)。
19 依頼の変更を確定します（［変更］ボタン）。
20 依頼の詳細画面を表示したままにします。

内部作業指示の作成

1 依頼PC13 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 以下のフィールドとリンクを変更します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	承認済

3 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。
4 ［実行］をクリックします。
5 発注を作成しない品目を作成するウィザードに以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［発注を作成しない品目を作成する］ページ	
処理する依頼明細	明細「PC1 - コンピュータのインストール PC1 - コンピュータのインストール 11」を選択し、［作成する数量］列を「0」に設定します。
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

6 ［トラッキング］タブを表示します。
7 ［作業指示］の分岐点をクリックします。
8 作業指示「PC1 - コンピュータの接続」の詳細画面を表示して、次のフィールドとリンクを確認します。

フィールドまたはリンク	値
報告日（dtNotif）	作業指示の作成の日付と時間
資産（Asset）	このリンクには当面入力されません。 資産が作成されたときに入力されます。
依頼者（Requester）	PC1 - 小林

9 作業指示の詳細画面を閉じます。
10 依頼の詳細画面を表示したままにします。

依頼から発注を作成する

1 依頼PC13 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 以下の表に示す値を発注の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［明細を選択する］ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ

フィールドまたはリンク	値
明細をすべて含める	はい

ヒント:

「PC1 - コンピュータの接続」が選択されていないことに注意してください。

このタイプは内部メンテナンスであるため、サプライヤに発注する必要がありません。

［次へ］をクリックします。	
［依頼が使用する参照を変更する］ページ	
［依頼明細のリスト］リスト	PC1 - E500 1 1 PC2 - E500 (PC1 - MySupplier) PC2 - E500 1 000 USD 10%
［対応するカタログリファレンスのリスト］リスト	PC2 - E500 (PC1 - MySupplier) PC2 - E500 1 000 USD 10% 0 PC1 - MySupplier
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
［依頼明細のリスト］リスト	PC1 - コンピュータのインストール 1 1 PC2 - コンピュータのインストール（PC1 - MySupplier）PC2 - コンピュータのインストール 400 USD 10%
［対応するカタログリファレンスのリスト］リスト	PC2 - コンピュータのインストール（PC1 - MySupplier）PC2 - コンピュータのインストール 400 USD 10% 0 PC1 - MySupplier
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 依頼から作成された発注の詳細画面が表示されます。
5 発注に番号を割り当て、この見積用の依頼済見積を確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	見積済
番号（PONumber）	PC13 - PO001

6 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。
7 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注する

1 発注見積PC13 - PO001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。

5 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

1 発注PC13 - PO001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［受領］をクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
6 以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
割当（seAssignment）	使用中
ユーザ（User）	PC1 - 小林
使用開始日（dAssignment）	受領日

7 ［メンテナンス］タブを表示します。
8 作業指示「PC1 - コンピュータのインストール」の詳細画面を表示し、次のフィールドとリンクを確認します。

フィールドまたはリンク	値
報告日（dtNotif）	作業指示の作成の日付と時間
資産（Asset）	PC1 - Compaq PC1 - E500
依頼者（Requester）	PC1 - 小林

9 作業指示の詳細画面を閉じます。
10 作業指示「PC1 - コンピュータの接続」の詳細画面を表示します。
この作業指示は、作業指示の受領前に作成されましたが、次のリンクがまだ入力されていません。

フィールドまたはリンク	値
資産（Asset）	PC1 - Compaq PC1 - E500

11 作業指示の詳細画面を閉じます。
12 すべてのウィンドウを閉じます。

18 在庫の自動再発注

AssetCenterでは、在庫補充用に自動発注を作成する規則を設定することができます。

AssetCenter Serverでは、在庫規則がモニタされ、必要に応じて再発注明細が作成されます。

続いて、これらの依頼を探して調達サイクを通して処理するのは、ユーザの作業です。

▶マニュアル『ポートフォリオ』の「ポートフォリオ品目」の章、「在庫」の節。

19 リース

基本概念

AssetCenterでは、リース契約を使用して資産の取得を管理することができます。

リースの定義

リース契約はリース同意事項の説明です。このタイプの契約をファイナンス契約と呼ぶことがあります。

このタイプの契約は、長期にわたるレンタルの同意事項の書式です。賃貸料に対して資産を一定期間使用する権利を借主に与えます。

借主または顧客は、実際に所有することなく機器を完全に使用することができます。

借主は、賃貸する資産の法的な所有者である貸主に賃貸料を支払います。

AssetCenterによってリース資産の取得を管理する方法

リース契約は、［契約］（amContract）テーブルに記述されます。§§§§§

次に、リース契約を基準として、発注を作成できます。

リース契約のリンクは、次のいずれかの段階で確立されます。

段階	効果
依頼	依頼明細のデフォルトの動作を定義します。
依頼明細	依頼された品目がリース契約によって資金が供給されることを指定します。

警告:

]ファイナンス契約 発注明細レベルと依頼明細レベルの（AcquContract）フィールドは、考慮されません。

必要条件

リース契約の作成を可能にするためには、AssetCenterユーザライセンスによって契約モジュールにアクセスできる必要があります。

手順

資産の取得に資金を供給するために使用するリース契約を作成する

資産の取得に資金を供給するためにリース契約を作成するには

1. 契約を表示します（［契約／契約］メニュー）。
2. 新しい契約を作成します（［新規作成］ボタン）。
   特に、次の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
タイプ（seType）	リース明細
［全般］タブ	
支払属性（sePayType）	リストデータに表示されるその他の値
取得方法（seAcquMethod）	▪ レンタル ▪ リース
［リース］タブ	

フィールドまたはリンク	値
貸主（Lessor）	このリンクは、依頼、見積、および発注で使用されるサプライヤと同一である必要があります。
［資産(リース)］タブ	資産を直接作成しないでください。資産は、発注の受領時に作成されます。
［賃貸料］タブ	資産の受領前に賃貸料を作成しないでください。

リース契約によって資金が供給される資産の依頼を作成する

受領時に資産が直接リース契約にリンクされる依頼を作成するには

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 新規依頼を作成します（［新規作成］ボタン）。
3 依頼の詳細画面に入力します。
4 新規の依頼を保存します（［作成］ボタン）。
5 ［明細］タブを選択します。
6 資産の最初の依頼明細を追加します。
特に、次の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［ファイナンス］タブ	
リース明細にリンク（bUsesAcquCntr）	はい
ファイナンス契約（AcquContract）	ファイナンス契約の選択

7 作成された依頼明細を保存します（［追加］ボタン）。
8 依頼に加えられた変更を保存します（［変更］ボタン）。
9 資産をファイナンス契約にリンクするために、第2の依頼明細を追加します。
特に、次の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
契約の使用（bCntrUtilization）	はい
依頼する契約（UsedReqLineCntr）	このリンクは空白にします。
依頼する品目（UsedReqLineAsset）	資産に作成された依頼明細を選択します。

10 作成された依頼明細を保存します（［追加］ボタン）。

11 依頼に加えられた変更を保存します（［変更］ボタン）。

リース契約によって資金が供給される資産の見積、発注、および受領を作成する

調達サイクルの残りの部分については、一般的な例に従います。

受領する資産は、リース契約に関連付けられます。

リース契約によって資金が供給される資産の賃貸料を定義する

資産を受領した後は、マニュアル『契約』の記述に従って、賃貸料を作成し、資産を承認し、経費明細の取得を作成します。

20 契約

基本概念

調達サイクルを使用すると、資産の契約との関連を管理することができます。
既存の契約または取得予定の契約を参照することができます。
既存の資産または取得予定の資産を参照することができます。
可能性のある4つの組合せを以下に示します。

手順

既存の契約を既存の資産に関連付ける

1 新規依頼を作成します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［明細］タブを選択します。
3 依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	

フィールドまたはリンク	値
契約の使用（bCntrUtilization）	はい
依頼する契約 （UsedReqLineCntr）の右側にある アイコンをクリックします。	
使用契約（UsedContract）	資産に関連付ける契約を選択します。
［依頼する品目］（UsedReqLineAsset）フィールドの右側にあるアイコンをクリックします。	
使用資産（UsedAsset）	契約に関連付ける資産を選択します。

4 調達サイクルを続行します。

既存の契約を新規の資産に関連付ける

1 新規依頼を作成します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［明細］タブを選択します。
3 資産の依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
契約の使用（bCntrUtilization）	いいえ
モデル（Model）	新規資産のモデルを選択します。

4 契約の依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
契約の使用（bCntrUtilization）	はい
依頼する契約 （UsedReqLineCntr）の右側にある アイコンをクリックします。	
使用契約（UsedContract）	資産に関連付ける契約を選択します。
依頼する品目（UsedReqLineAsset）	新規資産の依頼明細を選択します。

5 調達サイクルを続行します。

新規の契約を既存の資産に関連付ける

1 新規依頼を作成します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［明細］タブを選択します。
3 依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
契約の使用（bCntrUtilization）	いいえ
モデル（Model）	既存の資産に関連付ける新規契約のモデルを選択します。
［依頼する品目］（UsedReqLineAsset）フィールドの右側にあるアイコンをクリックします。	
使用資産（UsedAsset）	契約に関連付ける資産を選択します。

4 調達サイクルを続行します。

新規契約を新規資産に関連付ける

1 新規依頼を作成します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［明細］タブを選択します。
3 資産の依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
契約の使用（bCntrUtilization）	いいえ
モデル（Model）	新規資産のモデルを選択します。

4 契約の依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［全般］タブ	
契約の使用（bCntrUtilization）	いいえ
モデル（Model）	新規契約のモデルを選択します。
依頼する品目（UsedReqLineAsset）	新規資産の依頼明細を選択します。

5 調達サイクルを続行します。

実用例14 - 契約

はじめに

この実用例は、契約を資産に関連付ける方法を示すことを目的としています。

4つの組合せ（既存または新規の契約、既存または新規の資産）が対象となります。

必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1: 適切な参照レコード [修献6]
- 実用例2: 単純カタログ [修献9]

シナリオ

以下のことを行います。

- 既存の契約「PC1 - メンテナンス契約」を既存の資産「PC1 - E500」」にリンクします。
- 既存の契約「PC1 - メンテナンス契約」を新規の資産「PC1 - 外付けCDライター」」にリンクします。
- 新規の契約「PC1 - 保証」を既存の資産「PC1 - E500」」にリンクします。
- 新規の契約「PC1 - 保証」を新規の資産「PC1 - 外付けCDライター」」にリンクします

作成

既存の資産の作成

1. 資産を表示します（［ポートフォリオ／資産とロット］メニュー）。
2. ［新規作成］をクリックします。
3. 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	PC1 - E500
［全般］タブ	
資産タグ（AssetTag）	PC14 - 001

4 資産の作成を確定します（［作成］ボタン）。
5 すべてのウィンドウを閉じます。

既存の契約の作成

1 契約を表示します（［契約／契約］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
リファレンス（Ref）	PC14 - 001
モデル（Model）	PC1 - メンテナンス契約
［全般］タブ	
会社（Company）	PC1 - MySupplier

4 契約の作成を確定します（［作成］ボタン）。
5 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

1 依頼を表示します（［調達／購入依頼］メニュー）。
2 ［新規作成］をクリックします。
3 新規依頼ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
［新規依頼］ページ	
カスタム依頼を新規作成する	はい
ウィザードの実行を確定します（［OK］ボタン）。	

4 新規依頼の詳細画面が表示されます。
5 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
目的	PC14 - 契約をポートフォリオ品目に関連付ける

フィールドまたはリンク	値
番号（amRequest）	PC14 - REQ001

6 依頼の作成を確定します（［作成］ボタン）。
7 ［明細］タブを選択します。
8 以下の表に示すようにフィールドとリンクを入力することによって、以下の依頼明細を追加します（［+］ボタン）。

フィールドまたはリンク	値
詳細（LineDesc）	契約PC14 - 001を資産PC14 - 001にリンク
［全般］タブ	
契約の使用（bCntrUtilization）	はい
依頼する契約 （UsedReqLineCntr）の右側にある アイコンをクリックします。	
使用契約（UsedContract）	PC14 - 001（PC1 - メンテナンス契約）
［依頼する品目］（UsedReqLineAsset）フィールドの右側にあるアイコンをクリックします。	
使用資産（UsedAsset）	PC1 - Compaq PC1 - E500 (PC14 - 001)

フィールドまたはリンク	値
詳細（LineDesc）	新規PC1 - 外付けCDライター
［全般］タブ	
契約の使用（bCntrUtilization）	いいえ
モデル（Model）	PC1 - 外付けCDライター
以下の依頼明細を作成可能にするには、まず依頼への変更を確定する必要があります（［変更］ボタン）。	

フィールドまたはリンク	値
詳細（LineDesc）	契約PC14 - 001を1 新規PC1 - 外付けCDライターに結び付ける
［全般］タブ	
契約の使用（bCntrUtilization）	はい
依頼する契約 （UsedReqLineCntr）の右側にある アイコンをクリックします。	
使用契約（UsedContract）	PC14 - 001（PC1 - メンテナンス契約）
依頼する品目（UsedReqLineAsset）	1 新規PC1 - 外付けCDライター

フィールドまたはリンク	値
詳細（LineDesc）	新規PC1 - 保証
［全般］タブ	
契約の使用（bCntrUtilization）	いいえ

フィールドまたはリンク	値
モデル（Model）	PC1 - 保証

フィールドまたはリンク	値
詳細（LineDesc）	「1 新規PC1 - 保証」を資産「PC14 - 001」にリンク
［全般］タブ	
契約の使用（bCntrUtilization）	はい
依頼する契約（UsedReqLineCntr）	1 新規PC1 - 保証
［依頼する品目］（UsedReqLineAsset）フィールドの右側にあるアイコンをクリックします。	
使用資産（UsedAsset）	PC1 - Compaq PC1 - E500 (PC14 - 001)

フィールドまたはリンク	値
詳細（LineDesc）	「1 新規PC1 - 保証」を「1 新規PC1 - 外付けCDライター」にリンク
［全般］タブ	
契約の使用（bCntrUtilization）	はい
依頼する契約（UsedReqLineCntr）	1 新規PC1 - 保証
依頼する品目（UsedReqLineAsset）	1 新規PC1 - 外付けCDライター

9 作成された依頼明細の詳細画面を閉じます。

10 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス（seStatus）	承認済

11 依頼の変更を確定します（［変更］ボタン）。

12 依頼の詳細画面を表示したままにします。

依頼から新規品目の発注を作成する

1 依頼PC14 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。

2 ［発注］ボタンをクリックします。

3 以下の表に示す値を発注の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
［明細を選択する］ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
明細をすべて含める	はい

フィールドまたはリンク	値
［次へ］をクリックします。	
［依頼が使用する参照を変更する］ページ	
［依頼明細のリスト］リスト	新規PC1 - 外付けCDライター 1 1 PC2 - 外付けCDライター（PC1 - MySupplier）PC2 - 外付けCDライター 150 USD 0%
［対応するカタログリファレンスのリスト］リスト	PC2 - 外付けCDライター (PC1 - MySupplier) PC2 - 外付けCDライター150 USD 0% 0 PC1 - MySupplier
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
［依頼明細のリスト］リスト	新規PC1 - 保証 1 1 PC2 - 保証（PC1 - MySupplier）PC2 - 保証 50 USD 0%
［対応するカタログリファレンスのリスト］リスト	PC2 - 保証（PC1 - MySupplier）PC2 - 保証 50 USD 0% 0 PC1 - MySupplier
［選択されたリファレンスを依頼に関連付ける］をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。	
ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。	

4 発注を使用して作成された発注の詳細画面が表示されます。
5 発注に番号を指定して、以下の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号（PONumber）	PC14 - PO001

6 これらの変更を確定します（［変更］ボタン）。
7 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注する

1 発注PC14 - PO001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［発注］ボタンをクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

1 発注PC14 - PO001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［受領］をクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。

5 発注から作成された資産の詳細画面がAssetCenterによって表示されます。
6 資産の詳細画面を閉じます。
7 発注の詳細画面を閉じます。
8 依頼の詳細画面を表示したままにします。

既存の契約のリンクを作成する

1 依頼PC14 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［実行］をクリックします。
3 ウィザードの実行を確定します（［終了］ボタン）。
4 ウィザードを終了します（［OK］ボタン）。
5 依頼の詳細画面を表示したままにします。

結果を確認する

1 依頼PC14 - REQ001の詳細画面が表示されることを確認します。
2 ［トラッキング］タブを選択します。
3 ［資産］の分岐点をクリックします。
4 新規資産PC1 - Compaq PC1 - 外付けCDライターが表示されます。これは、発注の受領時に作成されました。
5 資産「PC1 - Compaq PC1 - 外付けCDライター」を表示し、タブ［契約］を選択します。既存の契約「PC1 - メンテナンス契約」と受領された新規の契約「PC1 - 保証」のリンクが適切に作成されています。
6 資産の詳細画面を閉じます。
7 すべてのウィンドウを閉じます。
8 資産を表示します（［ポートフォリオ／資産とロット］メニュー）。
9 ［資産タグ］（AssetTag）フィールドが「PC14 - 001」に設定された資産の詳細画面が表示されます。
10 ［契約］タブを選択します。既存の契約「PC1 - メンテナンス契約」と受領された新規の契約「PC1 - 保証」のリンクが適切に作成されています。
11 すべてのウィンドウを閉じます。

パート III

付録

A 付録 用語解説

この用語解説では、調達モジュールで使用される主要な用語を定義します。

資産

［資産］テーブル内のレコードは、個々のトラッキングを必要とする重要な値のポートフォリオ品目です。

AssetCenterで、各資産はリンクされた2つのレコードに対応します。

- 最初のレコードは［ポートフォリオ品目］テーブル内にあります。
- 2つめのレコードは［資産］テーブル（［ポートフォリオ品目］テーブルのオーバーフローテーブル）内にあります。

作成されたポートフォリオ品目によって［資産］テーブルにレコードを作成するためには、このポートフォリオ品目のモデルの属性内で［管理条件］（seMgtConstraint）フィールドを「固定資産タグ」に設定する必要があります。

すべての資産がポートフォリオ品目であるとは言えますが、すべてのポートフォリオ品目が資産であるとは言えません。

関連する概念

- ポートフォリオ品目 [修敵18]
- 属性 [修敵22]
- モデル [修敵21]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

資産（amAsset）

カタログ

カタログは、サプライヤから取得可能なものを記述するために使用されます。

関連する概念

- 製品 [傳献23]
- カタログリファレンス [傳献24]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

カタログ（amCatalog）

分類規格

製品の分類に使用する規格。

関連する概念

- 分類コード [傳献14]

分類コード

製品の分類に使用される分類規格によって定義されるコード

関連する概念

- 分類規格 [傳献14]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

分類コード（amProdClassCode）

発注

発注には、任意のサプライヤから取得するカタログリファレンスのリストが含まれます。

発注と見積は同一テーブルに作成されます。［ステータス］（seStatus）フィールドによって、二者を区別します。

関連する概念

- 見積 [傳献17]
- 発注明細 [傳献20]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

発注（amOrder）

依頼テンプレート

発注するために使用できるモデル

関連する概念

- 発注 [傳献15]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

発注（amPOrder）

発注された品目を受領前に作成する

発注済みの品目を受領する前でも発注済みの品目に対応するレコードを作成することができます。

発注されたすべての製品属性に当てはまります。

これを行うと、これらの品目が発注されたらすぐにこれらの品目に対してビジネスプロセス（作業指示の計画、研修など）を開始することができます。

調達サイクル

調達サイクルは、次の段階を1つにつなぎ合わせます。

1 依頼 [傳献16]
2 見積 [傳献17]
3 発注 [傳献15]
4 受領 [傳献24]
5 請求書 [傳献19]

依頼

依頼を使用すると、必要な場合にモデルへの参照を作成しカタログリファレンスを使用することによって、要求を記述することができます。

発注の受領時に作成されるレコード間の階層リンクは、依頼明細間の階層リンクによって定義されます。

AssetCenterでは、購入依頼（［調達／購入依頼］メニューで作成）と社内依頼（［ポートフォリオ／社内依頼］メニューで作成）の間にわずかな違いがあります。

社内依頼と発注は、同じレコードで表されます。［調達／購入依頼］と［ポートフォリオ／社内依頼］メニューには、両方とも同じ依頼リストが表示されます。社内依頼の詳細画面には、［見積］と［発注］ボタンが含まれないという制限があります。

これらの違いにより、調達モジュール（つまり［調達］メニュー）にアクセスできないがポートフォリオモジュールにアクセスできるユーザが依然として［ポートフォリオ／社内依頼］メニューを使用して依頼を作成することができます。

関連する概念

- 依頼明細 [傳献19]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

依頼（amRequest）

依頼テンプレート

依頼を作成するために使用できるモデル

関連する概念

- 依頼 [傳献16]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

依頼（amRequest）

見積

見積を使用すると、実際に行われる発注を記述することができます。

発注と見積は同一テーブルに作成されます。［ステータス］（seStatus）フィールドによって、二者を区別します。

通常、見積は依頼から作成されます。

例外として、依頼を作成せずに見積を作成できます。

この場合、見積内の［発注］ボタンをクリックすると、依頼が自動的に作成されます。

関連する概念

- 発注 [傳献15]
- 発注明細 [傳献20]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

発注（amOrder）

ポートフォリオ品目

［ポートフォリオ品目］テーブル内のレコードは、その任意管理項目を継承する元のモデルに基づきます。

ポートフォリオ品目の値に応じて、ポートフォリオ品目が基づくモデルの属性のレベルで管理条件が選択されます。

この条件により、各品目を資産、ロット、またはトラッキングされないロットとして作成することができます。

ポートフォリオ品目のモデルの属性に指定されたオーバーフローテーブルに応じて、［ポートフォリオ品目］テーブルに作成されたレコードがリンクされたレコードと共に次のいずれかのテーブルに作成されます。

- 資産テーブル
- コンピュータテーブル
- 電話テーブル
- ソフトウェアのインストールテーブル

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

ポートフォリオ品目（amPortfolio）

実行

この手順は、発注が作成されることにならない依頼から品目を作成するために使用します。

- 内部メンテナンスタイプの作業指示
- 契約をポートフォリオ品目にリンクする

請求書

請求書を使用すると、サプライヤからの請求を記録することができます。
請求書を作成する最も理にかなった方法は、受領の詳細から作成する方法です。

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

請求書（amInvoice）

オプショングループ

オプショングループは、発注内で製品を選択するときのオプションのグループです。
例: オプション3-doorと5-doorが含まれるドアの数グループ

依頼明細

依頼は、依頼明細で構成されます。
各依頼明細は、任意のモデルと関係があり、このモデルに基づいて要求が記述されます。

関連する概念

- 依頼 [倏敵16]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

依頼明細（amReqLine）

発注明細

発注は、発注明細で構成されます。

各発注明細は、任意のカタログリファレンスに関係があり、このリファレンスの取引条件が記述されます。

関連する概念

- 発注 [傳献15]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

発注明細（amPOrdLine）

見積明細

見積は発注明細で構成されます。

各発注明細は、任意のカタログリファレンスに関係があり、このリファレンスの取引条件が記述されます。

関連する概念

- 見積 [傳献17]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

発注明細（amPOrdLine）

請求明細

請求書は、請求明細で構成されます。

各発注明細は、任意のカタログリファレンスに関係があり、カタログリファレンスがサプライヤによって請求された方法が記述されます。

関連する概念

- 請求書 [傳献19]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

請求明細（amInvoiceLine）

受領明細

受領は受領明細で構成されます。

各受領明細は、任意のカタログリファレンスに関係があり、カタログリファレンスが受領された方法が記述されます。

関連する概念

- 受領 [傳献24]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

受領明細（amReceiptLine）

モデル

［モデル］テーブルのレコードによって、以下のテーブルにレコードを作成することができます。

- ポートフォリオ品目

  ポートフォリオ品目の作成は、以下のいずれかのオーバーフローテーブルにレコードを同時作成することを伴う場合があります。
  - 資産テーブル
  - コンピュータテーブル
  - 電話テーブル
  - ソフトウェアのインストールテーブル
- 作業指示
- 契約

- 研修
- ケーブル

これらの品目のいずれかを作成する時に、その基となるモデルを指定する必要があります。モデル用に入力するデータは、その品目のレコード内に自動的に複製されます。例えば、コンピュータのCPUタイプ、適用税額、契約期間などです。

［モデル］テーブルの階層構造によって、ポートフォリオを系統立てることができます。詳細に限定されたサブモデルを含む汎用モデルを作成することを推奨します。例えば、プリンタ/レーザプリンタ/Lasterjetプリンタ8000DNなどです。

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

モデル（amModel）

属性

［属性］テーブルのレコードによって、モデルで作成可能な品目タイプが決まります。モデルを作成する時に、属性を指定する必要があります。モデルはこの特定の属性に基づきます。

属性は以下のモデルで使用できます。

- ポートフォリオ品目
- 作業指示
- 契約
- 研修
- ケーブル

属性を作成する時に、この属性に基づくモデルに影響するいくつかのパラメータを定義します。例えば、［管理条件］フィールド（seMgtConstraint）を個別管理しないに設定することにより、［資産］テーブルにレコードがないポートフォリオ品目のモデルを作成できます。

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

属性（amNature）はい

オプション

オプションのコンポーネントは、製品の発注時に使用可能です。
オプションは、オプショングループにまとめられます。

関連する概念

- オプショングループ [修敵19]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

オプション（amProdOption）

製品

製品は、取得できる品目、品目セット、またはサービスです。
任意の製品を複数のサプライヤからさまざまな条件で取得可能で、カタログリファレンスの書式で記述されます。
例: 製品「HP VECTRA VL 800」は、Microカタログ内のリファレンスとして使用可能で、Directカタログ内でも参照されます。
製品は、単一オブジェクト（CPU）またはオブジェクトのセット（コンピュータ設定）に対応します。

関連する概念

- カタログリファレンス [修敵24]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

製品（amProduct）

返却

オブジェクトを受領後にサプライヤに返却することで構成される操作。

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

受領（amReceipt）

受領

商品の配達またはサービスの受領を認識し登録することで構成される処理。

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

受領（amReceipt）

カタログリファレンス

カタログリファレンスには、任意のサプライヤでの任意の製品の取引条件が記述されます。
カタログリファレンスは、カタログ内にまとめられます。

関連する概念

- カタログ [修献14]

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

カタログリファレンス (amCatRef)

予約

AssetCenterでは、以下を予約できます。

- 既に在庫にあるポートフォリオ品目
- 発注する予定のポートフォリオ品目

ポートフォリオ品目は、受領時に依頼明細レベルで予約されます。

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

予約（amReservation）

オーバースペック

複数の変数を使用する依頼定義の方法。
例: ケーブルの依頼は、ケーブルの長さと直径で定義されます。

計量単位

パッケージされた製品を表示する単位

これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベーステーブル

単位（amUnit）

B 付録 参考情報

メニューとタブ

調達モジュールで扱われるデータは、次のメニュー、タブ、リスト、およびフィールドによりアクセス可能です。

表 B.1. メニューとタブ - リスト

サブメニュー	メニューでアクセスするテーブル（テーブル名とSQL名）	調達モジュール専用のタブ	重要なフィールドまたはリンク（タブ以外）	使用	参照するマニュアルの節
［ファイル］メニュー					

サブメニュー	メニューでアクセスするテーブル（テーブル名とSQL名）	調達モジュール専用のタブ	重要なフィールドまたはリンク（タブ以外）	使用	参照するマニュアルの節
モジュールの起動	N/A	N/A	N/A	ライセンスファイルによって許可されるならば、調達で必要になるモジュールを有効または無効にすることができます。 これは、以下のメニューをアプリケーション内に表示できない場合に使用するメニューです。	準備段階 [修敵1]
［調達］メニュー					
カタログ	カタログ（amCatalog）	すべて	すべて	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ カタログ [修敵3] ▪ カタログ [修敵5]
リファレンス	カタログリファレンス（amCatRef）	すべて	すべて	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ カタログ [修敵3] ▪ カタログ [修敵5]
製品	製品（amProduct）	すべて	すべて	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ カタログ [修敵3] ▪ カタログ [修敵5]

サブメニュー	メニューでアクセスするテーブル（テーブル名とSQL名）	調達モジュール専用のタブ	重要なフィールドまたはリンク（タブ以外）	使用	参照するマニュアルの節
購入依頼	▪ 依頼 (amRequest) ▪ 依頼明細 (amRequline)	すべて	すべて	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ 調達サイクル [修正 25] ▪ 調達サイクル [修正 59] ▪ 依頼 [修正 67]
発注と見積	▪ 発注 (amOrder) ▪ 発注明細 (amPOline)	すべて	すべて	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ 調達サイクル [修正 25] ▪ 調達サイクル [修正 59] ▪ 見積 [修正 79] ▪ 発注 [修正 85]
受領	▪ 受領 (amReceipt) ▪ 受領明細 (amRecpline)	すべて	すべて	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ 調達サイクル [修正 25] ▪ 調達サイクル [修正 59] ▪ 受領、実行、作成、返却 [修正 97]
サプライヤの請求書	▪ 請求書 (amInvoice) ▪ 請求明細 (amInvoiceline)	すべて	すべて	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ 調達サイクル [修正 25] ▪ 調達サイクル [修正 59] ▪ 請求書 [修正 109]
［ケーブル］メニュー					

サブメニュー	メニューでアクセスするテーブル（テーブル名とSQL名）	調達モジュール専用のタブ	重要なフィールドまたはリンク（タブ以外）	使用	参照するマニュアルの節
ケーブル	ケーブル（amCable）	調達	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ 調達サイクル [修正25] ▪ 調達サイクル [修正29] ▪ 受領、実行、作成、返却 [修正37]
ケーブルデバイス	資産（amAsset）	取得	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ 調達サイクル [修正25] ▪ 調達サイクル [修正29] ▪ 受領、実行、作成、返却 [修正37]
［契約］メニュー					
▪ 契約 ▪ 一括発注 ▪ マスターリース ▪ リース明細	契約（amContract）	調達	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	受領、実行、作成、返却 [修正37]
［ポートフォリオ］メニュー					
属性	属性（amNature）	なし	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	適切な参照レコード [修正35]

サブメニュー	メニューでアクセスするテーブル（テーブル名とSQL名）	調達モジュール専用のタブ	重要なフィールドまたはリンク（タブ以外）	使用	参照するマニュアルの節
ポートフォリオ品目	ポートフォリオ品目（amPortfolio）	取得	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ 調達サイクル [修正 25] ▪ 調達サイクル [修正 59] ▪ 受領、実行、作成、返却 [修正 97]
資産	資産（amAsset）	取得	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ 調達サイクル [修正 25] ▪ 調達サイクル [修正 59] ▪ 受領、実行、作成、返却 [修正 97]
作業指示	作業指示（amWorkOrder）	取得	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ 調達サイクル [修正 25] ▪ 調達サイクル [修正 59] ▪ 受領、実行、作成、返却 [修正 97]
依頼テンプレート	依頼（amRequest）	すべて	すべて	このテーブルのレコードを参照して編集します。	依頼テンプレートから新規依頼を作成する [修正 68]

サブメニュー	メニューでアクセスするテーブル（テーブル名とSQL名）	調達モジュール専用のタブ	重要なフィールドまたはリンク（タブ以外）	使用	参照するマニュアルの節
社内依頼	依頼 (amRequest)	すべて	すべて	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ 調達サイクル [修献25] ▪ 調達サイクル [修献59] ▪ 依頼 [修献67]
サプライヤ	会社 (amCompany)	▪ カタログ ▪ 支払	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	はじめに [修献36]
研修会	研修 (amTraining)	購入	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	▪ 調達サイクル [修献25] ▪ 調達サイクル [修献59] ▪ 受領、実行、作成、返却 [修献97]
在庫	在庫 (amStock)	▪ 管理 ▪ 自動依頼	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	??? [修献195]
［ツール］メニュー					
アクション/編集	アクション (amAction)	なし	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	アクションとウィザード [修献243]

サブメニュー	メニューでアクセスするテーブル（テーブル名とSQL名）	調達モジュール専用のタブ	重要なフィールドまたはリンク（タブ以外）	使用	参照するマニュアルの節
アクション/<アクション名>	N/A	N/A	N/A	コンテキスト型でないか、コンテキストが有効になっているアクションを提示します。 選択したアクションをトリガすることができます。	アクションとウィザード [修敵43]
ツールバーのカスタマイズ	N/A	N/A	N/A	アイコンをツールバーに追加するかツールバーから削除できます。	ツールバーのアイコン [修敵34]
レポート機能/レポート	レポート（amReport）	なし	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	レポートと書式 [修敵47]
レポート機能/書式	内部用書式（amForm）	なし	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	レポートと書式 [修敵47]
ツール/ワークフロー/ワークフローチャート	ワークフローチャート（amWfScheme）	なし	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	ワークフローチャート [修敵52]
［管理］メニュー					
リストデータ	リストデータ（amItemizedList）	なし	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	リストデータ [修敵40]
カウンタ	カウンタ（amCounter）	なし	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	カウンタ [修敵43]

サブメニュー	メニューでアクセスするテーブル（テーブル名とSQL名）	調達モジュール専用のタブ	重要なフィールドまたはリンク（タブ以外）	使用	参照するマニュアルの節
特殊フィールド	特殊フィールド（amCalcField）	なし	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	特殊フィールド [修敵41]
単位	単位（amUnit）	なし	なし	このテーブルのレコードを参照して編集します。	計量単位 [修敵43]
画面一覧	N/A	N/A	N/A	現在のメニューではアクセスできないテーブルにアクセスできます。 これらのテーブルは、実際には変更できるように設計されなかったので、このタスクは、管理者に予約されています。	

ツールバーのアイコン

ツールバーに表示されるアイコンの中には、調達モジュールに固有のものがいくつかあります。

アイコンのリストを表示して、ツールバーに追加するには、次の手順に従います。

1 ［ツール／ツールバーのカスタマイズ］メニューを選択します。
2 ［ツール］タブを選択します。
3 ［カテゴリ］リストで［調達］を選択します。

ツールバーのカスタマイズに関する詳細は、マニュアル『はじめに』の「ユーザのコンピュータでAssetCenterをカスタマイズする」の章、「ツールバーをカスタマイズする」の節を参照してください。

インタフェースのオプション

インタフェースのオプションの中には、調達モジュールに固有のものがいくつかあります。

オプションを表示、変更するには、次の手順に従います。

1 ［編集／オプション］メニューを選択します。

2 ［調達］ノードを開きます。

インタフェースのオプションに関する詳細は、マニュアル『はじめに』の「ユーザのコンピュータでAssetCenterをカスタマイズする」の章「一般的なオプション」の節を参照してください。

テーブル

調達モジュールでは、多数のテーブルを使用します。

調達モジュールで使用するテーブルの一覧は以下のとおりです。

表 B.2. テーブル - 一覧

テーブル名	テーブルのSQL名	テーブルの表示に使用するメニュー	参照するマニュアルの節
調達モジュールに限定してリンクされているテーブル			
カタログ	amCatalog	調達/カタログ	▪ カタログ [修能3] ▪ カタログ [修能5]
カタログリファレンス	amCatRef	調達／リファレンス	▪ カタログ [修能3] ▪ カタログ [修能5]
カタログリファレンスのスクリプト	amCatRefScript	管理/画面一覧	

テーブル名	テーブルのSQL名	テーブルの表示に使用するメニュー	参照するマニュアルの節
カタログのフォーマットデータ	amCatScriptData	管理/画面一覧	
製品	amCatProduct	調達/製品	■ カタログ [修南23] ■ カタログ [修南45]
オプション	amProdOption	管理/画面一覧	オプション [修南46]
依頼	amRequest	調達/購入依頼	■ 調達サイクル [修南25] ■ 調達サイクル [修南59] ■ 依頼 [修南67]
依頼明細	amReqLine	調達/購入依頼	■ 調達サイクル [修南25] ■ 調達サイクル [修南59] ■ 依頼 [修南67]
発注	amPOrder	調達/発注と見積	■ 調達サイクル [修南25] ■ 調達サイクル [修南59] ■ 見積 [修南79] ■ 発注 [修南85]
発注明細	amPOrdLine	調達/発注と見積	■ 調達サイクル [修南25] ■ 調達サイクル [修南59] ■ 見積 [修南79] ■ 発注 [修南85]
受領	amReceipt	調達/受領	■ 調達サイクル [修南25] ■ 調達サイクル [修南59] ■ 受領、実行、作成、返却 [修南97]
受領明細	amReceiptLine	調達/受領	■ 調達サイクル [修南25] ■ 調達サイクル [修南59] ■ 受領、実行、作成、返却 [修南97]
受領品	amItemReceived	管理/画面一覧	■ 調達サイクル [修南25] ■ 調達サイクル [修南59] ■ 受領、実行、作成、返却 [修南97]
交換された資産	amRelAstReplReq	管理/画面一覧	交換 [修南179]
サプライヤの請求書	amInvoice	調達/サプライヤの請求書	■ 調達サイクル [修南25] ■ 調達サイクル [修南59] ■ 請求書 [修南109]

テーブル名	テーブルのSQL名	テーブルの表示に使用するメニュー	参照するマニュアルの節
請求明細	amInvoiceLine	調達/サプライヤの請求書	■ 調達サイクル [修献25] ■ 調達サイクル [修献39] ■ 請求書 [修献109]
予約	amReservation	管理/画面一覧	予約 [修献165]
支払用カードのタイプ	amPCardType	管理/画面一覧	
支払用カード	amPCard	管理/画面一覧	
調達モジュールに間接的にリンクされるテーブル			
属性	amNature	ポートフォリオ/属性	適切な参照レコード [修献35]
モデル	amModel	ポートフォリオ/モデル	適切な参照レコード [修献35]
サプライヤ	amCompany	ポートフォリオ/会社	適切な参照レコード [修献35]
場所	amLocation	ポートフォリオ/場所	適切な参照レコード [修献35]
従業員	amEmplDept	ポートフォリオ/従業員と部署	適切な参照レコード [修献35]
在庫	amStock	ポートフォリオ/在庫	適切な参照レコード [修献35]
在庫規則	amStockRule	ポートフォリオ/在庫	適切な参照レコード [修献35]
単位	amUnit	管理/単位	計量単位 [修献143]
コストセンタ	amCostCenter	ファイナンス/コストセンタ	適切な参照レコード [修献35]
コストカテゴリ	amCostCategory	ファイナンス/コストカテゴリ	適切な参照レコード [修献35]
税金の計算式	amTaxFormula	計算式	
税区分	amTaxJuris	税区分と税率	
契約	amContract	契約/契約	■ 調達サイクル [修献25] ■ 調達サイクル [修献39] ■ 受領、実行、作成、返却 [修献97]
資産	amAsset	ポートフォリオ/資産とロット	■ 調達サイクル [修献25] ■ 調達サイクル [修献39] ■ 受領、実行、作成、返却 [修献97]

テーブル名	テーブルのSQL名	テーブルの表示に使用するメニュー	参照するマニュアルの節
ポートフォリオ品目	amPortfolio	ポートフォリオ/ポートフォリオ品目	■ 調達サイクル [傍線25] ■ 調達サイクル [傍線59] ■ 受領、実行、作成、返却 [傍線97]
作業指示	amWorkOrder	ポートフォリオ/作業指示	■ 調達サイクル [傍線25] ■ 調達サイクル [傍線59] ■ 受領、実行、作成、返却 [傍線97]
研修会	amTraining	ポートフォリオ/研修	■ 調達サイクル [傍線25] ■ 調達サイクル [傍線59] ■ 受領、実行、作成、返却 [傍線97]
ケーブル	amCable	ケーブル/ケーブル	■ 調達サイクル [傍線25] ■ 調達サイクル [傍線59] ■ 受領、実行、作成、返却 [傍線97]

テーブル間の依存関係

調達モジュールでは、AssetCenterデータベースの数多くのテーブルを使用します。これらのテーブル間には多数のリンクが存在します。従って、テーブルの入力順を最適化することをお勧めします。

以下で記述する入力順に従う必要は必ずしもありません。AssetCenterでは、リンクするテーブルで欠けているレコードを必要に応じて作成することができます。

ヒント:

発注手順を開始する前に、まず製品、カタログ、およびカタログリファレンスを作成することをお勧めします。

以下の表で、リンクされているテーブルの一覧とレコードの能率的な入力順を示します。

本マニュアルで記述したシナリオ例では、以下の入力順に従って操作が進められています。

また調達モジュールに直接関連する補助テーブルは除外されています。主要テーブルにレコードが作成されると、これらのテーブルにも自動的に値が入力されます。

表 B.3. テーブル間の依存関係 - 表

テーブル（テーブル名とSQL名）	前もって入力する必要のあるテーブル（テーブル名とSQL名）
リポジトリ	
コストセンタ（amCostCenter）	
コストカテゴリ (amCostCategory)	
税金の計算式（amTaxFormula）	
税区分（amTaxJuris）	
属性（amNature）	
メーカ（amBrand）	
モデル（amModel）	▪ 属性（amNature） ▪ メーカ（amBrand） ▪ コストカテゴリ (amCostCategory) ▪ コストセンタ（amCostCenter）
従業員（amEmplDept）	
会社（amCompany）	
契約（amContract）	会社（amCompany）
ポートフォリオ品目（amPortfolio）	
▪ 在庫(amStock) ▪ 在庫規則（amStockRule）	
支払用カードのタイプ（amPCardType）	
支払用カード（amPCard）	
カタログ	
カタログ（amCatalog）	会社（amCompany）
オプション（amProdOption）	
製品（amCatProduct）	▪ メーカ（amBrand） ▪ モデル（amModel） ▪ オプション（amProdOption）
分類コード（amProdClassCode）	
カタログリファレンス (amCatRef)	▪ カタログ（amCatalog） ▪ 製品（amCatProduct） ▪ 分類コード（amProdClassCode）
調達サイクル	

テーブル（テーブル名とSQL名）	前もって入力する必要のあるテーブル（テーブル名とSQL名）
■ 依頼（amRequest） ■ 依頼明細（amReqLine）	■ モデル（amModel） ■ 単位（amUnit） ■ 従業員（amEmplDept） ■ 契約（amContract） ■ 在庫（amStock） ■ ポートフォリオ品目（amPortfolio）
■ 発注（amOrder） ■ 発注明細（amPOrdLine）	■ 依頼（amRequest） ■ 依頼明細（amReqLine） ■ カタログリファレンス (amCatRef)
■ 受領（amReceipt） ■ 受領明細（amReceiptLine）	■ 発注（amOrder） ■ 発注明細（amPOrdLine）
■ 請求書（amInvoice） ■ 請求明細（amInvoiceLine）	■ 受領（amReceipt） ■ 受領明細（amReceiptLine）

リストデータ

フィールドに値を入力する際に、リストから値を選択する場合があります（リストデータ）。

［管理／リストデータ］メニューを選択して［リストデータ］（amItemizedList）テーブルを表示します。

調達モジュールでは、以下のリストデータを使用します。

表 B.4. リストデータ - 一覧

リストデータ識別子	リストデータを使用して入力されるフィールド（フィールド名とSQL名）	フィールドがあるテーブル（テーブル名とSQL名）
amCertification	承認（Certification）*	製品（amCatProduct）
amCertification	承認（Certification）*	カタログリファレンス (amCatRef)
amCertification	承認（Certification）*	発注（amOrder）
amCertification	承認（Certification）*	依頼（amRequest）
amDelivLinStatus	ステータス（Status）	受領明細（amReceiptline）
amInvLineStatus	ステータス（Status）	請求明細（amInvoiceLine）
amInvoiceStatus	ステータス（Status）	請求書（amInvoice）
amInvoiceType	タイプ（Invoice Type）	請求書（amInvoice）

リストデータ識別子	リストデータを使用して入力されるフィールド（フィールド名とSQL名）	フィールドがあるテーブル（テーブル名とSQL名）
amLanguage	言語（Language）	発注（amOrder）
amOrdLineStatus	ステータス（Status）	発注明細（amPOrdLine）
amOrdPriority	優先度（Priority）	発注（amOrder）
amOrdStatus	ステータス（Status）	発注（amOrder）
amOrdType	タイプ（Type）	発注（amOrder）
amPackaging	パッケージング（Packaging）	製品（amCatProduct）
amProdClass	分類（ProdClass）	分類コード（amProdClassCode）
amProdClass	分類（ProdClass）	カタログ（amCatalog）
amReqLineStatus	ステータス（Status）	依頼明細（amReqLine）
amReqPriority	優先度（Priority）	依頼（amRequest）
amReqStatus	ステータス（Status）	依頼（amRequest）
amReqType	タイプ（Type）	依頼（amRequest）
amRetReason	返却理由（RetReason）	受領（amReceipt）
amShipMode	輸送方法（ShipMode）	発注（amOrder）
amTransMethod	発送（TransMethod）	請求書（amInvoice）
amTransMethod	発送（TransMethod）	発注（amOrder）
amWarrCond	条件（WarrCond）	製品（amCatProduct）

リストデータの詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「リストデータ」の章を参照してください。

特殊フィールド

調達モジュールでは、特定の特殊フィールドを使用します。

これらの特殊フィールドは、特定のフィールドのデフォルト値でリストを表示するために使用されています。

［管理／特殊フィールド］メニューを選択して［特殊フィールド］（SQL名：amCalcField）テーブルを表示します。

調達モジュールに直接関連する特殊フィールドは以下のとおりです。

表 B.5. 特殊フィールド - 一覧

特殊フィールドのテーブル名とSQL名	特殊フィールドのコンテキストとして使用されるテーブルのテーブル名とSQL名	特殊フィールドを使用するテーブルのテーブル名とSQL名	使用
既存の見積 (BsPrcur_AvEstm)	依頼明細 (amReqLine)		この特殊フィールドには、サプライヤの名前とモデルの価格が返されます。
価格 (SysCoeCaRefPrc)	カタログリファレンス (amCatRef)	amCatRef	この特殊フィールドには、カタログリファレンスの価格とカタログの通貨が連結されます。
残数 (BsPrcur_QtPendrg)	発注明細 (amPOrdLine)		この特殊フィールドには、配達される残りの量が返されます。
残数 (BsPrcur_QtPendrg)	依頼明細 (amReqLine)		この特殊フィールドには、在庫内の予約済みポートフォリオ品目を考慮に入れた未配達の残数が返されます。
単位 (sysCoePdLineUnt)	発注明細 (amPOrdLine)	amPOrdLine	この特殊フィールドには、カタログリファレンスまたはパッケージング製品の発注単位の記号が返されます。
単位 (sysCoePrcdUnt)	製品 (amCatProduct)	▪ amInvoiceLine ▪ amCatRef	この特殊フィールドには、発注単位またはパッケージングの記号が表示されます。

上記の特殊フィールドは、カスタマイズ可能です。

特殊フィールドの詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「特殊フィールド」の章を参照してください。

スクリプトの詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「スクリプト」の章を参照してください。

APIの使用に関する情報は、マニュアル『プログラマーズリファレンス』を参照してください。

カウンタ

調達モジュールでは、以下のカウンタを使用します。

これらのカウンタは、特定のフィールドのデフォルト値で使用されています。

［管理／カウンタ］メニューを選択して［カウンタ］（SQL名：amCounter）テーブルを表示します。

調達モジュールに直接関連するカウンタは以下のとおりです。

表 B.6. カウンタ - 一覧

カウンタのSQL名	カウンタを使用するテーブル（テーブル名とSQL名）	カウンタを使用するフィールド（フィールド名とSQL名）
amCatalog_Code	カタログ（amCatalog）	コード（Code）
amDeliv_Number	受領（amReceipt）	番号（ReceiptNumber）
amInvoice_InvoiceNumber	請求書（amInvoice）	番号（InvoiceNumber）
amItemReceived_ItemNo	受領品（amItemReceived）	項目番号（ItemNo）
amPOrder_PONumber	発注（amOrder）	番号（PONumber）
amPOrdLine_ItemNo	発注明細（amPOrdLine）	項目番号（ItemNo）
amReqLine_ItemNo	依頼明細（amReqLine）	項目番号（ItemNo）
amRequest_ReqNumber	依頼（amRequest）	番号（amRequest）
amResa_ItemNo	予約（amReservation）	番号（ItemNo）

カウンタの詳細については、マニュアル『管理』の「データベースのカスタマイズ」の章、「フィールドのデフォルト値のカウンタ」の節を参照してください。

アクションとウィザード

調達モジュールでは、一般的なタスクを自動化するためにアクションを使用します。

［ツール／アクション／編集］メニューを選択して［アクション］（SQL名：amAction）テーブルを表示します。

以下のフィールドの1つを使ってシンプルフィルタを適用すると、調達モジュールに関連するアクションを容易に検索できます。

- ドメイン（［ドメイン］）：値/調達/を検索します。
- 属性（［属性］）：値STD-PROCURおよびBST_PROCURを検索します。

調達モジュールに直接関連するアクションは以下のとおりです。

表 B.7. アクションとウィザード - 一覧

アクション名	アクションのSQL名	アクションのタイプ	アクションのコンテキスト（テーブルのSQL名）	参照するマニュアルの節
依頼にモデルを追加する	sysProcRequestAddModel	ウィザード	依頼 (amRequest)	［追加］ボタンを使用して依頼明細を追加する [修献2]
新規依頼	sysProcRequestNew	ウィザード	依頼 (amRequest)	依頼 [修献7]
依頼の追加	sysProcRequestAddTemplate	ウィザード	依頼 (amRequest)	［+］ボタンを使用して依頼明細を追加する [修献3]
発注の作成	sysProcRequestGenPOrder	ウィザード	依頼 (amRequest)	依頼テンプレートから新規の発注を作成する [修献7]
発注を作成しない品目を作成する	sysProcRequestExecute	ウィザード	依頼 (amRequest)	依頼を実行する [修献8]
発注する	sysProcPOrderTransmit	ウィザード	発注 (amOrder)	見積を発注に変換する [修献6]
ある発注を使って発注に入力する	sysProcPOrderAddTemplate	ウィザード	発注 (amOrder)	発注テンプレートから作り出された見積明細を追加する [修献2]
カタログリファレンスを使って発注を完成	sysProcPOrderAddCatRef	ウィザード	発注 (amOrder)	［カタログリファレンス］ボタンを使用して見積明細を追加する [修献1]
納品待ちのポートフォリオ品目を作成する	sysProcPOrderExec	ウィザード	発注 (amOrder)	実用例7 - 発注された品目を受領前に作成する [修献103]
カタログ外リファレンスを作成する	sysProcPOrderOffCatalog	ウィザード	テーブルなし	見積のサプライヤにカタログリファレンスがないモデルの見積明細を追加する [修献1]
受領	sysProcPOrderReceipt	ウィザード	発注 (amOrder)	発注品目を受領する [修献100]

アクション名	アクションのSQL名	アクションのタイプ	アクションのコンテキスト（テーブルのSQL名）	参照するマニュアルの節
この発注の新規バージョンを作成します。	sysProcPOrderVersion	スクリプト	発注（amOrder）	発注の新規バージョンを作成する [修離8]
返却	sysProcReceiptReturn	ウィザード	受領（amReceipt）	受領品目を返却する [修離102]
請求書の作成	sysProcReceiptInvoice	ウィザード	受領（amReceipt）	受領から請求書を作成する [修離10]

アクションの詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「アクション」の章を参照してください。

スクリプトの詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「スクリプト」の章を参照してください。

APIの使用に関する情報は、マニュアル『プログラマーズリファレンス』を参照してください。

新しいアクションを作成したり、既存のアクションをカスタマイズすることができます。

AssetCenter Serverモジュール

調達モジュールでは、以下のAssetCenter Serverモジュールを使用します。

- 受領品に対応する資産、消耗品などの作成（Delivery）
- 実行グループ'BST_PROCUR'にワークフロー規則を適用（WkGroupBST_PROCUR）
- 実行グループ'STD_PROCUR'にワークフロー規則を適用（WkGroupSTD_PROCUR）
- 在庫の検証（Stock）

これらのモジュールの詳細については、マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節を参照してください。

システムデータと業務データ

AssetCenterは、以下の標準データパッケージと共に提供されています。

これらのデータパッケージは、以下のグループに分類できます。

- システムデータ：AssetCenterの使用に不可欠なデータ
- 専門分野データ：必要に応じて、実際のデータベースに挿入するデータ
  このデータは、機能別に分類されています。
- サンプルデータ：AssetCenterの使用に慣れるために便利なデータ

調達モジュールに関連するシステムデータ

システムデータは、調達モジュールに関連する以下のテーブルのデータを含んでいます。

- 特殊フィールド（amCalcField）
- 通貨（amCurrency）
- 為替レート（amCurRate）
- ［アクション］テーブル

調達モジュールに関連するシステムデータは、AssetCenterと共にインストールされるデモ用データベースに自動的に含まれます。

調達モジュールに関連するシステムデータは、実際のデータベースに自動的に追加されます。

調達モジュールに関連する専門分野データ

専門分野データは、調達モジュールに関連する以下のデータを含んでいます。

- 任意管理項目クラス
- 任意管理項目
- 任意管理項目パラメータ
- アクション
- ワークフロー
- 特殊フィールド

調達モジュールに関連する専門分野データは、AssetCenterと共にインストールされるデモ用データベースに自動的に含まれます。

調達モジュールに関連する専門分野データを実際のデータベースでも使用するには、AssetCenter Database Administratorでこれを指定する必要があります。

▶ 準備段階 [修離1]

レポートと書式

AssetCenterは、調達モジュールの書式とレポートと共に提供されています。

レポートと書式をデータベースで使用するには、AssetCenter Database Administratorを使ってインポートを行う必要があります。

調達モジュール専用のレポートをインポートおよび識別する

レポートのインポートについては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「Crystal Reports」の章、「レポート作成プログラムの操作とインストール／既製のCrystal Reportsレポートを実際に使用するデータベースにインストールする」の節を参照してください。

調達モジュール専用のレポートを識別するには、以下の手順を行います。

1 レポートのリストを表示します（［ツール／レポート機能／レポート］）。
2 リストを右クリックします。
3 ショートカットメニューから［リストの設定］を選択します。
4 ドメインリンク（Domain）をリスト内の列に追加します。
5 ［OK］をクリックします。
6 ［ドメイン］列のリストを並べ替えします。
7 調達モジュールに属するレポートは、ドメイン/カタログ/レポート/によって特定されます。

調達モジュール専用の書式をインポートおよび識別する

書式のインポートについては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「書式」の章、「既製の書式を実際に使用するデータベースにインストールする」の節を参照してください。

調達モジュール専用の書式をインポート後に識別するには、以下の手順を行います。

1 書式のリストを表示します（［ツール／レポート機能］）。
2 リストを右クリックします。
3 ［リストの設定］を選択します。
4 ドメインリンク（Domain）をリスト内の列に追加します。
5 ［OK］をクリックします。
6 ［ドメイン］列のリストを並べ替えします。
7 調達モジュールに属する書式は、ドメイン/調達/書式/によって特定されます。

自動プロセス

ここでは、依頼、見積、発注の各詳細画面で自動的に入力されるフィールドについて説明します。

内容は次のとおりです。

- 自動処理機能
- 依頼情報の更新

注意:

AssetCenterがバックグラウンドで実行する自動プロセスについては、以下のマニュアルを参照してください。

- 『データベース構造』。このマニュアルに記述されたテーブルごとに、それぞれ「自動プロセス」という節があります。
- 自動処理機能

自動処理機能

調達サイクルでは、多くの自動処理が組み込まれています。

自動処理されるフィールド

依頼、見積、発注、受領、依頼明細、見積明細、発注明細の各詳細画面では、一部のフィールドの値が自動的に計算され、更新されます。

例

- 発注明細の詳細画面／［購入］タブページ／［総額］（SQL名：mCost）フィールドは、以下のフィールドの値によって自動的に計算されます。
  - 発注明細の［全般］タブページにある［数量］（SQL名：lQty）。［購入］タブページにある［税率］（SQL名：pTaxRate）フィールドと［割引］（SQL名：pDiscount）フィールド。
  - カタログリファレンスの［全般］タブページにある［割引］（SQL名：pDiscount）、［価格］（SQL名：mPrice）フィールド
- 依頼明細の詳細画面／［購入］タブの［単価］フィールドには、発注明細と同じように入力されます。

注意:

モデルが製品に関連付けられている場合のみに、依頼で価格の自動処理が実行されます。1つの製品は、1つまたは複数のカタログリファレンスにリンクされているため、AssetCenterは以下のスクリプトを使ってデフォルトのカタログリファレンス価格を表示します。

```
RetVal = [Model.DefCatRef.mPrice]
```

- 依頼、見積／発注、および請求書の各詳細画面に表示される［トラッキング］タブに表示される値は、調達サイクルの各過程が終了するたびに自動的に更新されます。

デフォルトの値

次のように、デフォルトの値が指定されています。

- 依頼から見積を作成する場合は、依頼と依頼明細の一部のデータが対応する見積の詳細と明細に継承されます。例えば、［目的］（SQL名：ReqPurpose）、［場所］（SQL名：Location）、［数量］（SQL名：lQty）の各フィールドがこれに該当します。
- 同様に、発注と発注明細は、元になる依頼と依頼明細の情報を継承します。

デフォルト値の設定はAssetCenter管理者が行う作業です。

注意:

発注の詳細画面の［最初の依頼］（SQL名：Request）フィールドに関する注意：このフィールドは、発注または発注明細の元になる依頼または依頼明細を参照します。したがって、このフィールドの値を頼りに依頼を探し、検索せれた依頼の情報を発注のデフォルト値として使うことができます。

購入依頼の情報を更新する

依頼から発注または見積を作成する場合は、依頼の明細の詳細画面に表示される次の購入条件がデフォルトで使われます。

- ［最初の依頼］（SQL名：Request）フィールド
- ファイナンス
- 税金

サプライヤが設定する価格は定期的に変化します。この価格は発注時または見積時に更新できます。この時点で変更した情報は、元の依頼には自動的に反映されません。

API

調達モジュールに特に関連するAssetCenter APIがいくつかあります。

これらのAPIは以下の機能を使用するために使われます。

- 発注明細にカタログリファレンスを追加します。
- 資産を返却する。
- 請求書に発注明細を追加する。
- その他

調達モジュールに関連するAPIの一覧および説明については、マニュアル『プログラマーズリファレンス』の「インデックス」、「使用可能な関数 - 調達モジュール」を参照してください。

ビュー

調達モジュール用のデフォルトのビューはありません。

ビューの詳細に関しては、マニュアル『はじめに』の「ビューの使用方法」の章を参照してください。

その他のマニュアル

本マニュアルには、マニュアル『調達』に直接関連する情報は記載されていません。

本マニュアルに加えて、以下のマニュアルを参照するようお勧めします。

表 B.8. その他のマニュアル - 一覧

マニュアル名	内容	フォーマット	AssetCenterのインストール先フォルダにおけるパス
インストール	■ AssetCenterのインストール方法	印刷版	\doc \pdf \installation*.pdf
		オンライン	\doc \chm \install*.chm

マニュアル名	内容	フォーマット	AssetCenterのインストール先フォルダにおけるパス
はじめに	■ ソフトウェアのインタフェース	印刷版	\doc \pdf \UserInterface*.pdf
		オンライン	\doc \chm \userint*.chm
ポートフォリオ	■ 属性、モデル、資産、プロジェクト、作業指示の管理	印刷版	\doc \pdf \Portfolio*.pdf
		オンライン	\doc \chm \portfol*.chm
データベース管理	■ リストデータの管理 ■ ウィザードの使用 ■ スクリプトの作成 ■ フィールドのカスタマイズ ■ 特殊フィールドの使用	印刷版	\doc \pdf \Administration*.pdf
		オンライン	\doc \chm \admin*.chm
フィールドおよびリンクに関する状況依存ヘルプ	■ データベースのフィールドおよびリンクの使用	オンライン	ヘルプにアクセスするには、特定のフィールドまたはリンクを選択してから、以下の操作のうち1つを行います。 ■ 右クリックして、［フィールドのヘルプ］メニューを選択します。 ■ キーボードで［Shift＋F1］キーを押します。 ■ ［ヘルプ／フィールドのヘルプ］メニューを選択します。
プログラマーズリファレンス	■ APIの使用	印刷版	\doc \pdf \ProgrammersReference*.pdf
		オンライン	\doc \progref*.chm
データベース構造	■ データベースのテーブル、フィールド、リンク、インデックスの一覧 ■ AssetCenterが自動的にトリガするエージェント	テキストファイル	■ \doc \infos \database.txt ■ \doc \infos \tables.txt
		オンライン	\doc \chm \dbstruct*.chm

マニュアル名	内容	フォーマット	AssetCenterのインストール先フォルダにおけるパス
主要テーブル	■ 場所の管理 ■ 従業員の管理 ■ 任意管理項目の管理 ■ その他	印刷版	\doc \pdf \CommonTables*.pdf
		オンライン	\doc \chm \common*.chm
AssetCenterの使用	■ ソフトウェアのインタフェース	印刷版	\doc \pdf \UserInterface*.pdf
		オンライン	\doc \chm \userint*.chm
高度な使い方	■ ウィザードの使用 ■ 特殊フィールドの使用 ■ リストデータの管理 ■ スクリプトの作成	印刷版	\doc \pdf \AdvancedUse*.pdf
		オンライン	\doc \chm \advanced*.chm
オンラインヘルプ	■ アプリケーション全体の機能	オンライン	オンラインヘルプを表示するには、以下のいずれかの操作を行います。 1 キーボードの［F1］キーを押します。 2 ［ヘルプ／インデックス］メニューを選択します。

ワークフローチャート

調達モジュールでは、いくつかのワークフローチャートを使用して特定の処理を管理します。

［ツール／ワークフロー／ワークフローチャート］メニューで［ワークフローチャート］テーブル（amWfScheme）にアクセスできます。

［実行グループ］（GroupName）フィールドにシンプルフィルタを使用することによって、調達モジュールにリンクされたワークフローグループに簡単にフィルタを適用できます。値BST_PROCURまたはSTD_PROCURを検索します。

調達モジュールに直接リンクされている以下のワークフローチャートがこのマニュアルで説明されます。

表 B.9. ワークフローチャート - 一覧

ワークフローチャートの名前	ワークフローチャートのリファレンス	ワークフローチャートのコンテキスト（テーブルのSQL名）	参照するマニュアルの節
作業指示の自動作成	BST_PROCUR_CREATEWO	依頼（amRequest）	作業指示の自動作成（BST_PROCUR_CREATEWO）：内部作業指示の作成を自動化します。 [修献185]
発注の受諾	POSATIS	発注（amOrder）	発注の更新を自動化する [修献187]
依頼の受諾	REQSATIS	依頼（amRequest）	依頼ステータスの更新を自動化する [修献174]
作業指示のトラッキング	BST_PROCUR_UPDATEWO	作業指示（amWorkOrder）	作業指示のトラッキング（BST_PROCUR_UPDATEWO）：作業指示を担当する技術者のワークフロータスクを作成します。依頼時に、このワークフロータスクによって、作業指示詳細画面内の特定フィールドの入力に使用されるウィザードがトリガされます。 [修献185]
購入依頼の承認	REQAPPR	依頼（amRequest）	依頼の承認を自動化する [修献173]

ワークフロー使用の詳細については、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「ワークフロー」の章を参照してください。

新しいワークフローチャートを作成するか、既存のワークフローチャートをカスタマイズすることができます。

PEREGRINE

インデックス

アイコン，234
　調達サイクル - トラッキング，61
アクション，243
インストール，33
インストールするモジュール，31
インタフェース - オプション，235
インタフェースのオプション，235
ウィザード，243
オーバースペック - 定義，225
オプション (参考 製品)
オプショングループ
　(参考 製品)
　定義，219
カウンタ，243
カタログ，45
　(参考 カタログリファレンス)
　(参考 製品)
　インポート，46
　サプライヤ - リンク，46
　一般概念，23
　基本概念，45
　作成，48
　　実行順序，48
　実用例，49
　手順，48
　定義，214
カタログリファレンス
　一般概念，25
　作成，48
　定義，224
カタログリファレンス（ボタン），81
コスト，113
　基本概念，113
　契約，115
　研修会，115
　作業指示
　　契約メンテナンス，116
　　契約外メンテナンス，116
　　内部メンテナンス，116
　資産，113
　実用例，117
コストカテゴリ (参考 コスト) (参考 リポジトリ) (参考 基本概念) (参考 実用例)
コストセンタ (参考 コスト) (参考 リポジトリ)
サプライヤ (参考 リポジトリ)
システムデータ，246
タブ，227
ツール，234
ツールバー，234
テーブル，235

テーブル間の依存関係，238
デフォルトの値，249
データベース
業務データ - インポート
既存のデータベース，32
新しいデータベース，32
準備，31
パッケージング，151
基本概念，151
実用例
計量単位あり，159
計量単位なし，153
手順，152
ビュー，250
ポートフォリオ品目
(参考 予約)
階層，30
定義，218
マニュアル，250
メーカ (参考 リポジトリ)
メニュー，227
モデル (参考 リポジトリ)
カタログリファレンスなし，81
階層，29
定義，221
ユーザ（フィールド），167
ライセンス，31
リース，197 (参考 リース)
依頼，199
管理，197
基本概念，197
作成，198
手順，198
定義，197
リストデータ，240
リポジトリ，35
レンタル (参考 リース)
ワークフロー，252
ワークフローチャート，252
依頼，67
(参考 調達サイクル)
ステータス - 更新の自動化，74
依頼テンプレート
依頼を変換する，68
作成，68
実用例，75
定義，217
一般概念，26
基本概念，67
作成
カスタム依頼，71
モデルの選択による，70
依頼テンプレートから，69 , 68
実行，98
手順，68
承認 - 自動化
自動化，73
定義，216
明細
+ボタン，73
依頼テンプレートから追加する，72
階層，30
追加，67
追加ボタン，72
明細 - 定義
定義，219
依頼の受諾（ワークフロー），74
業務データ，246 , 32 , 32
契約，201
ファイナンス (参考 リース)
階層，30
基本概念，201
資産との関連付け
既存の資産，202 , 201
新規資産，203 , 202
実用例，204
手順，201
経費 (参考 コスト)
計量 (参考 計量単位)
計量単位，143
基本概念，143
実用例，144
定義，225
見積，79
(参考 調達サイクル)
依頼から作成する
依頼から，80
一般概念，27
基本概念，79
作成

直接作成，80
手順，80
定義，217
明細
+ボタン，82
カタログリファレンスなしのモデル，81
カタログリファレンスボタン，81
追加，79
定義，220
発注テンプレートから追加する，82
交換，179
基本概念，179
実用例，180
手順，179
購入依頼の承認（ワークフロー），73
在庫 (参考 リポジトリ)
(参考 予約)
再発注，195
作業指示，185
階層，30
基本概念，185
更新を自動化する，188
作成を自動化する，187
実用例，189
手順，186
契約メンテナンス，186
契約外メンテナンス，186
内部メンテナンス，186
作業指示トラッキング（ワークフロー），188
作業指示の自動作成（ワークフロー），187
作成
(参考 受領)
定義，216
品目を物理的に受領する前に受領する，99
資産
(参考 交換)
(参考 予約)
契約にリンクする (参考 契約)
定義，213
自動プロセス，248
自動処理，248
自動処理されるフィールド，248
実行
(参考 受領)
手順，98
定義，218
実用例，19
取得 (参考 調達サイクル)
受領
(参考 実行)
(参考 調達サイクル)
一般概念，28
受領品目
階層，29
定義，224
発注，100
受領から，101
発注から，101
必要条件，100
明細 - 定義，221
従業員 (参考 リポジトリ)
準備段階，31
書式，247
製品
オプション
原則，46
作成，49
定義，223
パッケージング (参考 パッケージング)
一般概念，24
階層，30
作成，48
定義，223
複合製品，129
実用例，136 , 130
定義，129
複合製品，129
製品分類コード
定義，214
請求書，109
(参考 調達サイクル)
一般概念，29
基本概念，109
作成
受領から，110
直接，110
必要条件，110
手順，110
定義，219
明細

追加，111
定義，220
属性 (参考 リポジトリ)
定義，222
調達 (参考 調達サイクル)
調達サイクル
(参考 依頼)
(参考 見積)
(参考 受領)
(参考 請求書)
(参考 発注)
トラッキング，60
アイコン，61
一般概念，25
基本概念，59
実用例，61
段階，59
定義，216
特殊フィールド，241
発注，85
(参考 調達サイクル)
一括発注，89
依頼，91
管理，89
基本概念，89
金額 - 整合性，91
作成，90
実用例，92
手順，90
定義，89
発注，91
必要条件，198 ，90
一般概念，28
基本概念，85
定義，215
発注された品目を作成する - 実用例，103
発注された品目 - 受領前の作成，99
標準発注，86
ステータスの更新，87
バージョン，88
依頼から，87
見積から，86
手順，86
標準発注 - 定義，215
変更，85
明細 - 定義，220
発注明細 - 階層，30
必要条件，31
部署 (参考 リポジトリ)
分類 (参考 分類コード) (参考 分類規格)
分類規格
定義，214
返却
(参考 受領)
一般概念，28
手順，102
定義，224
予約，165
ポートフォリオ品目
在庫中，165
発注方法，166
基本概念，165
在庫中資産，99
実用例，167
手順，165
受領品目を作成する，100
定義，225
［レポート］テーブル，247

A

API，250
AssetCenter Database Administrator
業務データ - インポート
既存のデータベース，32
新しいデータベース，32
AssetCenterサーバ，245

Peregrine
SYSTEMS